

ノ狀況ニシテ危險ノ虞アルモノハ時々之レカ警告ヲ與フヘキヲ以テ宜シク當業者ヲ振作シ奮テ其業ニ從事セシメラルヘシ

時局ニ對スル農者ノ心得

農務局長農學博士 酒 勾 常 明 述

宣戰ノ 大詔二月十日ヲ以テ煥發セラレ清浦農商務大臣ハ同日東京ニ參集セル地方長官ニ對シ戰時ノ産業ニ關スル訓示ヲ與ヘラレタリ惟フニ強大ノ敵ヲ制シテ平和ヲ永遠ニ克復スルノ終局ヲ期スルニハ計畫必ス遠大ナルコトヲ要シ之カ爲メニハ用兵長期ニ涉リ軍費巨額ニ達スルノ覺悟ヲ以テ事ニ當ラサルヘカラス去レハ實力ノ養成ニハ些ノ間斷アルヘカラス而シテ戰時ノ國家經濟ハ我農家ノ責任特ニ重大ナルモノアルコトヲ信スルカ故ニ我輩又大臣訓示ノ趣旨ヲ体シテ茲ニ所思ヲ陳述セント欲ス

先ツ我外國貿易ニ於ケル農産物ノ最近關係ヲ見ルニ左ノ如シ

總輸出	二五八、三〇三、〇六五	內 農産物輸出	一一一、八七五、六一九	百分比例	四三、三
總輸入	二七一、七三一、二五八	內 農産物輸入	一四二、九六五、三五七	百分比例	五二、二
計	五三〇、〇三四、三二二	計	二五四、八四〇、九七六	平均	四八、〇

右ノ如シ農産物ハ我外國貿易ノ一半ヲ占ムルモノナレハ農産ヲ獎メテ益々輸出ヲ増シ輸入ヲ減シ以テ正金ノ流出ヲ防キ流入ヲ計ラサルヘカラス殊ニ農産物ノ輸出ハ歐米ヲ主トシ東洋ニ微ナルカ故ニ日露開戰ノ爲ニ左迄妨害ヲ蒙ルコトナカルヘシ例令ハ八千万圓ノ生糸千万圓ノ茶ノ如キ大ニ輸出ニ力メサルヘカラス其他大小ヲ問ハス多ク賣リテ益々正金ヲ吸収スヘシ

内國貿易ハ多ク米麥蠶茶ヲ初メ諸農産並ニ農産製造品ノ賣買、運輸、分配、金融等ニ基ツキ其他人生需用品ノ供給モ亦内國貿易ノ材料ヲ形クルモノニシテ其需要品ハ又農業者過半ヲ占ムルモノナリトス農産ノ消長ハ則チ内國貿易ノ消長ヲ來ス一般ノ景氣ヲ左右スルモノナレハ我農者ハ戰時特別ノ心掛ヲ以テ精良ナル農産物ヲ多量ニ生産スルコトヲ望ム就中米麥ニ就テハ尙進ンテ言ハント欲スルコトアリ

夫レ米ハ人ノ常食、麥ハ人馬ノ糧食ニシテ生活ノ要素ナリ他ノモノハ節略スルコトヲ得ヘシ米麥ニ至リテハ平時戰時ヲ問ハス一日モ欠クコト能ハサルノミナラス戰時ニハ益々其供給ヲ裕ニシテ以テ國人元氣ノ旺盛ヲ計ラサルヘカラス

米ノ收穫ハ平年約四千万石ナリ然ルニ明治三十年ハ虫害ノ爲メ僅ニ三千三百  
万石ナリシニ依リ翌年ニ涉リテ外國米ヲ購入スルコト千七百九十九万七千擔  
則チ六千九百七十四万七千圓ノ正貨ヲ流出スルニ至リシモ翌年四千七百四十  
万石ノ未曾有ノ豊収ヲ得テ經濟ノ回復ヲ爲スヲ得タリ三十五年ハ天候宜シカ  
ラスシテ收穫三千六百九十五万石ノミナリシニ依リ當年外國米ヲ購入スルコ  
ト四百五十万九千擔千七百七十五万圓、翌三十六年ハ其ノ餘穂ト麥ノ不作トノ  
爲メニ又外國米ノ購入千二百十六万一千擔五千九百九十六万圓ニ上リ合計千六  
百六十七万擔六千九百七十一万圓ノ夥シキニ至レリ平素ハ輸入米ノ價額千万  
圓ヲ超ヘサルニ一年不作スルトキハ忽チ七千万圓ノ正貨流出トナル豊恐レサ  
ルヘケンヤ幸ニ昨三十六年ハ四千六百万石餘ノ豊作ヲ告ケ以テ今日ノ状態ヲ  
保ツヲ得タルモ若シ同年天候又ハ虫害ノ爲ニ收穫甚シク平年ヲ降ルコトアリ  
ントセンカ我食物ノ供給及ヒ國家經濟果シテ如何眼前強敵ヲ控フルノ場合實  
ニ悚然タラサルヲ得ス今三十七年モ亦然リ若シ米作不結果ヲ告クル如キコト  
アラシカ我食物ハ續カス幾千万圓ノ正金立ロニ流出スヘク輸入米運賃保險料  
ノ昂騰ハ一層國難ヲ來スヘシ

八

麥ハ平年千九百万石ナルニ昨三十六年ハ千三百五十五万石ニ止リテ稀ナル不  
作ナリシ去レハ小麥ノ輸入ハ百万圓ヲ超ユルコトナキニ同年ハ四百八十万圓  
ニ上リ麥粉ノ輸入ハ通例三百万圓前後ナルニ同年ハ千万圓ニ達セリ又現今馬  
糞不足ニシテ大麥ノ價五割以上ノ騰貴ナリ昨秋冬ハ幸ニ麥作ヲ害スヘキ天候  
ヲ見サリシニヨリ希クハ人力ヲ盡シテ遠ク平素ニ超ユルノ收納ヲ得テ以テ人  
馬糧食ノ豊裕ナル供給ヲ爲サンコトヲ  
本年ハ如斯ク大ニ農産ノ増収ヲ計ラサルヘカラサルニ此ニ容易ナラサル故障  
アリ

第一 俚言ニ豐年ハ二度續カスト云ヘル如ク本年ハ則チ豐年ノ翌年ニシテ田  
地ノ養分平常ヨリモ欠乏セリ

第二 大豆粕ハ最廉價ナル窒素肥料ナルニ其供給將ニ絶ヘントス  
夫レ遼河解氷シ牛莊貿易ノ開始スルハ三四月ニアリテ此時ヨリ初夏ニ及ンテ  
我國ニ輸入スル所ノ大豆粕ハ卅六年ノ例ヲ以テセハ(二月ヨリ六月ニ至ル間ニ  
輸入スル量)二百〇一万九千三十五擔即チ三千二百十九万貫餘ニ當ル之ニ含有  
スル窒素二百二十五万三千三百六十七貫目ニシテ悉ク之ヲ稻作ニ施用セシモ

ノトセハ本年之ヲ欠クカ爲ニ生スル所ノ米ノ減收ハ少クトモ百五十万石ナルヘシ若シ一年間全ク輸入セサルモノトセハ三十五年ノ例ヲ取レハ五千八百四十六万貫ノ大豆粕ト共ニ之ニ含有スル所ノ窒素四百九万二千二百貫目燐酸七十万五千五百二十貫目加里百十六万九千二百貫目ヲ失ヒ之カ爲ニ少クモ二百七十万石ノ米収ヲ減スヘシ

第三 北海道ノ鮮粕ハ米作其他夏作ニ施用セラレ、モノナルモ日清戦争ノ時ニ其例アル如ク沿岸貿易ニ従事スヘキ船舶欠乏スルトキハ其内地輸送及各地分配上阻礙ヲ來シテ或ハ本年ノ夏作ニ間ニ合ハサルコトナシトセス

第四 豫備後備徵募セラル、ノ結果最モ依頼スヘキ勞力者ヲ減シ生産ニ影響スルコト少カラス

第五 馬匹徵發ノ結果ハ有力ナル勞力ト肥料トノ減少ヲ來サ、ルヲ得ス一方ニ農産ノ増殖ヲ計ラサルヘカラサルニ一方ニ之レニ對スル故障アリ去レハ内ニ在テ生産ニ従事スル者ハ非常ナル勤勉ヲ以テ之ニ當ル外ナシ且此際最モ注意スヘキ事項ハ凡ソ左ノ如シ

第一 害虫豫防驅除、虫害ノ恐ルヘキハ之ニ原因セシ三十年ノ減收七百万石ノ

甚シキニ至リシヨリ農民始テ覺醒シ爾來豫防驅除ノ精神ハ法律ノ力ト相俟テ實蹟見ルヘキモノアリ今ヤ各地其手段方法ニ經驗スル所アルカ故ニ本年ハ貴重ノ穀粒一粒タモ無益ノ小動物ニ侵食セラレサルノ用意ヲ以テ之ニ當ルコトヲ要ス又昨年麥作ノ病害ニ鑑ミ其豫防ニ注意センコトヲ欲ス

第二 肥料、本年ハ豊年ノ後ヲ受ケテ田地ノ養分減少シ又肥料ノ供給困難ナルニ拘ラス多量ノ養料ヲ補給シテ以テ收穫ノ増加ヲ爲サ、ルヘカラス先ツ最補給ノ必要アルモノハ窒素ナリ其法蓋シ空中無盡ノ遊離窒素ヲ利用スルニ如クコトナカルヘク目下ニ迫テハ田畑ノ麥間ニ豈科植物就中大豆、豌豆、蠶豆ノ類ヲ蒔キ之ヲ青刈ニシテ綠肥トナスヲ最モ良法トス農事試験場九州支場ノ成績ニ依レハ畑地ニ於テハ約四百貫目、田ニ於テハ約二百貫目ノ麥間作青刈大豆ヲ得タリ假ニ平均百貫目トナスモ一反歩六百目ノ窒素ヲ収聚シ得ヘク一反歩五升ノ割ニテ十八万七千七百八十一石ノ種子ヲ三十七万五千五百六十一町歩ノ麥作地ニ下セハ其青刈大豆ノ窒素ニ依テ春夏輸入スヘキ大豆粕中ノ窒素ヲ補填スルコトヲ得ヘシ(藜莖ノ畦間モ亦麥ノ畦間ト同様利用シ得ヘシ)而シテ秋季ニ及ンテハ紫雲英及ヒ苜蓿ノ栽植ヲ普及シテ益々肥料ノ供給ヲ豊富ナラシム

ヘシ此等ノ一反歩收穫物ハ能ク二反歩乃至三反歩ノ稻作ニ施スヘキ窒素ヲ供給ス其他野草、落葉、海草、藜稈、塵埃、等ヲ利用シカメテ堆肥ノ製造ヲ増加シ且製造ノ改良ヲ爲スカ如キ共ニ必要ノコトナリ次ニ必要ナル燐酸ハ需要ニ應シテ人造肥料製造所ハ何程ニテモ供給スルコトヲ得ヘク加里成分ハ綠肥ヲ普及スルトキハ之ニ合ム所ノ分量ハ寧ロ過剩アリ

麥ニ付テハ三月上旬頃マテ尙二三回補肥ヲ爲スノ餘地アリ然レモ補肥ヲ濫用スルトキハ麥ノ生育徒ニ促進セラレテ莖葉軟弱トナリ或ハ病害ニ罹リ或ハ倒伏スルノ恐アルヲ以テ能ク麥ノ生育狀況ヲ察シ土質ニ依リ肥料ノ種類分量ヲ調節スルコトヲ要ス

第三麥作、麥ノ收穫期ハ梅雨期ニ際スルヲ以テ動モスレハ收穫ノ機ヲ失スルコトアリ其穂既ニ黃色ニ變シ穂梗又ハ幾分黃變セハ猶豫ナク刈取ルヘシ且收穫後霖雨ノ爲メ麥粒ノ乾燥ヲ妨ケラレ虫蝕ヲ受ケ又ハ品質ヲ損害セラル、コト常ナルヲ以テ豫メ稻架様ノモノヲ造リ之ニ麥穂ヲ懸ケ雨濕ヲ受ケサル装置ヲ爲スヲ可トス

其他先般農商務大臣ノ農會議議事項ハ總テ勵行ヲ期センコトヲ欲ス凡ソ國家大

切ノ時ニ於テ國民ノ奮起開始セル好事例ハ永久廢絶スルコトナクシテ民福國利ヲ來スノ因トナルカメサルヘケンヤ

## 第二節 農事協議會ノ開催

全國農事大會ハ東京ニ各府縣農會ノ代表者ヲ召集シ農業獎勵ノ實績ヲ舉クル爲メ戰時ニ於テ督勵スヘキ農業ノ種類ヲ舉ケ之レヲ府縣農事當局者及ヒ府縣農會ニ示シテ實行ヲ期セシメタリ所謂農事督勵事項ナルモノ是レナリ茲ニ於テ村上知事ハ同年四月二十日縣下各郡長、各郡農事巡回教師、各郡勸業主任、郡書記、蠶業巡回教師、縣農會役員、郡農會事務員、蠶種検査員ヲ縣會議事堂ニ召集シテ農事協議會ヲ開キ席上先ツ左ノ趣意ヲ演說シタリ

### 村上知事ノ演說

農事試驗場等ニ於ケル研究ニヨリ我國ノ農業作業上ニ改良ヲ施シ其利益ノ確實ナル點渺カラスト雖モ今日迄當業者間ニ之レカ實行ノ普チカラサルハ實ニ遺憾トスル處ナリ之レヲ以テ今日我國農業改良上ノ急務トスル處ハ進ンテ新ラシキ事實ヲ研究スルヨリモ寧ロ今日迄多年ノ研究ニヨリ効益ノ確實ナル事

項ヲ當業者ニ實行セシムルニ在リトス普通農事ニ在リテハ種子塩水撰、苗代短冊形仕立、共同苗代、麥黑穗豫防、二毛作、綠肥及堆肥ノ普及、副業ノ奨勵等蠶業ニ關シテハ蠶蛆ノ驅除、蠶病ノ消毒等ハ孰レノ地方ヲ問ハス其利益ノ事ハ遠ク十數年前ヨリ認メラレアルニ拘ラス今日ニ至ル迄其實行ノ普チカラサルハ當業者カ改進ノ意ニ乏シキ舊慣ニ泥ムニ基クモノナリト雖モ亦之レカ指導ノ任ニ當ルモノ、熱心足ラサルニ依ルモノナラシカ如斯荏苒歲月ヲ經過スルニ於テハ今後幾許ノ年數ヲ經ハ能ク改良ノ實益ヲ擧ケ得ヘキカ殆ト測ルヘカラサルナリ

今ヤ日露戰爭ノ時局トナリ農産物ノ増殖ヲ圖ルコト國家第一ノ急務タル場合トナレリ之レヲ以テ過敏地方官會議ニ際シ農商務大臣ヨリ農産物ノ増殖ニ關シ訓示セラル、處アリ其後農務局長ハ時局ニ對スル農者ノ心得ヲ述ヘ之レヲ普ク全國ニ傳ヘ農商務省農事試驗場ヨリハ時局ニ對シ農業上注意事項ヲ印刷シ之レヲ全國ニ配付シタリ又全國農事會ニ於テモ警戒ヲ加フル處アリタリ其他各地方ニ於テモ時局ニ對シ農事上ノ施設計畫少カラスト雖モ要スルニ其急務トスル處ハ利益ノ確實ニシテ從來實行ノ果ラサル事項ハ此時ニ乘シ當業者

ヲシテ普ク實行セシムルニアリトス而リト雖モ事多岐ニ亘リテハ却テ實行ノ目的ヲ達シ難キニヨリ其事項ハ利益ノ確實ナルモノニ限リ之レカ勵行ヲ要スルモノトス過日全國農事會幹事長加納子爵一行ノ當地方ニ來リシモ其目的又茲ニ存セリトス

今回各員ヲ召集セルハ之等ノ實行ヲ期スヘキ事項ニ付其實行ノ方法ヲ協議決定セントスルニアリ各員歸郡ノ後ハ宜シク其決議ニ基キ直チニ銳意實行ヲ謀リ軍國ノ爲メ農産ノ増殖ニ務メ又此時局ニ際シ一旦實行セル有益ナル方法ハ今後永遠ニ持續シ光榮アル戦捷ノ紀念タラシムルヲ期セラルヘシ

知事ノ演說終ルヤ當時ノ書記官増永洋吉議長席ニ就キ先ツ本縣ニ於テ農事上督勵スヘキ事項ヲ協議シ翌二十一日ニ至ル二日間審議尋究ノ上左ノ如ク決定シタ

一 町村ニ督勵委員ヲ置キ郡農會長之レヲ囑托ス

備考

一 町村大字毎ニ五名乃至十名ノ委員ヲ置キ尙其下二十人組若クハ二十人組ノ如キモノヲ設ケ町村内ヲ督勵シテ遺憾ナカラシム

二、實行普及ヲ計ル事項左ノ如シ

- 一、米麥種子ノ鹽水選
- 二、麥ノ黑穗豫防
- 三、改良苗代ノ普及
- 四、稻田ノ正條植
- 五、虫害ノ防除
- 六、二毛作ノ普及
- 七、綠肥作ノ普及
- 八、堆肥ノ改良普及
- 九、蠶病消毒ノ普及
- 十、蠶蛆驅除ノ普及
- 十一、蠶業ノ獎勵

三、前項各號ノ實行ハ左記ノ方法ニ依リ督勵員ニ於テ普及ヲ圖ルモノトス

種子鹽水選

- 一、町村内大字毎ニ一ヶ所以上ノ選種所ヲ設ケ期日ヲ定メ米麥種子ノ共同鹽水選ヲ施行セシムルモノトス
- 二、鹽水選ニ要スル食鹽、水桶、箒及比重計ノ類ハ各其町村農會ニ於テ設備セシムルヲ便宜トス但シ町村農會未設ノ地方ニ於テハ郡農會ニ於テ設備セシムルヲ便宜トス

麥黑穗豫防

- 一、黑穗ノ採取燒却其他適當ノ方法ヲ實行セシムルモノトス
- 二、種籽ハ薄播トシ苗代ハ短冊形ニ仕立テシメ可成共同施設トセシムルコト

稻苗ノ正條植

- 一、可成簡易ナル方法ニ依リ正條植ヲ實行セシムルモノトス

虫害ノ防除

- 一、害虫驅除豫防法ノ勵行ヲ期スルコト
- 二、二毛作ノ普及

- 一、本年ニ於テハ農家一戸平均五畝歩以上ノ割合ヲ以テ二毛作トシテ麥ノ栽培ヲ務メシムルコト
- 二、綠肥作ノ普及

- 一、排水ノ便宜アル土地ニシテ二毛作ヲ爲サ、ル場所ハ必ス綠肥ヲ栽培セシムルコト
- 二、堆肥ノ改良普及

- 一、堆肥ハ從來設置ノ摸範場ヲ利用シ其効用ヲ全カラシムルハ勿論尙ホ此際毎戸必ス簡易ナル方法ニ依リ堆積肥料ヲ製造セシムルコト
- 二、蠶病消毒ノ普及

蠶病消毒ノ普及

- 一、各町村ニ於テ大字毎ニ共同消毒ヲ行ハシムルコト
- 二、前項消毒ニ要スル器具藥品等ハ町村農會ニ於テ設備セシムルヲ便宜トス、町村農會未設ノ地方ニ在テハ郡農會ニ於テ設備セシムルヲ便宜トス

蠶蛆ノ驅除

- 一、縣令第十三號蠶蛆驅除法ヲ勵行セシムルコト

蠶業ノ獎勵

一、普通農作物ニ不當ナル地ニ桑樹ヲ栽植シテ蠶業ノ發達ヲ圖ルコト  
但シ土地ノ情況ニ依リ夏秋蠶ヲ獎勵スルモノトス  
四普及督勵ノ實況成績ハ委員長ニ於テ時々取調ヘ知事ニ報告スヘシ

第三節 縣訓令ノ發布及委員ノ任命

既ニシテ知事ハ前項農事協議會ノ決議ヲ實行セシムル爲メ戰時農業督勵委員規程ヲ制定シ之レヲ本縣訓令トシテ發表シタルハ同年五月三日ナリシ則チ左ノ如シ

石川縣訓令第二十八號

內務部 郡役所 町村役場 縣立農事試驗場

戰時ニ於テ特ニ農業ノ發達ヲ圖ランカ爲メ戰時農業督勵委員規程左ノ如ク相定ム

戰時農業督勵委員規程

一 農業ノ改良普及督勵ノ爲メ戰時農事督勵委員ヲ設クルコト左ノ如シ  
縣 委 員 若干名

郡 委 員 若干名  
町 村 委 員 若干名

二 縣委員ハ書記官ヲ委員長ニ內務部員縣農事試驗場員蠶種検査員中ヨリ知事之ヲ命ス

三 郡委員ハ郡長ヲ委員長ニ郡長ノ命シタル郡書記郡吏員ヲ以テ委員トス

四 町村委員ハ町村長ヲ委員長ニ町村長ニ於テ命シタル町村吏員ヲ委員トス

五 郡委員ノ氏名ハ郡長ヨリ知事ニ町村委員ノ氏名ハ町村長ヨリ郡長ニ報告スヘシ

六 郡長及町村長ハ常ニ部下吏員ヲ督勵シ農業ノ改良普及ヲ圖ルヘキハ勿論ナリ

ト雖モ特ニ命シタル委員ニ於テハ相互協議ノ上其遂行ヲ期スヘシ

七 委員カ督勵普及ヲ期スル事項方法左ノ通りトス(督勵事項ハ協議會ノ決議ト同様ナレハ略ス)

次テ同月七日村上知事ハ前掲ノ規程ニ基キ縣委員ノ任命ヲナセリ其氏名左ノ如シ

技師 第四課員 芝山直清  
全 柳原仲

縣屬第四課長	大塚 志真
縣立農學校長	高鳥 容孝
縣屬第四課員	木村文太郎
全	杉山 量吉
全	菊田 梧一
全	笠野 鉦五郎
技手第四課員	耕野 喜三
全	武田 信貞
縣吏員蠶種検査員	山本 久男
江沼郡全	竹中 得三
能美郡全	村田 榮文
石川郡全	原田 儀平
河北郡全	田中 榮
羽咋郡全	加茂野 喜平

茲ニ於テ委員會ハ麥ノ黑穗ノ多キ地方ニ在リテハ枝株焼却ヲ勵行セシムヘキニ

決シ尙ホ左ノ諸件ヲ第一着手ニ督勵スヘシト協定シタリ

一、三角定木又巾引等極メテ簡易ナル器具ノ構造及使用法ヲ教授シ正條植ノ實行ヲ促スコト

二、虫害ヲ防除スル爲メ第一回螟蛾發生ノ時期ニ方リ藁置場附近ニ於テ点火誘殺ヲ行ハシムルコト

三、當春栽培セル紫雲英ニ就キ各農家ハ少ナクトモ自家用ニ供スヘキ種子ヲ採集セシムルコト

尙ホ毎月一回以上委員ノ集合ヲ催シ各地巡廻等ノ成績ニ鑑ミ専ラ農事ノ改良發達ヲ圖ルコト、セリ

斯テ各郡町村ニ於テモ訓令ノ規程ニ基キテ夫々督勵委員ヲ囑託シ一面亦縣ハ各郡農事巡廻教師、蠶種検査員ヲ召集シテ督勵ノ方法ヲ協議シ茲ニ戰時ニ於ケル農業獎勵ハ遺憾ナク準備ヲ終レリ

扱テ愈々督勵ノ成績ヲ擧クル爲メ縣廳ハ時々各郡ノ報告ヲ徴シ其及ハサルモノアル時ハ縣ノ委員ヲ派シテ之レニ應援セシメ亦屢々縣ノ技師ヲ各地ニ出張セシメテ講話ヲ開催スルノ外從來數年間施行シ來レル農事講習會ノ修了者ヲシテ其



地方一般農民ノ督勵ニ任スル誓約ヲナサシメ一方農民ニ對シテハ各部落ニヨリ  
實行團體ヲ設ケテ互ニ誓約セシメ誠心誠意ヲ以テ改良ヲ實行セシメ又左ハ縣當  
局カ示シタル實行組合規約ノ標準ナリトス

何町村(又ハ何字)農業改良實行組合規約

第一條 明治三十七年五月本縣訓令甲第二十八號戰時農業督勵規程ノ趣旨ヲ實行セシメカ爲メ町村  
内在住農業家ヲ以テ本組合ヲ組織スルモノトス

第二條 本組合ハ何町村農業改良實行組合ト稱ス

第三條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

- 組長 一名
- 副組長 一名
- 幹事 若干名
- 理事 若干名

第四條 組長ニハ町村長(又ハ區長)副組長ニハ助役(又ハ區長代理者)幹事ハ有力家理事ハ町村役  
場書記(又ハ有志)ヲ以テ之レニ充ツルモノトス

第五條 組長ハ組合ヲ統轄シ幹事會ノ議長トナルモノトス

第六條 副組長ハ組長ヲ補佐スルモノトス

第七條 幹事ハ事業實行ノ督勵ヲ勉メ組合ニ於ケル事件ヲ評議スルモノトス

第八條 理事ハ會計庶務ヲ擔理スルモノトス

第九條 本組合ニ要スル費用ハ組合員ニ於テ村稅負擔額ニ準シ割當負擔スルモノトス

第十條 本組合ニ於テ實行スル事業左ノ如シ  
(實行ノ事業ハ協議會ノ決議ト同一ナレハ略ス)

第十一條 實施事業標準ヲ定ムル事左ノ如シ

戰時農業督勵事項實施標準

一 種子塩水撰

一 作物ノ種類ニヨリ其比重ヲ定ムルコト左ノ如シ

陸稻及水稻糯鹽水比重一、〇八乃至一、一〇(水一斗ニ付食鹽二升乃至三升ノ割合)

水稻粳及大麥鹽水比重一、一〇乃至一、一三(水一斗ニ付食鹽三升乃至四升ノ割合)

小麥及裸麥鹽水比重一、二二(普通ノ苦鹽汁ニ凡ソ一割内外ノ水ヲ混シタル割合)

二 鹽水撰ヲ行フニ要スル器具ニ關シ標準ヲ定ムルコト左ノ如シ

搥水撰ハ四斗樽(酒樽)又ハ味噌樽ノ如キモノヲ利用スノ形狀及ヒ大サヲ佳トシ種子ヲ入ルヘキ

器ハ一度ニ五升ヲ撰別シ得ヘキ大サトシ木又ハ亞鉛板等ヲ以テ製シタル圓筒狀ニシテ底ニ金網

ヲ張リタルモノ若クハ竹製策ヲ用ユ比重計ハ現今各郡ニ多數購入セル代用比重計ヲ用ユヘシト

雖モ其比重確實ナラサレハ撰種施行前各郡ニテ一應其正否ヲ檢定スルコト

三 撰種ノ時期ヲ定ムルコト左ノ如シ

水稻ニ在リテハ浸種前トシ陸稻及麥類ニ在リテハ播種期前ニ行フモノトス

二 麥黑穗豫防

一 黑穗ノ害少ナキ地方ニ在リテハ拔採燒棄ヲ行ハシムル者トス此場合ニハ其黑粉ノ飛散セサル

ニ先テ可成早ク拔採ヲ行フ者トス

二 黑穗ノ害多キ地方又ハ其ノ害ノ多キ豫想ノ場合ニハ冷水温湯浸又ハ冷水浸ノ法ニヨリ之カ豫

防ニ務ムルコト(冷水温湯浸法ヲ行フ場合ニハ鹽水撰後直ニ冷水ニ浸スコト)

三 改良苗代ノ普及

- 一 苗代一步ニ對スル播種量ハ浸種前ノ種粒四合乃至六合トス
- 二 苗代ハ一尺ノ間隔ヲ以テ幅四尺ノ短冊形ニ仕立ツルコト
- 三 共同苗代ノ利益ヲ説キ可成之カ實行ヲ促スコト

四 正條植

- 一 繩、三角定規又ハはびき等簡易ナル器具ノ構造及ヒ使用法ヲ教示シ正條植ノ實行ヲ促スコト

五 蟲害ノ防除

螟虫ノ防除ニ關シテハ左ノ方法ニ據ルコト

- 一 第一回螟蛾發生ノ時ニ當リ藁置場附近ニ於テ點火誘殺ヲ行ハシムルコト
- 二 探卵捕蛾ニ重キヲ置キ苗代及本田ヲ通シテ之ヲ勵行セシムルコト
- 三 被害莖摘除ヲ行ハシムルコト

浮塵子ノ驅除ニ關シテハ左ノ方法ニ據ルコト

- 一、石油又ハ原油ヲ用ヒ一反歩ニ付八合乃至二升ノ範圍ヲ以テ注油驅除ニ務ムルコト

六 二毛作ノ普及

- 一、可成田地ノ排水乾燥ヲ圖リ二毛作トシテ麥ノ栽培ヲ獎勵スルト同時ニ畑ニ於ケル從來ノ麥栽培法ヲ改良セシメ收穫ノ増加ヲ計ルコト

- 二、麥ノ種類ハ大麥ヲ主トシ可成地方ニ適宜ナル種類ヲ撰擇栽培セシムルコト

七 綠肥作ノ普及

- 一、綠肥ノ栽培ヲ普及セシメンニハ第一ニ田面ノ乾燥ヲ要スルヲ以テ本年ノ秋季ニ於テハ可成田地ノ排水ヲ行ハシムルニ務ムルコト

地ノ排水ヲ行ハシムルニ務ムルコト

- 二、綠肥ノ種類ハ紫雲英ヲ主トシ其他苜蓿蠶豆ノ類トス

- 三、當春栽培セル紫雲英ニ就キ各農家ハ少クモ自家用ニ供スヘキ種子ヲ採集セシムルコト

- 四、前項ニ依リ種子ヲ採ルモ尙不足ノ場合ニハ可成早ク各郡ニ於テ其必要量ヲ取調ヘ縣農事試驗場ニ申出ツルコト

八 堆肥ノ改良普及

- 一、摸範堆肥場ヲ擔當セル農家ニ對シ各郡農事巡回教師ハ此際特ニ實地ニ就キ堆積製造法ヲ教示スルコト

- 二、堆積場ノ設ケナキ農家ニ在リテハ雨露ヲ防クニ足ル丈ノ裝置ヲ以テ屋外ノ堆積肥料ヲ製造セシムルコト

九 蠶病消毒ノ普及

- 一、營業ノ實行上最モ輕便ニシテ且ツ比較的有効ナル左記方法ニヨリ順次勵行スルコト

- 第一、清潔法即チ蠶室内外共ニ大掃除ヲナシ室内及器具ヲ洗滌スルコト

- 第二、蒸氣消毒ヲ行フコト

- 第三、「フオルマリン」液撒布法ヲ行フコト

但稚蠶共同飼育場及共同飼育者并養蠶教師聘雇ノ箇所及前年失敗者ニハ極力勵行セシムルコト

十 蠶蛆驅除勵行

- 一、明治三十四年二月二十七日日本縣令第十三號蠶蛆驅除法ヲ一般ニ勵行セシムヘシト雖モ就中蠶種製造者、製糸者、生繭取扱者ニハ極力勵行セシムルコト

十一 蠶業ノ獎勵

- 一、現今桑樹ノ栽植カ插立蠶種ニ伴ハサル狀況ナルヲ以テ普通農作不適當ノ地及屋敷ノ周圍等ニ桑樹ヲ栽植シ斯業ノ發達ヲ謀ルコト
- 二、本春栽付時期已ニ失セリト雖モ次期ニ於テ時局ニ對スル紀念桑園ヲ設置セシムルコト
- 三、夏秋蠶飼育増加ノ爲メ桑葉ヲ慘摘シ桑樹ヲ衰弱ナラシムルモノ尠カラヌ由テ夏秋蠶用速成桑園トシテ魯桑實蔭ヲ獎勵スヘシ
- 第十二條 組合ニ加盟セサルモノ又ハ組合員ニシテ本規約ヲ實行セサルモノアル時ハ組長ニ於テ極力説諭ヲ加フルモ尙應セサルモノハ最寄警察官吏又ハ郡長ヘ報告シ説諭ヲ乞フモ猶承服セサル時ハ組合ヲ除名シ新聞紙ニ廣告スルモノトス
- 第十三條 本規約ハ明治三十八年 月ヨリ之レヲ施行ス
- 第十四條 本規約ヲ履行スル爲メ左ニ署名捺印ス

何郡何町村何字

何 某 印

明治三十八年 月 日

右規約締結ヲ證スル爲メ茲ニ署名捺印ス

第四節 短冊苗代ノ施設

斯テ戰時督勵ハ其第一年ヲ終リ成績頗ル良好ナルモノアリシト雖モ諸般ノ農業施設中最モ急務トスヘキ苗代ノ改良ニ於テ未タ普及ヲ見サルハ甚タ遺憾ニシテ

之レヲ普及セシムルハ強制的ノ方法ニ依ラサルヘカラストナシ村上知事ハ左記ノ告示ヲナセリ

稻苗代施設ノ告示及告諭

- 一、苗代ハ幅四尺已内ノ短冊形ニ播種シ各短冊形ノ中間ニハ幅一尺已上ノ間隔ヲ設ク可シ
- 二、作人ハ苗代ニ幅三寸長三尺ニシテ住所氏名ヲ記シタル木札ヲ建設ス可シ

前各項ニ違背シタル者ハ五十錢已上壹圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

又該施設ニ就キ同日左ノ告諭ヲ發セリ

本縣主要ノ農産物ハ米穀ニシテ之カ豊凶如何ハ直ニ縣經濟ノ消長ヲ左右スルヤ勿論ナルヲ以テ米作ノ改良ハ其ノ尤モ急務トスル所ナリ故ニ當局ニ在ッテハ數年前ヨリ夙ニ之カ勸誘ヲ怠ラス昨春時局發展已來一層進ンテ之レカ督勵ニ勉メ特ニ戰時農業督勵委員規程ヲ設ケ官民協力孜々トシテ獎勵實行ヲ計リツ、アリト雖モ未タ充分ナル成績ヲ舉クルニ至ラサルハ甚タ遺憾トスル處ニシテ是等改良事項中苗代ノ施設ヲ改良スルハ急務中最モ緊切ナルモノニ屬スルニ拘ハラス現今ノ狀況其ノ普及ノ遅々タルモノアレハ到底縣令ノ發布ヲ以

テセサルヘカラサルヲ察シ今回縣令第十號ヲ以テ短冊形苗代施設方法ヲ定メタル所以ナリトス而シテ之レカ効用ヲ全タカラシムルニハ同時ニ播種量ヲ制限シテ一坪四合乃至六合ノ薄播トシ苗代ニ於ケル害虫驅除ヲ勵行シ稗及雜草ノ拔取除去ヲ怠ラス尙種子ハ總テ塩水選ヲ行ヒ依テ以テ品質ノ改善收穫ノ増加ヲ計リ時局ニ處スル農民ノ責務ヲ全フシ戰時紀念トシテ發奮精勵之レカ實行ヲ盡シ永遠ノ利益ヲ享受スルニ努メ苟モ違背ノ行爲ナキ様深ク注意ス可シ

### 第五節 督勵ノ効果

當局ノ獎勵ハ叙上ノ如ク用意周到ナリシヲ以テ果然其ノ成績顯著ナルモノアリ爲メニ當時農家ノ壯丁カ戰役ニ徵サレテ勞働ヲ殺滅シ諸般肥料ノ輸入杜絶シテ肥料ノ騰貴ヲ來ス等諸種ノ障礙アリシニ拘ラス能ク其業ヲ全フシ積年唱道シタル改良事項ヲ遂行シテ斯業ニ一段ノ進歩ヲ見タルハ甚タ慶スヘキ現象ナリキ今其効果ヲ示サン爲メ左ニ三十七年ノ概況ヲ掲ケシ

蠶業ニ於テハ飼育戸數四万三千六百十三戸蠶種掃立枚數六万三千九十九枚收購石高三万二千九百十五石收購價格九十八万八千五百八十三圓ニシテ卅六年

ニ比シ飼育戸數三千九百七十一戸蠶種掃立枚數一万六千三百八枚收購高八千七百八十一石收購價格九万三千三十七圓ノ増加ヲ見タリ  
米ハ作付反別五万一千八百四町七反歩收穫高百十五万三千二百二十石麥ハ作付反別八千七百十五町五反歩收穫高九万三千六百二十五石ニシテ三十六年ニ比シ米ハ作付反別ニ於テ六百二十七町二反歩收穫高ニ於テ九万四千六百六十六石此價格九十六万四千九十三圓二十錢麥ハ作付反別ニ於テ百四十一町三反歩收穫高ニ於テ二万一千三百三十石此價格十五万九千九百七十五圓ノ増加ヲ見タリ  
即チ米麥及蠶業ヲ合計スレハ三十六年ニ比シ百二十一万三千五百五圓二十錢ヲ増産シタルモノナリ

斯ク著シキ効果ヲ奏シタルハ一ハ氣候ノ適順ニ依ルモノアルヘシト雖モ一ハ縣當局ノ獎勵ト相待テ民間ノ先輩カ能ク其地方農民ヲ誘掖指導シタルニ因ラヌンハアラス茲ニ於テ知事ハ郡役所ニ命シ督勵ニ盡瘁シテ効勞アルノ士ヲ町村ヨリ拔擢シテ之レニ賞狀ヲ附與シ以テ農民ノ龜鑑トセリ今其氏名ヲ下ニ録サン

明治三十七年ノ効勞者

江 沼 郡

三木村  
河南村

小谷石太郎  
塚本金吉

笠井村 井上村 崎田村 津幡町 笠井村 金川村 高松村 北羽村 北羽村 西邑知村 西邑知村 羽咋町 南邑知村 西海村 熊野村 瀧尾村 笠師保村 鳥屋村

美郡

奥出久藏 奥出榮太郎 後藤能次郎 德家徳市 山岸一郎 荒谷彌平 上出榮松 佐々木吉次郎 太田宇平 松本又八 松原市藏 本田太右衛門 澤田甚助 岸宇兵衛 中村久右衛門 橋本甚七郎 關戸又助

御祖村 矢田郷村 熊木村 金丸村 崎山村 鳥屋村 矢田郷村 餘喜村 劍地村 諸岡村 諸岡村 全比村 全岡村 柳田村 全屋村 大屋村 鳳至谷村 鉢崎村

北郡

濟田八郎 北川宗太郎 北川吉三郎 吉森政太郎 多川茂雄 橋本喜兵衛 早本源兵衛 北山吉三郎 林與三郎 藤井淨 增田清三郎 戸田久太郎 林紋右衛門 漢野長左衛門 上田久藏 榊田辰次郎 中農常太郎 黑田太兵衛 菱仁右衛門

笠井村 井上村 崎田村 津幡町 笠井村 金川村 高松村 北羽村 北羽村 西邑知村 西邑知村 羽咋町 南邑知村 西海村 熊野村 瀧尾村 笠師保村 鳥屋村

昨郡

松本五郎左衛門 洞庭五兵衛 小森伊三郎 川口惣太郎 廣瀬次右衛門 中田長太郎 眞田榮太郎 柴田作太郎 成田伊助 辻口久四郎 防下善太郎 疋島幸太郎 田邊秋平 内海藤左衛門 植村利隆 本田喜八郎 森傳吉 卜部次郎右衛門

御祖村 矢田郷村 熊木村 金丸村 崎山村 鳥屋村 矢田郷村 餘喜村 劍地村 諸岡村 諸岡村 全比村 全岡村 柳田村 全屋村 大屋村 鳳至谷村 鉢崎村

至郡

今井喜八 森宣次郎 高森淺松 濟藤儀八 松本西左衛門 岡田太七 梅平次郎 横井清左衛門 若林忠作 角海小太郎 諸岡義比 悦田新之助 中川菊松 山本増太郎 藤谷弘一 國盛善次 坂東八郎 阪東勇松 泉清助

出城村	宮保村	瀧山村	金浦村	小金村	直江谷村	木越村	森下村	八田村	萩坂村	金津村	全津村	東英村	西海村	志雄村	羽咋町	北邑知村	稗造村
北西仁三郎	石田啓太郎	早崎長左衛門	村田市郎兵衛	宮川正夫	中村勇次郎	境新右衛門	菊知宗兵衛	松村宗純	大西四郎兵衛	奥村勇作	新藤幸作	池田猪太郎	川村長久	木下藤太郎	鍋田嘉右衛門	所月佐太郎	新田興作

串江村	蓮島村	中島村	高田村	沖杉村	吉田村	湯野村	二塚村	内川村	戸板村	笠間村	出城村	全林村	全林村	全林村	全林村	鹿嶋路村	御祖村	徳田村	全田村	全田村	西湊村	端湊村	全川村	豊川村	餘喜村	高階村	輪鳥町										
山下駒次郎	宮越甚左衛門	平山助八	小酒伊右衛門	東出作松	福田源吉	南田岩松	福田源吉	高木彌三兵衛	北尾佐左衛門	小林市太郎	城田伊平	五間長彌	平田長次郎	高瀬初三郎	月田與三郎	上田竹次郎	北村喜作	中村忠右衛門	山口菊藏	金子留次郎	楠彌一郎	高田利太郎	平島吉右衛門	酒井榮照	菊井有一	三宅要松	合田六助	坂井助松	林助太郎	宮脇助十郎	浦部助五郎	津田平右衛門	菊川仁太郎	松井喜一	濱田宇太郎	中村松太郎	越村佐次郎

見付村	正院村	月津村	黒崎村	分校村	庄見村	東谷口村	全谷村	大聖寺町	三木村	作見村	牧能村	千針村	古河村	里川村	園江村	
村井重助	新田義繁	田中傳九郎	坂野忠宗	稻手吉五郎	村中良雄	谷口良雄	本川進	吉田忠美	千代恒夫	東出宇平	道田仁三郎	辻田善一	廣田平作	中田庄右衛門	中山徳松	小幡岩松

山下駒次郎	宮越甚左衛門	平山助八	小酒伊右衛門	東出作松	福田源吉	南田岩松	福田源吉	高木彌三兵衛	北尾佐左衛門	小林市太郎	城田伊平	五間長彌	平田長次郎	高瀬初三郎	月田與三郎	上田竹次郎	北村喜作	中村忠右衛門
-------	--------	------	--------	------	------	------	------	--------	--------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	------	--------

宇出津町	富田重作	珠洲郡	角谷時三郎
浦上村	堀康平		瀨戶與三郎
南北村	佐藤周作		木下與市
阿岸村	點田藤作		山岸久太郎
諸岡村	山崎庄太郎		谷内清衛門
西町村	橋本延太郎		垣内兵平
岩倉村	上谷儀三郎		酒尾庸三
栴比村	館幸太郎		富田勝太郎
七浦村	斯波六左衛門		
		松波村	
		蛤島村	
		黑峰村	
		宮崎村	
		東若山村	
		日置村	
		三崎村	
		鶴嶋村	

### 第六節 戰時督勵ノ終結

既ニシテ平和克復スルニ及ヒ所謂戰時農業督勵ハ茲ニ終結ヲ告ケタリト雖モ督勵スヘキ事項ニ至リテハ戰役アルカ爲メ始メテ必要ヲ生シタルニアラス殊ニ戰後國力ノ發展ニ伴ヒ農事ノ改良ヲ施スヘキハ更ニ一層剴切ナルモノアリテ存スルカ故ニ當局ハ戰時終了ト同時ニ曩日發布シタル農業督勵委員規程ヲ改正シ全訓令ヨリ戰時ノ文字ヲ削リテ委員ハ其儘存スル事トナシ則チ左ノ訓示ヲ爲セリ

本縣ニ於テハ農業改良事項ノ實行普及ヲ期センカ爲メ日露戰役開始ノ初ニ際

シ明治三十七年五月訓令第二十八號ヲ以テ戰時農業督勵委員規程ヲ設ケ爾來官民同心協力シテ改良事項ノ實行督勵ニ努メ漸次其成績ヲ舉クルニ至レリト雖モ未タ以テ普及ノ域ニ達セサルモノ不撓故ニ其目的ヲ貫徹スルニハ前途ニ奮勵努力ヲ要スルモノ極テ多シト今ヤ戰局既ニ終了ヲ告ケ平和ノ克復ヲ見ルニ至レリト雖モ而モ戰後ノ經營トシテ益々農業ノ發達國富ノ培養ヲ期スルノ一層急且切ナルモノアリ今回訓令第三十九號ヲ以テ戰時農業督勵委員規程ヲ改正シタルハ戰時ノ文字ヲ除キ其他ハ條文ヲ修正シタルモノニ止リ前規程ノ趣旨ヲ繼承シタルニ外ナラス依テ此意ヲ体シ一層進ンテ督勵指導ニ努メ農事改良ノ目的ヲ收ムル事ヲ期ス

明治三十八年十一月六日

## 第十九章 戰時教育

聞説ク普佛戰爭ノ前年普國駐劄佛國公使館附武官陸軍大佐ストツフェール普國宰相ビスマルクニ招カレ其別莊地ヴエルザインニ滞在スルヤビスマルクカ身聯邦ノ大臣トシテ其二兒ト客トヲ從ヘ近隣ノ小學校教師ヲ訪フヲ以テ一ノ樂トナシ且ツ一ノ典禮ト爲スヲ見感嘆措ク能ハス此一事ニ徵スルモ佛蘭西ハ到頭普國ニ敵スルコト能ハスト爲シ普魯西ノ恐ルヘキ事實四十五編ヲ草シテ之ヲ其皇帝ト陸軍卿トニ致セリ其翌年普佛戰ヲ交ルヤ果シテ佛國ハ城下ノ盟ヲ爲シ永ク屈辱ノ歴史ヲ後世ニ遺セリ

夫レ然リ普通教育ノ國家經營ニ捨クル効果ヤ實ニ深厚ニシテ一國榮辱ノ樞機ハ緊リテ教育ノ如何ニ在リト云フモ敢テ過言ニアラサルヘシ三十七年七月十一日我皇東京帝國大學ニ御臨幸ノ節文部大臣久保田讓ヲ召サセラレ左ノ御沙汰ヲ賜リス

軍國多事ノ際ト雖モ教育ノ事ハ忽ニスヘカラス其局ニ當ル者克ク勵精セヨ  
日夕軍國ノ大機ヲ總攬シ玉フノ御躬ヲ以テ畏レ多クモ深ク教育ノ事ニ御留意テ



ラセラレ當局者ニ警告ヲ賜フニ至リテハ臣民誰カ聖意ニ感激セルモノアラシヤ  
村上知事ハ夙ニ戰時ニ於ケル教育ノ發達ニ留意スルヤ殊ニ篤ク縣訓令ヲ發シ又  
ハ郡長ヲ招集シ訓示若クハ諮問スル等教育百般ノ施設ニ對シ其發達普及ヲ謀ル  
ニ孜孜自ラ驅メタル所洵ニ教育ノ爲メ慶スヘキ次第ナリキ左ニ戰時教育ニ關ス  
ル縣令及訓令ヲ附記セヌ

第一節 戰時教育ニ關スル令達

石川縣訓令甲第十一號

(三十七年二月廿七日)

郡市役所、町村役場、市町村立小學校

戰地ニ於ケル勤務ニ起因シテ死去シタル者ノ遺族ニ對シ市町村立小學校ニ於テ授業料ヲ减免スヘ  
キコトハ明治廿九年勅令第五號ノ規定ニ依ルヘキモ今回ノ事變ニ際シテハ更ニ此趣旨ヲ擴充シ出  
征又ハ應召軍人ノ子女ニ對シ小學校ハ勿論其他ノ學校ニ於テモ其授業料ヲ减免シ又ハ學用品ヲ給  
與スル等ノ法ヲ設ケ以テ軍人ヲシテ後顧ノ憂ナカラシムヘシ  
軍資供給ノ必要ハ教育ニモ影響ヲ及ホシ新事業又ハ設置等ニ關シ一時ノ緊縮ヲ來タスハ已ムヲ得  
サル所トス然レモ之カ爲メニ教員ノ俸給ヲ削減シ兒童ノ就學數ヲ減少シ其他教育ノ効果ヲ減退セ

シムルカ如キハ國家發展ノ基礎ヲ傷損スルモノナレハ務メテ之ヲ避ケサル可ラス而シテ經濟上節  
約ヲ圖ランカ爲メニハ小學校ニ於テハ規定ニ依リ二部教授ノ法ヲ採リ其他ノ學校ニ於テモ亦臨時  
適宜ノ法ヲ講スル等適當ノ措置ヲ施スヘシ

石川縣訓令甲第十二號

(全)

今回ノ事變ニ關シ主務大臣ハ本年二月文部省訓令第二號ヲ以テ教育ニ從事スル者ノ殊ニ留意服膺  
スヘキ事項ヲ訓令セラレタリ苟クモ教育ノ任ニアルモノハ宜シク該訓令ノ趣旨ヲ體シ平時ニ於ケ  
ルヨリモ一層奮勵シテ其職務ニ努力スヘク之カ管理者監督者ニ於テモ亦其意ヲ体シ特ニ注意督勵  
シテ以テ國家カ教育者ニ期待スル所ノ効果ヲ完カラシメンコトヲ努ムヘシ

石川縣令第十四號

縣立各學校

戰時事變ニ際シ出征又ハ應召ノ軍人及戰地ニ於ケル勤務ニ起因シテ死去シタル者ノ子女弟妹ニ對  
シテハ時局ノ終決ニ至ルマテ授業料ヲ免除ス此場合ニ於テハ當該學校長ニ於テ事實ヲ具シ知事ニ  
開申スヘシ

石川縣令第五十三號

(三十七年六月十七日)

明治三十三年此石川縣令第八十七號公立中學校及高等女學校授業料入學料ニ關スル規則中第三條

ノ三ヲ左ノ通改正ス

第三條ノ三、戰時事變ニ際シ出征又ハ應召ノ軍人又ハ公務ニ依リ從軍シタル軍屬等ノ同籍内ニ在ル子女弟妹ニ對シテハ出願ニ依リ時局ノ終結ニ至ルマテ授業料ヲ免除ス

軍人軍屬等ノ戰地ニ於ケル勤務ニ起因シテ死去シタル者ノ同籍内ニ在ル子女弟妹ニ對シテハ出願ニ依リ授業料ヲ免除ス

前二項ニ依リ授業料免除ノ出願アリタルキハ當該學校長ニ於テ事實ヲ調査シ處分后知事ニ報告ス可シ

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

本令ノ規定ニ該當スルモノニシテ本令發布前既ニ授業料ノ免除ヲ受ケタル者ハ出願ヲ要セス本令ニ依リ免除セラレタル者ト看做ス

石川縣令第五十四號

(三十七年六月十七日)

明治三十四年四月石川縣令第三十三號石川縣師範學校附屬小學校及幼稚園規則中左ノ通改正ス

第十三條第二項中「及第二條」ノ四字ヲ削除ス

第十四條ノ二ヲ左ノ通改ム

第十四條ノ二、戰時事變ニ際シ出征又ハ應召ノ軍人又ハ公務ニ依リ從軍シタル軍屬等ノ同籍内ニ在ル子女弟妹ニ對シテハ出願ニ依リ時局ノ終結ニ至ルマテ授業料及保育料ヲ免除ス

戰地ニ於ケル勤務ニ起因シテ軍人恩給法第九條第十四條又ハ官吏恩給法第三條ニ該當スル者又ハ戰地ニ於テ傷疾ヲ受ケ疾病ニ罹リ明治二十七年勅令第六十四號ニ依リ手當金ヲ受クル者等ノ同籍内ニアル子女弟妹ニ對シテハ出願ニ依リ授業料保育料ヲ免除ス

前二項ニ依リ授業料又ハ保育料免除ノ出願アリタルキハ學校長ニ於テ事實ヲ調査シ處分后知事ニ報告スヘシ

附 則

本令ハ發布ノ當日ヨリ施行ス

本令ハ第十四條ノ二ノ規定ニ該當スル者ニシテ本令發布前已ニ授業料又ハ保育料ノ免除ヲ受ケ若クハ徵收セラレサルモノハ出願ヲ要セス本令ニ依リ免除セラレタルモノト看做ス

石川縣訓令甲第二號

(卅八年二月十一日)

郡市役所、町村役場、公立小學校

日露開戰以來茲ニ一年有餘皇軍嚮フ所連戰連捷ノ偉勳ヲ奏シ彼ノ難攻不落ト稱ヘシ旅順ノ要塞モ遂ニ開城ノ止ムナキニ至ラシメタリ然ト雖モ戰局ノ前途ハ尙ホ遑遑ナリ我カ國民タルモノ益々堅

忍持久ノ 聖旨ヲ奉戴シ他クマテ交戦ノ目的ヲ達スルニ努ムヘキハ勿論此際進テ戦後ノ經營ヲ画策シ以テ光榮アル終局ノ勝利ヲ收メンコトヲ覺悟セサルヘカラス  
抑モ戦後經營ノ大本ハ實業ノ振作發達ニ存ス實業ノ振作發達ヲ期センニハ須ラク之カ根柢タル實業思想ノ養成ヲ圖ラサルヘカラス蓋シ實業思想ノ發展ハ個人ヨリ之ヲ言ヘハ立身興家ノ基礎國家ヨリ之ヲ言ヘハ國力振作ノ源泉ニシテ其盛衰消長ハ延イテ國家ノ隆替ニ影響ヲ及ホスヤ多言ヲ須ヒサルヘシ彼ノ歐米列國ガ競フテ實業教育ノ獎勵ヲ圖リ汲々トシテ唯後レンコトヲ恐ル、所以ノモノ洵ニ偶然ニアラザルナリ凡ソ事業ハ相當ノ準備ナクシテ俄ニ成效スヘキモノニアラス況ヤ教育事業ノ如キ其ノ効果ヲ永遠ニ期スルモノニ於テオヤ是今日有事ノ時ニ當リ戦後ノ經營トシテ實業思想養成ノ必要ヲ鼓吹シ之カ注意ヲ喚起スル所以ナリ

之ヲ要スルニ吾カ帝國カ戰捷ノ光榮ヲ完フシ威名實力共ニ世界ノ一等國トシテ列強ノ間ニ雄視スルト否トハ一ニ實業思想ノ發展如何ニ繫ルト言フモ過言ニアラサルヘシ「進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開ク」ト宣セラレタル勅語ハ今后ニ於ケル教育施設上ニ關シ最モ服膺スヘキ所ナリト信ス仍テ左ニ其施設方法ヲ示ス地方常事者並教育者ハ宜シク此旨ヲ體シ益々熱心勵精實業思想ノ養成ニ努メ以テ十全ノ効果ヲ收メンコトヲ期スヘシ

一、小學校ニ於テハ何レノ教科目ヲ教授スルニモカメテ實業ニ採リ且之レニ要スル實物模型標本

圖書等ヲ備ヘ以テ實業思想ノ養成ニ資スルハ勿論便宜ノ方法ニ依リ夏季冬季ノ休業又ハ教授ノ餘暇ヲ以テ兒童ヲシテ實業ノ補助ニ從事セシメンコトヲ要ス

一、尋常小學校及ヒ高等小學校第一第二學年ニ於テハ成ルヘク手工科ヲ加設シ又修業年限三ヶ年以上ノ高等小學校ニ於テハ來學年ヨリ必ラス小學校令第二十條第三項ノ教科目ヲ加設センコトヲ

要ス

一、各小學校ニハ明治三十五年文部省訓令第一號ノ趣旨ニ基キ簡易ナル方法ニテ成ルヘク實業補習學校ヲ附設センコトヲ要ス

一、夜學ノ設置ハ年一年ニ増加シ其ノ教授モ暫時實用的ニ傾キタリト雖モ之レカ實際ノ狀況ニ徴スレハ尙遺憾トスヘキ點ナキニアラス自今務メテ其方法ヲ改善シ且成ルヘク實業ノ科目ヲ加設セシメンコトヲ要ス

一、小學教員ハ常ニ實業ニ須要ナル智識技能ノ收得ニ努ムルハ勿論隨時實業學校教員實業ノ巡回教師又ハ老練ナル實業家ヲ聘シ實業ニ關スル講話ヲ聽クノ方法ヲ講センコトヲ要ス

石川縣訓令甲第二十九號

(三十八年九月二日)

郡市役所、町村役場、市町村立小學校

時局ニ關スル活事實ニ依リ教育ノ効果ヲ完フスヘキハ豫テ訓示シタル所ニシテ各小學校ニ於テハ

其ノ趣旨ニ基キ之カ實行ニ務メツ、アルハ勿論ナルモ尙其ノ市町村内ニ於ケル左ノ事項ヲ輯録シテ之ヲ保存シ以テ教授訓育ノ資料ニ供シ併セテ永久ノ紀念トナスヘシ

一、出征又ハ應召軍人ノ事蹟

一、戦死者ノ經歷逸事等

一、軍人家族及遺族ノ奇特ナル行爲

一、時局ニ對スル特志者ノ事蹟

一、軍人及其ノ家族遺族ノ慰問救護等ニ關スル狀況

石川縣訓令甲第三十二號

(三十八年九月二十七H)

郡市役所、町村役場、公私立學校

今河主務大臣ヨリ戦後ノ經營ニ關シテ教育者ノ留意スヘキ事項ニ付キテ左ノ如ク訓示セラレタリ教育者ハ須ラク該訓示ノ趣旨ヲ體シ一層其職務ニ勵精シ以テ十全ノ效果ヲ舉ケンコトヲ期スヘシ

主務大臣訓示ノ要領

昨年二月宣戰ノ大詔ヲ發セラル、ヤ時局ニ對スル教育者ノ心得方ニ關シ訓示スル所アリタリ爾來一年有半其間地方財政ノ緊縮學校職員ノ應召等ニ依リ教育ノ事業モ甚カラサル困難ヲ感シタルヲ以テ其ノ結果ニ付テハ尙ニ憂慮スル所アリシニ拘ハラヌ教育者ハ能ク此ノ困苦ニ耐ヘ勵精其ノ事

ニ從ヒ熱心誠實其ノ職ニ盡シタルカ爲メニ教育ノ効果ハ別ニ減退ヲ來スコトナク却テ時局ニ關スル活事實ヲ教材ニ利用シテ教授上一段ノ活氣ヲ添ヘタルカ如キ官民一致奉公ノ誠ヲ致シタルノ結果公私ノ紀念事業カ競フテ各地ニ施設セラレタルカ如キ好影響ト認ムヘキモノ多ク其他學校等ニ於テ軍人ニ多大ノ同情ヲ表シ有ユル方法ニ依リ之ニ後援ヲ與ヘ以テ軍氣ノ鼓舞ニ勉メタルカ如キハ頗ル喜フヘキコトナリ

今ヤ講和ノ條約將ニ成ヲ告ケントス帝國カ戰勝ノ光榮ヲ全ウシ交戰ノ目的ヲ達シテ平和ヲ克復スルニ至ルコト遠カラサルヘシ寔ニ慶スヘキナリ然リト雖モ今后國運ノ發展伸張ニ伴ヒ國家ノ前途多事ニ國民ノ責任ハ更シニ一層ノ重キヲ加フルヤ疑フヘカラス此際帝國國民タル者須ラク協同一致其ノ軍國ニ處シタル精神ヲ以テ大ニ戦后經營ノコトニ當ラサルヘカラス万ニ戰勝ノ餘威ニ狂レ驕慢奢侈安逸遊惰ノ風ヲ生スルカ如キコトアラハ其ノ結果ノ及フ所蓋シ測ルヘカラサルモノアラシ教育者ハ深ク此點ニ留意シ社會ノ指導ニ怠ラザランコトヲ期スヘシ若シ夫レ我國固有ノ美德タル忠君愛國ノ精神ニ至テハ今回戰務ノ由テ來ル所ニ鑑ミ益々此ノ美德ノ涵養扶植ニ勉ムヘキハ固ヨリ言ヲ待タサル所トス

今后我國ニ於テ最モ急務トスル所ハ國力ノ増進ニアリ而シテ國力ノ増進ハ之ヲ産業ノ隆盛發達ニ待タサルヘカラス産業ノ隆盛發達ヲ期セントモハ其ノ人ヲ得ルヨリ急ナルハナシ即チ此ノ方面ニ

活動スヘキ人材ノ養成ハ最モ切要ヲ感スルモノアリ此ノ際實業教育ノ發達改良ハ學政上ノ急務ニ屬スルカ故ニ政府ハ之カ獎勵ニ意ヲサルヘシテ亦之ト同時ニ普通教育ニ於テモ徒ラニ浮華高遠ニ馳スルコトヲ避ケ可成之ヲ實用的ナラシメ以テ國家ノ要望ニ應セシメンコトニ留意セサルヘカラス

之ヲ要スルニ教育者ハ克ク我國今后ノ狀況ニ顧ミ舊時ニ倍蕪スルノ力ヲ以テ奮勵其ノ職ニ盡シ以テ之カ實行ヲ期センコトヲ望ム

## 第二節 知事ノ各學校巡視及訓諭

時局ニ際シ教育費ノ節減ヲ來シタルハ殆ント一般ノ狀況ナルカ本縣ニ於テモ事業ノ緩急ニ從ヒ可及的節約ヲ加ヘ學校建築ノ如キモ全部中止スルノ止ムヲ得サルニ至レリ然レトモ之レカ爲メニ教育ノ効果ヲ減退セシムルハ管ニ一大恨事タルノミナラス其内容實質ニ至リテハ寧ロ此ノ際充實發展セシムルノ必要アリト認メ村上知事ハ三十七年二月即チ開戦ノ當時縣立學校長及ヒ郡市長ヲ召集シ時局ニ處スル心得ニ關シ懇々訓示ヲナシ尙ホ一般學校生徒ニ對シ義勇奉公ノ精神ヲ喚起シ併セテ教育ノ忽ニスヘカラサルヲ知悉セシメン爲メ同年三月初旬ヨリ

自ラ縣下各縣立學校及ヒ各都市高等小學校ニ出張シ時局ニ對スル生徒ノ心得ヲ訓示シ其ノ講演全縣ヲ通シテ六十五回ニ及ヘリ尤モ金澤市ニ在リテハ各尋常小學校ニ於テモ講演シ又郡部高等小學校ニ於テ講演ノ節ハ便宜附近ノ學校生徒ヲ加ヘ町村吏員校下父兄等ヲモ列席セシメタリシカ聽講者ノ最モ多キハ千名以上ニ達シタル所アリ加之視學官ハ更ニ命ヲ受ケテ各學校ニ出張シ普チ其ノ趣旨ヲ敬演セリ而シテ郡市町村長及ヒ學校長教員ニ於テモ亦タ能ク熱心其ノ職務ニ努メシ結果今日ニ至ルモ學校生徒ノ出席上ニ何等ノ障礙ヲ及サ、ルノミナラス却テ夜學ノ如キハ前年ニ比シ三十八箇所生徒千五百餘人ノ増加ヲ見ルニ至レリ特ニ注目スヘキハ時局發展後出征軍人又ハ其ノ家族ニシテ相當教育ヲ受ケサリシ爲メ相互音信ヲ通セントシテ頗ル不便ヲ感シ爲メニ益々子女教育ノ必要ヲ自覺スルノ好實例ヲ出セシコト之レナリ尙ニ教育上喜フヘキ現象ナリトス左ニ三十七年四月八日石川郡松任小學校全五月十六日縣立工業學校ニ於ケル知事演說ノ要旨ヲ掲ク

### 松任小學校生徒ニ對スル訓諭ノ要旨

生徒諸子ヨ、皆様カ毎日學校ニ通ヒテ、折角怠ラス勉強ナサレテ居ルノハ、誠ニ

結構ナルコトテ、私ハ深ク喜ンテ居マス。私ハ此春、仕事ノ都合ヲ見計ヒテ、本縣下ノ各小學校ヲ巡視シ、生徒諸子ノ折角勉強ニナツテ居ラル、有様ヲ見ヨウト思フテ居タノテアルカ、御承知ノ通、今度俄ニ露西亞トノ大戦争カ始マツタノテ、私ノ思ヒマスニハ、此戦争ハ誠ニ我國ニ取リテ由々シキ大事件テアル、國民タル者ハ、決シテウツカリ思ツテ居ルヘキ時節テナイ、故ニ今度普通ノ學校巡リハ當分見合ストシテ、是非學校生徒諸子ニ、直接向キ合ツテ、此戦争ニ對スル皆様ノ覺悟ニツキ、私ノ考ヲ話ス方カ尤モ必要ナコトテアラウト思ヒマシタノテ、カク此ニ出テ來マシタ次第テアリマス。暫ク靜ニシテ氣ノ散ラヌ様ニ聞テ貰イタイ。

サテ今度ノ日露戦争ハ、我日本國ノ一大事件テアツテ、起キルカ倒ル、カノ境テアル、誠ニ容易ナラヌコトテアル。ソレテ吾 天皇陛下ハ、大元帥トシテ日夜ニ軍國ノ事ヲミソナハセラレ、深ク御軫念アラセラル、ノテアル。ソウシテ、我忠勇ナル軍人諸君ハ、海テハ敵ノ軍艦ト戦ヒ、陸テハ敵ノ大軍ヲ相手トシ、丸ノ雨ヤ火藥ノ烟ノ中モ厭ハス、命ヲ捨テ、一生懸命ニ御國ノタメニ戦ツテ居ラレマス。實ニ畏多ク且ツ有難イコトテアル。

サテ斯様ナ時節ニ當リ、皆様ハ年ハマダ若イガ、決シテウツカリ思ツテ居テハナラス。皆様ハ第二ノ國民テアル。即チ、現在働イテ居ル人達カ年取ツタ時分ニ皆様ハ丁度大人トナツテ此後ヲ引受ケ、立働カチハナラヌ方々テアル。イフテ見レハ、皆様ハ吾日本帝國ノ總領息子テアル。斯様ナ重キ大切ナル役目ノアル諸子テアレハ、私ハ此時局ニ當リテ、力ヲ込メテオ話しタシテ置カチハナラヌコトカアル。皆様ハ教育御勸語ヲヨク御存知テセウ。此御勸語ハ、儀式ノ時ニハイツモ校長サンカ御奉讀ニナリマスシ、又先生ヨリ不斷聞カサレテ居ルテアラウ。此御勸語ノ内ニハ、トンナ御言葉カアルカ、父母ニハ孝行、兄弟ヤ朋友ハ仲ヨクシ、折角品行ヲ良クシテ學問ヲ勵ミ、世ノ爲メヲセチハナラヌコトヲ述ヘラレテアリマス。是ハ平常不斷ノ心得テアルカ、扱其次ニハ如何ナル事ヲ仰セラレテアリマス。御承知通り、一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シトアリマス。此一節コソ、今日國民カ深ク注意セチハナラヌ御言葉テアリマス。一旦緩急アレハトハ、國家万一ノ場合ヲ仰セラレヌモノテ、大戦争ノアル今日ノ如キカ即チソレテアリマス。

皆様ハ、先生カラモオ聞キテアリマシタラウカ、露西亞トイフ國ハ、地面ノ廣

サハ日本ノ幾十倍モアリ、人口モ兵隊モ日本ノ幾倍モアル世界ノ大國テアル。ソレテ西洋ノ文明國ニモ、皆怖レラレテ居ル位ノ強イ國テアル。日本カ、何故ニ此様ナ國ト戦ハチハナラヌコト、ナツマカトイフニ、ソレハ二月十日ニオ下シニナリマシタ、御勅語ヲ拜讀スレハヨクワカルカ、ツマリ、露國ハ其力ノ強イノヲ恃ンテ、我日本ニ對シテ暴慢無禮ヲ加ヘタノテアル、ケレハ、我日本ノ國ハ、氣永ク持チテ、靜ニ其不法ヲ論シタケレハ、一向聞入レナイノミナラス、却テ大兵ヲ滿州ニ置クハカリテナク、ツイ我隣ナル朝鮮マテモ、手ヲ出サウトシタノテアル。日本カ、若シ尙堪忍スルトスレハ、遂ニ我國家ヲモ危クスルコトハ、イカニモ明ナルコトデアアルカラ、迎モ忍フヘキ譯テナイ故、恐多クモ、天皇陛下ハ非常ニ御軫念アラセラレ、万止ムヲ得サル仕抹テ、此戰ヲ開クコトニ御決心遊ハサレタノデアアル。カ、ル次第デアアルカ、相手ハ前申シタ通りノ強大國デアレハ、之レヲ敵トシテ戰フトイフコトハ、恰モ、子供一人カ關取四五人ニ飛付テ勝タウトスル様ナ譯テ、中々困難ナコトテ、非常ノ決心ヲ以テカ、ラチハナテヌコトデアル。然ルニ、此頃新聞號外ハ、幸ニ我日本ノ大勝利ノ知ラセハカリテ、實ニ結構ナコト、申サチハナラス、若シ之レカ、敗戰ノ知ラセテアツタナラハトイナルコト

トデアラウカ、試ニ考ヘテ御覽ナサイ。吾々國民ハコノ様ニ、安樂ニ居ルコトカ出來様カドウカ、此大切ナ日本國カドウナラウカ、思ツテモゾツトスルコトハナイカ。一旦緩急アレハ義勇公ニ奉セチハナラヌトハ、即チコトコトデアル。二月十日ノ御勅語ノ内ニ、汝等有衆ノ忠實勇武ナルニ倚賴シ、早ク終局ノ勝利ヲ得テ、東洋ノ平和ヲ克復シタイト仰セラレテアル。ナント恐多イコトデアナイカ。ソレテ、吾國民ハ、老若男女ノ別ナク、御慮ノ程ヲ深ク畏ミテ、奉公ノ誠ヲ盡ス大決心カ出來タノテ、今日ノ大勝利ヲ得ラル、ノデアラウト思ヒマス。御存知ノ通り、我國民ハ世界ニ比類ノナイ、万世一系ノ天皇陛下ヲ戴キ、遠キ神代ノ昔ヨリ、君ハ臣ヲ愛セラレ、臣ハ君ニ忠節ヲ盡シ、未タ一タヒモ外國ノタメニ此國土ヲ汚サレタコトノナイ目出度國柄デアレハ、我國民ノ精神ノ内ニハ外國ニ比類ノナイ愛國心、即チ大和魂トイフモノカ發生シテ居ル。ソコテ、今度ノ様ナ大敵ヲ相手トシテ恐レス、大決心ヲ以テ之レニ當リ、世界ノ不思議ニ思フ位勝利ヲ得ルト云フノハ、全ク此大和魂カアルカラデアル。皆様ハ、コレマテ修身ノ時間ニ、先生カタ色々昔ノ忠臣義士ノオ話を聞テアラウカ、今日ノ皆様ハ、昔シノ人ヲ引合ニ出サストモ、現在目前ニ活キタ手本カ

澤山アル。此非常ノ時代ニ生レ合セ、忠勇義烈ナル我軍人カ、命ヲ捨テ、國ノ威光ヲ世界ニ輝シ、天晴世界ノ一等國ノ仲間入ヲスルコトノ出來ル時節柄ニ出逢ヒ、昔ノ忠臣義士ニ優ルトモ劣ラヌ立派ナ英雄ヲ、目前ニ澤山置イテ、活キタ教訓ヲ受ケラル、年若キ皆様ハ、誠ニ幸福ナル人達テアル。私ナトノ様ニ、年取ツタ者ハ羨シク思ヒマス。

シカシナカラ、此大戦争ニ我國ノカク勝利ヲ得ント云フコトハ、決シテ軍人ノミノ力ヲ出來ルモノテナイ。前ニモ申シタ通り、全國民ハ老若男女ヲ問ハス、非常ノ決心ヲセチハナラヌノテアル。彼ノ軍艦ニ備ヘテアル、大砲ニ用フル砲丸一發ノ價カ貳千圓モカ、ルノデアアル、一發ズドント音ガスルト、貳千圓飛ンデ行クノデアアル、ソレガ愈敵艦ト出逢ツタト云フ時ニハ、ドン／＼／＼絶間ナク打出スコトデアアルカラ、一度ノ戦争ニ、砲丸タケニテモ、ドラホトノ金ガカ、ルカ分ラヌノテアル。マシテ兵糧ヤ被服ノ費用ニ至テハ、誠ニ莫大ノモノデアルトイハチハナラヌ。ソレ故ニ、戦争ヲスルニハ是非トモ多クノ金カナケチハナラヌ。此金ヲコシラヘル人ハ誰カトイヘハ、無論國民タル農工商其他ノ人々デアアル。如何ニ軍人ニ大和魂カアツテ強クトモ、國民モ同ク大和魂ヲ振起シ、戰場ニ

出テ居ル覺悟テ立テ働キ、折角金ヲ拵ヘテ、兵糧ナリ彈藥等ヲドシ／＼戦地ヘ送ラチハ、戦争ハ出來ス、勝利ハ勿論得ルコトカ出來ヌノデアアル。ソウデアアルカラ、農ナラハ農、商工ナラハ商工、何レモ一生懸命トナリ、是マテ十石取上ケタ田地カラハ、今度ハ一畝働イテ十二石十三石モ取上ケ、一日二十時間働イタ者ハ今度ハ奮發シテ十二時間働キ、今度ノ戦争ニイクラ金カイツテモ、屹度吾等カ引受マストノ決心ヲ現ハシ、恤兵ニ、献金ニ、各等フテ之レヲナス様ニナラハ、戦地ニアル軍人ハ、如何ニ心丈夫デアラウ。又世界各国モ、如何ニ吾國ニ同情ヲ寄スルコトデアラウ。殊ニ軍人ノ家族ノ内ニハ、大事ナ働キ手ヲ取ラレテ、困難シテ居ル向モ多カラウ。若シ其近隣ノ人々ガ、其家族ノ生計ヲ引受ケ、之レヲイタワルト云フコトニナラハ、軍人ハ必ス感激シテ、愈々勇ンテ敵ニ當ル氣ニナルデアラウ。是等ノ事ヲ、國民ノ後援ト云フテ、最大切ナル國民ノ義務デアアル。以上述べ來シタ様ナ國民ノ後援ハ、主トシテ皆様ノ父兄ノ責務デアツテ、皆様ノ様ナ子供衆デハ、今ドウスルトイフコトノ出來ヌコトデアアル。内ヘ戻ツタナラハ、私ガ斯様ナコトヲ話シタト、内ノ方ニ話シテ貰イタイ。

借、私ハ茲デ愈皆様ノ覺悟ヲオ話セチハナリマセヌ。私ハ、皆様ノ様ナ子供衆ニ



戦地ニ出テ、働ケノ、金ヲ拵ヘテ献セヨナド、云フ難題ハ言ハヌ。唯忘レテハナラヌコトハ、皆様ハ前ニ申シタル通り、第二ノ國民デアアル。我日本國ノ後繼デアルトイフコトデアアル。今ヤ國家非常ノ時ニ當リテ、軍人モ國民モ、イツレモ御勅語ノ御言葉ヲ服膺シテ、義勇公ニ奉シ、澤山ノ活キタ修身談カ、皆様ノ目前ニ積ミ上ツテ居ルノヲ見ラレタナラハ、子供ナカラモ大ニ感奮セテハナラヌコトデアアル。現今ノ人々ガ、斯様ニ非常ナル苦勞スルノモ、是全ク御國ノ爲メデアアル。御國ヲ立派ニシテ、第二ノ國民タル皆様ニ、引渡サウトスルノデアアル。皆様ハ、決シテウツカリ思フテ居テハナラヌ。皆様ハ若イナカラモ、チヤント大和魂ガアルニ相違ナイ。シカシナカラ、玉磨カサレハ光ガナイ、大和魂モ、折角磨キ上ケテハヨイ光ハ出テ來ナイ。ソレデ、皆様ノ今日ノ覺悟ハ、今ヨリ一層深ク勉強シテ、立派ナ精神ト、丈夫ナ身体トヲ鍛ヒ上クル様ニ心掛ケテハナラヌコトデアアル。月ニ一兩度モ學校ヲ休ンダハ、之レカラ一度モ休マヌ様ニシ、書物十枚ツ、復習シタ者ナレハ、今度ハ二十枚モ復習スル様ニシ、今ノ軍人ガ吾々ノタメニ、マヅイ物ヲ食ベ、寒サ暑サニ堪ヘ忍ビ、晝モ夜モ滿洲ノ原野ニ大敵ト戰フテ居ラル、コトヲ思ヒテ、吾心ニ鞭チ、ナンデモ一生懸命、勉強シテ貰イタイノデアアル。此事ハ決シテ忘レテハナラヌ。是レカ即チ皆様ノ義勇奉公デアアル。私ハ今日茲ニ參ツタノハ、全ク此オ話ヲ致シタイカラデアアル。吳々モ忘レヌ様ニシテ貰イタイ。

尙女生徒諸子ニ殊ニ一言スルガ、昔ハ女子ニハ學問ナトハ無用デアアルナト、申シマシタカ、今ハ中々ソウテナイ、國ノ文明ニナルニハ、女子ノ力カ大ニ關係アルコトデアアル。昔テモ今テモ、豪イ人ノ母ハ、皆勝レタ知識精神ヲ持テ居タ人デアアル。今日滿州ノ野ニ花ヲ咲カセテ居ル軍人諸君モ、幼少ノ折ハ、皆オ母サンノ膝ノ上テ育テラレタモノデアアル。且ツ今日ハ、女子モ世ノ中ノ表ヘ出テ、男子ニ劣ラス立働クコトカ出來ルノデアアル。ソレハ外テモナイ、日本赤十字社ヤ、篤志看護婦人ヤ、愛國婦人會ノ如キイツレモ女子ノ事業トシテ男子ト同ク活動ノ出來ル機關デアアル、カク一面ニハ強イ兵隊カ居、一面ニハ情ノアル女子カアツテ始メテ強國トモイハレ、文明國トモ云ハル、ノデアアル。兎モ角、女子ジャトテ時局ヲ冷淡ニ看過ストイフハ、大間違テアツテ、男子ト同ク戰場ニ立ツタ心得テ一生懸命勉強シテ、後日文明國ノ婦人トシテ、耻カシカラヌ人ト成ル様ニ心掛ケテハナリマセヌ。永々トオ訴シテ致シマシタカ、皆様ハヨク靜ニシテ聞取ラ

レタコトハ、私ノ満足ニ存スル所テアル。私ノ話ノ内テ、解シ難イ所カアツタナ  
ラハ後テ先生カラ聞カセテ貰ツテ、十分合點ノイク様ニシ、永ク忘レヌ様ニシ  
テ貰イタイ。

### 工業學校生徒ニ對スル訓諭ノ要旨

生徒諸君余ノ本校ニ臨メルハ或ハ諸君ノ課業ヲ妨クルノ嫌ナキニシモアラサ  
レレ此振古未會有ノ時局問題ニ對シ實ニ默視スヘカラサルモノナレハナリ勿  
論諸君ハ校長及各先生ヨリ時局ニ對スル心得等ハ懇々諭示セラレタルヲナレ  
ハ殊更ニ余ノ言ヲ待ツ必要モナカルヘケレレ尙ホ聊カ一言セントスルハ上ハ  
天皇陛下ニ對シ奉リ下ハ諸君ノタメニ余カ職責上已ムコト能ハサルヲ以テナ  
リ

余ハ時局ニ就テ種々ノ方面ノ人ニ話シ、コトアレト余ノ衷情ヲ訴フルハ學生  
諸君ヲ最適宜ノ朋友ナリト思フナリ蓋シ諸君ハ將來第二ノ國民トナリ國家樞  
要ノ位置ヲ占ムル人ナレハナリサレバ宣戰 詔勅ノ下ルヤ直ニコノ學校へ來  
ルヘキ筈ナリシカ恰モ學年試験ノ折ナリシヲ以テ小學校ヲ先ニシ漸ク今日諸  
君ニ相會フノ機會ヲ得タル次第ナリ

抑モ學生諸君ト此ノ振古未會有ノ時局トハ大關係ヲ有シ殊ニ教育トハ特種ナ  
ル關係ヲ有スルモノナリ何トナレハ諸君ノ年齢中ハ物資ノ感化極メテ鋭ク第  
二ノ天性ヲ作リツ、アルトキナレハナリ故ニ諸君ハ此ノ時ニ當リ大ニ理想ヲ  
高尚ニシ其習慣ヲ作り有爲ノ人物トナラサル可ラス若シソノ理想卑下シテ學  
術ノ研究ハ單ニ衣食ノ爲ナリトナサハ唯ニ大ナル成功ヲ遂ケサルノミナラス  
又イカテカ有爲ノ人物タルヲ得ヘキ而シテ英雄豪傑ノ資アルモノハ格別一般  
ノ人ハ世ノ氣運ニ動カサル、モノナレハ國運ノ旺盛ナルトキハ士氣モ隨ヒテ  
旺盛ニ國勢萎靡スルヒハ士氣モ隨ヒテ萎靡シ其ノ氣運ニ感化セララルコトハ  
恰モ水ノ方圓ノ器ニ從フカ如クナルヘシ尙其實例ハ歐米支那朝鮮ノ諸國ニ鑑  
ミテモ知ルコトヲ得ヘキナリ我國開關以來三千年ト稱スレモ今日ノ如ク盛ナ  
ルキハアラス世ニ幸運兒ト云フヘキモノアラハ此際ニ生レタル諸君ノ如キモ  
ノコソ實ニ無上ノ幸運兒ト云フヘケレ余ハ時局ノ斯クマテ進マサル内ニ國民  
トシテノ決心覺悟ヲ告ケント思ヒシカ戰爭ハ非常ノ速力ヲ以テ發展シ陸海軍  
ノ捷報ハ殆ント日ヲ連テ齎ラシ來ル有様トナレリ此ノ戰局ニ就テハ考慮ヲ  
要スルコトモ亦少ナカラスト思フナリ

サテ此ノ日落交戦ニ至リシ顛末ハ去ル二月十日ニ發布セラレシ 詔勅ヲ拜讀スルモノ、皆能ク知ル所ナレハ今更詳説ヲ要セスト雖モ實ニ吾カ國カ露國トノ交渉商議ニ半年ノ久シキ時日ヲ經我カ國ハ露國ト戰フノ勇氣ナキカヲ疑ハシムル迄慎重ニ慎重ヲ加ヘ忍耐ニ忍耐ヲ重テ東洋ノ平和ヲ永遠ニ保持センコトヲ力メタレモ彼ハ信義ヲ忘レ暴横ヲ逞フシ益々我ヲ窮境ニ陥ルカ如キ態度ヲ示シタレハ爰ニ於テカ大詔ノ煥發トナリ國民ノ義憤トナリ以テ今日ノ大活動ヲ惹起セリ歴史ヲ緝キテ古來ノ戰爭ヲ閱スレハ仁義ノ戰ト慾望ヲ逞フスルノ戰トノ二種アリ最後ノ勝利ハ常ニ正義ノ師ニ歸スルヲ見ル支那ニテハ湯武ノ放伐ナトチ仁義ノ師トテ口ヲ極メテ稱讚スレモ我國人ノ眼ヲ以テスレハコレトテモ君臣ノ道ヲ顛倒スルモノニシテ決シテ仁義ノ師トハ云フヘカラス然ルニ今回ノ戰因ヲ考フレハ露ノ戰フヤ常ニ慾望ヲ逞フスルノ無道ヨリ起レモ我ノ戰フヤ名正シク義明カニ所謂仁義ノ戰ナレハ海ニ陸ニ每戰大捷ヲ得ルコト陛下ノ御稜威ト將士ノ忠勇トニ由ルト雖モ亦天意ニ從フカ爲ナルヘク歐米諸國ノ同情ヲ表スルモ故ナキニアラサルナリ此ノ頃英國新聞ノ所掲ナリト云フヲ見ルニ左ノ數節アリ曰ク「日本カ顯ハシタル今日ノ好結果ハ實ニ驚倒セサラ

ント欲スルモ得ヘキニアラス實ニ日本人ハ嘗ニ戰爭ニ好妙ヲ極メタルノミナラス亦能ク新式ノ武器ノ活用ニ於テ眞ニ鬼神ヲ驚カスニ足ルノ進歩ヲ極メシモノナリ即チ水雷ノ如キ未タ嘗テ他列國ノ用キテ成效ヲ遂ケザリシ前ニ當リ日本ハ是ニ依リテ絶大ノ成效ヲ遂ケタリ嗚呼日本人ハ實ニ功者ナル機械師ナリ竊ヒ撃チニ妙ヲ得タル名手ナリ算數ノ術ヲ極メタル數理家ナリ而カモ組織的ニシテ指導的ナリ大膽ニシテ尙ホ實際的ナリ其一朝國家事アルニ當リ難ニ殉スル愛國ノ美風ニ至リテハ世界廣シト雖モ何レノ國民カ能ク匹儔スヘキモノアランヤ是レ世界歷史上他ニ異例ノナキ異彩ナリ曾テ弱國ト輕侮シ近世科學ノ知得到底見込ナシト見切ラレタル日本カ今日ニ至リテ數理上ヨリ艦隊軍隊ノ組織ヲ完全無缺ニ整備シタル不思議ノ成果ニ就テハ吾人ハ實ニ左ノ疑問ナキ能ハサルナリ

第一 吾人カ學得スルニ最モ困難ナリト思惟シタル科學ハ豫想ヨリモ困難ナラザリシモノ乎或ハ日本人ハ歐米人ヨリ遙ニ智アリ識アリ技能アル所以ナルカ

第二 平時ト戰時トヲ問ハス智アリ識アリ技能アルモノ必ス日本ノ如キ偉

大ナル成功ヲナシ得ヘキ乎

第三 是等日本ノ偉業ハ果シテ智識アリ練習經驗其他一般ノ上達カ歐洲人ニ勝リ居ル爲ナル乎

思フニ近世文明ノ發達ハ數理上工學上ノ進歩ニアラサルハナシ而シテ其最モ進歩發達シタル人種ハ近世史中日本人ニ比肩スルモノナシト斷言シ得ヘキヌ近刊ノ一新聞ハ疑問ヲ掲ケテ曰ク日本人ノ常食トスル所ハ米穀果實ノミ然ルニ体力ノ強大勇武ノ絶倫ヲ示スコト此ノ如シ殺食果シテ肉食ヨリモ能ク剛強ナル体力ヲ作ルカト

此等ノ問題ハ西洋人ノ如ク只管物質上ヨリ解決セントスルキハ頗ル難事ナルヘケレト余ハ直ニ之カ解決ヲ與ヘント欲スソハ愛國心即チ大和魂ヲ有スル故ニシテ智識ヤ勉學ノタメニアラス勿論殺食ノ爲メナラス現今世界ノ強國ナル露國ヲ破リツツアルハ此結果ノミ此ノ魂ハ日本人特有ノモノニシテ西洋人ノ知ラサル所ナリ而シテ是レ一朝一夕ニシテ成リシモノニアラス實ニ三千年來ノ歴史ニ基キ國體ニ源因スルモノト云フヘキナリ此ノ國體ヨリ生シタル愛國心ハ我師即チ西洋人ノナシ得サルコトモ容易ニ之ヲナスヲ得ルナリ古來我道

徳心ヲ養ヒタルハ儒佛ナリ而シテ其道ハ支那印度ヨリモ却テ我國ニヨク行ハレ西洋ニ對シテモ又殆ント出藍ノ趣アリ之ヲ倭令ヘンニ冒ノ強キモノハ如何ナル硬キモノヲ喰フモ之ヲ消化シテ滋養トナスヲ得ヘク之ニ反シテ胃ノ弱キモノハ柔カナル滋養物ヲ喰フモ時々食傷シテ身ヲ害スルコトアルカ如シ我國人ハ何事モ我カ國體上ヨリ判斷咀嚼シテ彼ノ長ヲ取り短ヲ捨ツルカ故ニ此ノ一大長足ノ進歩ヲナスヲ得タルモノナリ語次少シク國體ト愛國心トノ關係ヲ述ヘンニ我大日本帝國ハ開闢以來一系ノ帝統連綿トシテ相承ケ歷代ノ君主ハ其臣民ヲ愛撫シ給ヒ臣民ハ其君主ヲ恭敬シテ君臣ノ關係自ラ親厚トナリ君臣ノ相視ルコト父子ノ如ク君主ハ臣民ニ對シテ至大ナル恩惠者トナリ臣民ハ君主ニ對シ無二ノ忠僕トナリ君主ノタメニハ辛苦ヲ厭ハス生命ヲ賭シテ懼レズ此ノ君臣相待ツノ至情自ラ世界萬國ニ比類ナキ我國體ヲ成就シ此ノ國體ノ精華大和魂ナル一種特色ノ愛國心ヲ發輝シタルナリ諸君ハ此ノ國土ニ生レ此美俗ノ人トナリ更ニ又聖世ニ遭遇シ今日ノ時局ニ際會シタルハ誠ニ千載ノ一時ナレハ人々各々其ノ職ニ奮勵シ一國ノ精神魂魄トモ云フヘキ此ノ愛國心即チ大和魂ヲ益々振起スヘキナリ今ヤ陸海軍ハ全運力ヲ以テ豫想外ノ發展ヲナシ戰

客上ニ於テモ行動上ニ於テモ世人ヲ驚倒セサルナシ又一般國民ハ軍資ノ供給等ニ勉メ或ハ國庫債券ノ應募トナリ或ハ恤兵部ノ獻金トナリ唯其ノ後繼ヲ全フセサランコトヲ恐ルルノミ勅語ニ所謂義勇公ニ奉スルノ事實ハ歷々トシテ表ハレ來リ今更之ニ關シテ余カ說明ヲ俟タサルナリ

カクノ如ク我ハ舉國一致ヲ以テ局ニ當リ大義名分ノ正シキニ加フルニ燃ユルカ如キ愛國心ヲ以テ奮戰スルコトナレハ或ハ又今日迄ノ形勢ヨリ推スモ豈此ノ戰局ノ不首尾ニ終ルコトアランヤ首尾ヨク彼ノ大國ニ打勝チタル曉我國民ノ覺悟果シテ如何宜シク深思熟慮コノ戰捷ノ効果ヲ全フスルコトニ就テ違算ナカラシムヘシ戰捷ト云フコトニ就テハ深キ注意ヲ要スルモノアリカノ現今ノ如キ大活動ヲナシツ、アル所ノ戰捷ハ武力的ノモノニシテ猛烈偉觀之ニ比スヘキモノナシ今回之ヲ破ルモ後來再舉ナキヲ保シ難クハ國民ハ十分ノ覺醒ヲ要ス然レモ武力的戰爭ニハ一定ノ期限アリ而シテ之カ根底トナリ國力ノ源泉トナルヘキ殖産興業ノ盛衰ハ時々刻々ニ起リ宇内ノ大勢ニ驅ラレテ激烈ナル競爭ヲナシツ、アリ即チ外觀偉大ナラサルモ其結果國運ノ隆否ヲ制スル平和ノ戰爭ハ瞬時モ休ムコトナク活動シツ、アルヲ知ラサル可ラス此ノ平和ノ戰

爭即チ生存競爭ニ於テハ科學機械等ヲ利用シテ産業ヲ盛大ニシ廉價ニ製品シ財源ヲ吸収スルモノハヨク國本ヲ培養シ國力ヲ豊富ニシテ優勝者トナリ然ラサルモノハ漸次ニ財源涸レ國力衰へ活動機關停止セラレテ劣敗者トナル故ニ武力的戰爭ニ於テ能ク優勝ヲ占メ國安ヲ保チ國富ヲ保護シ國威ヲ顯揚スルト同時ニ平和ノ戰爭ニ於テモ能ク優勝ヲ占メ東洋ノ新權ヲ握リ財源ヲ開拓シ指導スルノ地位ニ達セサル可カラスカリニモ此ノ平和ノ戰爭ニ於テ一步ヲ他ニ讓ラハ武功赫赫タル將士ヲ徒死セシムルモノナリコノ二大戰爭ニ雄勝ヲ占メンコトハ我國民ノ一致協同大ニ發奮セサルヘカラサル處ニシテ實ニ重大ナル責任ト云フヘシ然リト雖モコノ重大ナル責任ヲ果サハ我國運ハ隆盛ニ我國威ハ宇内ニ輝キ從來西洋人カ支那ノ版圖ナリト思ヒシ我國力一躍シテ世界ノ一等國ニ列シ東洋ノ治安ヲ保チ教育殖産工業軍制等皆我國人ノ教導ヲ待ツニ至ラシ東洋ノ安危ハ我國ノ掌ル所トナラン豈愉快ノ至リナラスヤ此愉快ノ責任ヲ有スル者ハ實ニ今日ノ學生諸君ナリ

一小事ヲ成就スルタニ愉快ナルヲ況ヤ國家的事業ノ多大ニシテ有望ナル時ニ際會セル諸君ノ如キ幸福ヲ擔ヘル人ハ又アラサルヘシ今日ノ學生ハ昔ノ忠臣

義士ヲ書籍上ニ求ムルヲ要セス我忠勇ナル將士ノ壯烈ナル行動ハ以テ活ケル  
 教訓トナシ得ヘシ斯ル時ニ際會シ日新ノ學理ト技術ヲ學習スル諸君ニシテ殖  
 産興業ナル平和ノ戰爭ニ於テ成功スル能ハサルキハ諸君ノ怠慢ト云ノ外ナシ  
 余ハ幕政ノ末ニ生レ世狀ニ疎ク五大洲ノ名ヲニ知ラサル時ナリキ今日進歩ノ  
 世トハ天地ノ差アリテソノ不幸如何ソヤ余ハ只諸君ノ幸運ナルコトヲ羨ムノ  
 ミ諸君ハ此ノ空前絶後トモ云フヘキ時ニ際會シ國威顯揚ノ好機ニ遭遇シタル  
 モノナレハ大器ヲ成就シテ大國民トナラサルヘカラス諸君ハ將來國家ノ柱石  
 トナリ誠心誠意 天皇陛下ニ盡シ奉リ此ノ國勢ヲシテ益々隆盛ナラシメンコ  
 トヲ切望シテ止マサルナリ聊カ時局ニ際シテ余カ微衷ヲ陳述セリ諸君ソノ意  
 ノアル所ヲ諒セヨ

### 第三節 學齡兒童ノ出席狀況

時局ノ爲メニ學齡兒童ノ就學及出席ハ何等障害ナキノミナラス却テ時局前ニ比  
 シ何レモ増加ノ模様ナリキ今左ニ三十七年十二月末現在ト前年トヲ比較スレハ  
 左ノ如シ

區	別	時局前 十六年	時局中 十七年
學齡兒童	就學歩合	九〇、〇六	九二、〇六
全	上 修學歩合	八三、九四	八六、八七
比	較 増	二、〇〇	二、九三

備考 修學歩合ハ學齡兒童數ニ對スル日々出席兒童平均數及卒業兒童數ノ百分比例ナリ

前表ノ如ク比較増加ヲ來シタルモ爾來益々督勵ヲ加ヘタルト且時局ノ好影響ヲ  
 受ケタルトニ依リ漸次其歩ヲ進メ特ニ三十八年ヨリ特殊ノ教育規程ヲ設ケ年長  
 ノ女子ニシテ子守其他特別ノ事情ニ依リ成規ノ時限内ニ就學シ能ハサルモノヲ  
 教育スルノ途ヲ開キタルカ爲メ就學ノ成果著シク好況ヲ呈シ三十八年五月一日  
 現在ノ調査ニテハ學齡兒童百人中九十八人二分三厘(男)九十六人二分三厘(女)ト  
 ナリ男女通シテ九十七人二分七厘ノ就學トナリタリ左ニ兒童就學郡市別ヲ記ス

郡市區分	學齡兒童數		就學兒童數	特殊教育兒童數	卒業兒童數	不就學兒童數	就學歩合	
	男	女					男	女
江沼郡	四、五二二	二、四七〇	一、八〇二	一、五〇二	一、四六六	三、五九一	九六、四九	九七、九一
沼津市	四、一五八	二、四七〇	一、八〇二	一、五〇二	一、四六六	三、五九一	九六、四九	九七、九一

能美郡	石川郡	河北郡	羽咋郡	鹿島郡	鳳至郡	珠洲郡	金澤市	計	
								男	女
八、八〇二	八、一六一	八、七二〇	九、一八四	八、七二〇	八、七二〇	八、七二〇	八、七二〇	八、七二〇	八、七二〇
四、五九五	五、〇七五	五、一八三	五、五七三	五、〇七五	五、〇七五	五、〇七五	五、〇七五	五、〇七五	五、〇七五
六〇八〇	五、二五〇	四、〇〇〇	三、〇〇〇	二、五九〇	二、五九〇	二、五九〇	二、五九〇	二、五九〇	二、五九〇
四、〇〇一	三、八七六	二、八二二	二、八二二	二、八二二	二、八二二	二、八二二	二、八二二	二、八二二	二、八二二
二、〇〇六	三、二五九	三、〇〇〇	二、九二〇	二、九二〇	二、九二〇	二、九二〇	二、九二〇	二、九二〇	二、九二〇
九七、六六六	九八、六四〇	九五、〇五五	九八、七三三	九九、四五〇	九九、四三〇	九九、四三〇	九九、四三〇	九九、四三〇	九九、四三〇
九六、七六六	九七、四六六	九六、八六六	九七、四七七	九九、四七七	九九、四七七	九九、四七七	九九、四七七	九九、四七七	九九、四七七

高等小學校児童ノ出席ニ至リテモ亦頗ル好況ヲ呈シ三十八年五月一日現在ハ男生一万三千七百七十人女生四千八百二十六人計一万八千五百九十六人ニシテ前年ニ比シ二千七百二十八人ヲ増加セリ殊ニ町村ニ在リテハ從來尋常小學校女児ニシテ高等小學校へ入學セシモノ一人モナキ所ニシテ本年ニ至リ始メテ入學者ヲ出セルカ如キ實例少ナカラズ

又中學以上ノ學校ニ於テハ時局ノ發展ニ伴ヒ益々教育ノ必要ヲ感シ進歩發達ヲ促シ來リ三十六年ニハ入學志願者千六百十九人ナリシカ三十七年ニハ千六百七十五人トナリ前年ニ比シ五十六人ヲ増加シ三十八年ニハ千八百八十三人ニシテ實ニ前々ニ比シ二百八人ヲ増加セリ特ニ高等女學校各中學校金澤商業學校ノ如キハ三十八年ニ於テ著シキ増加ヲ呈セリ今左ニ三ヶ年間ニ於ケル學年ノ始メニ於ケル生徒現在數及ヒ入學志願者並ニ入學者數ヲ列記セン

各學年始ニ於ケル生徒現在數		三十六年	三十七年	三十八年
師範學校	三〇八	三〇八	三〇八	三〇八
中學校	一、八八〇	一、九五七	二、〇一七	二、〇一七
高等女學校	四一〇	四五六	四五六	四五六
農學校	二二六	二二七	二二七	二二七
工業學校	一七〇	一八一	一七四	一七四

金澤商業學校	計		二二三	二二二	二五〇
	前年	增			
比較	減	増	二一九七	一五五	三、四八〇

備考 師範學校ハ本科男女及講習科ヲ中學校ハ第一、第二、第三、第四各中學校ヲ高等女學校ハ本科補習科ヲ農學校及工業學校ハ各科金澤商業學校ハ本科豫科ヲ合算ス

各學年始ニ於ケル入學志願者及入學者數

工業學校	農學校	高等女學校	中學校	師範學校	三十六年		三十七年		三十八年	
					入學志願者	入學者	入學志願者	入學者	入學志願者	入學者
五八	一〇六	二三五	五三五	五八八	五八八	一四六	五八二	一五五	四七六	一四五
五五	九四	一六一	四六六	一四六	五八二	五八二	一五九	四四八	六六二	四四八
六二	一三〇	二九九	五一七	五八二	五八二	四四八	一五九	四四八	六六二	四四八
九四	九四	一五九	四四八	一五五	五八二	四四八	一五九	四四八	六六二	四四八
六六	一四三	四一六	六六二	四七六	五八二	四四八	四一六	四四八	六六二	四四八
五〇	一〇五	一四〇	四四八	一四五	五八二	四四八	一四〇	四四八	六六二	四四八

金澤商業學校	計		九七	七九	八五	七一	一二〇	八二
	前年	増						
比較	減	増	一、六一九	一、〇〇一	一、六七五	九八五	一、八八三	九七〇

備考 入學者ノ減少ハ生徒數ニ定限アルヲ以テ多數ノ入學ヲ許可スル能ハサルニ依ル

第四節 應召教員待遇

學校職員ニシテ應召ノ爲メ休職トナリタルモノ三十八年二月現在ニテ縣立學校職員十三人市町村立小學校教員ニ廿五人又退職トナリタルモノ縣立學校ニ九人市町村立小學校ニ十九人アリ而シテ其待遇ニ關シテハ縣立學校ニ於テハ正教員ニ對シ陸海軍ノ給與額休職當時ノ俸給額ヨリ寡少ナル場合ニ限り其不足額ノ二分ノ一ノ俸給ヲ支給シ休職給ヲ受ケサル者及准教員ニ對シテハ一時賞與金ヲ支給ス市町村立小學校教員ニ對シテハ成ルヘク休職給ヲ支給スヘキ様諭示シタル爲メ俸給ノ二分ノ一ヲ支給スルモノ又ハ一時金ヲ給與シタルモノ等アリ其ノ方



法一定セス能美石川鳳至珠洲ノ各郡ノ如キハ正教員ニ對シテハ或ハ月額五十錢ヲ給シ又ハ月額一圓乃至三圓ヲ給シ或ハ俸給ノ半額ヲ給シ或ハ教員俸給ト陸海軍給與額トノ差額三分ノ一ヲ給與シ准教員ニ對シテハ解職ノ際一時金員又ハ物品ヲ給與セリ其他ノ郡市ニ在リテハ休職又ハ解職ノ際一時俸給ノ一ヶ月分ヲ給シ或ハ慰勞金物品等ヲ贈與スルアリ又ハ全ク給與セサルモノモアリ其ノ給與セサルモノニ就テハ町村ノ資力薄弱實際困難ノ事情アルモノニシテ或ハ休職給ヲ支給スル時ハ現在教員ニ増給シ難キ事情等アリテ實行セサルモノアリト雖モ其人員ハ極メテ僅少ナリ

學校教員ノ兵役關係 (三十七年十月十五日現在)

市町村立學校職員ニシテ兵役關係アル者左ノ如シ

種別	本科正教員	専科正教員	准教員	實業學校専務教員	計
豫備兵役ニアル者	二	〇	〇	〇	二
后備兵役ニアル者	三	一	一	〇	五
補充兵役ニアル者	一〇	〇	八	〇	一八

第二國民兵役ニアル者	第二國民兵役ニアル者ニテ師範學校卒業ノ者	卅七年ニ徵集セラル、者	三十八年以後ニ徵集セラル、者	其他ノモノ	合計
二	二三八	一一	一九	三二五	六〇〇
一	〇	〇	〇	三	五
一	一	一	七三	六五	一六〇
〇	六	〇	二	九	一七
四	二四五	二二	九四	三九二	七八二

應召教員待遇一覽表

縣郡市別	正教員	准教員	職員	計	待遇ノ方法
縣立各學校	三	四	二	九	陸海軍給與令ニ依リ受クル所ノ俸給休職當時ノ俸給ヨリ僅少ナルキハ其不足額ノ二分一支給ス
江沼郡各學校	三	一	〇	四	應召ノ際慰勞品ヲ贈與セシノミニテ休職給ヲ給セス
能美郡各學校	二	四	〇	六	正教員二名ニ對シ月額金五拾錢ヲ給シ准教員ニ對シテハ一般ニ支給セス
石川郡各學校	二	二	〇	四	陸海軍ヨリ受クル給料ハ現俸給ト比較シ現俸僅少ナルキハ其差額ノ三分一ヲ給ス

河北郡各學校	二	〇	〇	二	待遇方法ナシ
羽咋郡各學校	二	五	〇	七	正教員ニ對シテハ一時金四圓ヲ給セリ
鹿嶋郡各學校	四	〇	〇	四	陸海軍給與類現俸ヨリ多額ノ者アリ其他ハ待遇ノ方法ナシ
鳳至郡各學校	六	六	〇	一二	俸給ノ一部參圓乃至壹圓宛ヲ支給セリ
珠洲郡各學校	三	二	〇	五	俸給ニケ月分ヲ給シタルアリ又全ク支給セサルモノアリ
金澤市各學校	一	三	〇	四	俸給各一ケ月分ヲ支給セリ
計	二八	二七	二	五七	

第五節 實業科講習會施設

兒童ノ實業思想ヲ養成センニハ先ツ小學校教員ノ實業思想ヲ涵養スル事極メテ切要ナリト認め本縣ニテハ明治三十三年ヨリ五ケ年間毎年夏季休業中ニ於テ縣費ヲ以テ小學校教員ヲ集メ農業科ノ講習會ヲ開設シ三十八年ヨリ一般小學校ニ手工科加設ノ必要ヲ認めタルニ付キ更ラニ各郡市ヨリ小學校教員ヲ選出セシメ三十七年冬季休業ヲ期シ手工科教授法ノ講習會ヲ開設セリ又各郡市ニアリテハ日

曜日等便宜ノ時期ニ於テ該科講習會ヲ開設シ一般小學校教員ニ普及セシムル事ニ努メタリ

一、能美郡實業講話會ノ設置

全郡小學校ヲ五部ニ分チ各部内ニ於テ其會場ヲ定メ學校職員及ヒ町村吏員ヲ集メ一ケ年三回以上本縣實業技師又ハ實業學校長ヲ聘シ實業ニ關スル講話會ヲ開催セリ其部落及學校名左ノ如シ

第一部 會場 小松町

- 今江村 串 村 未佐美村 本折村 木津村 粟津村 安宅町
  - 田川村 園江村 淺井村 沖杉村 蓮江村 古河村 中海村
  - 千針村 里川村 寺井村 長野村 高田村 湊 村 江ノ島村
  - 福江村 釜屋村 小松町
- 以上二十五ヶ町村學校數三十二校

第二部 會場 金 平

- 瀬谷村 大杉村 西尾村 新丸村 金野村
- 以上五ヶ村學校數十五校

第三部 會場 別宮村

吉原村 河野村 別宮村

以上三ヶ村學校數八校

第四部 會場 尾口

白峯村 尾口村

以上二ヶ村學校數五校

第五部 會場 山口

砂川村 草深村 中嶋村 宮内村 久常村 湯野村 吉田村

粟生村 國造村 山口村

以上拾ヶ村學校數拾壹校

右各部ニ於テ三十八年七月ヨリ臨時講話會ヲ開設シタルカ其開會日時及ヒ講師左ノ如シ

第一部

八月六日 講師 莊司師範學校長

同 志築工業學校長

第二部

十一月二十三日 同 榑原縣技師

同 二十六日 同 人

七月十六日 講師 宮崎縣技師

同 北野、郡農事巡回教師

第三部

九月二十四日 講師 榑原縣技師

同 宮崎縣技師

第四部

十一月一日 講師 榑原縣技師

同 宮崎縣技師

第五部

七月九日 講師 高島農學校長

同 十月二十二日 同 人

同 芝山縣技師

尙ホ三十九年二月二十二、二十三ノ兩日間全郡小學校教員講習會ヲ開設シ榊原縣技師ヲ招聘シテ農業ニ關スル講習ヲナセリ

石川郡實業講習會ノ設置

實業講習ヲ爲サンカ爲メ小學校教員組合集會ニ於テ實業講習會ヲ開催ス今左ニ各組合ノ情況ヲ列記ス

- 一、第一組合比樂島美川蝶屋松本笠間ノ六校教員ハ三十八年十月ヨリ隔月ニ本縣立工業學校ノ教員等ヲ招聘シ第二土曜日午後二時ヨリ實業講習會ヲ開催ス
- 一、第二第三組合連合相川、宮保、安原、徳光、竹松、宮永、北安田、八田、山島、一木、郷、中奥、林中、松任、松任女兒ノ十五校教員ハ三十八年十月ヨリ毎月第三木曜日ニ本縣立農學校教員ヲ招聘シ實業講習會ヲ開キ實業教育ノ研究ニ努メタリ
- 一、第四組合鶴來、林、月橋、安養寺、日向、明島、白山、吉野谷北、吉野谷南ノ九校教員ハ卅八年九月ヨリ三ヶ月毎ニ一回本縣立農學校教員等ニ講師ヲ囑托シ鶴來尋常高等小學校等ニ於テ實業講習會ヲ開キ實業ニ關スル智識ヲ習得シツ、アリ
- 一、第五第六組合連合富樫南、富樫北、野南、野北、内川、下辰巳、駒蹄、湯涌谷、崎浦、御供田、高島、泉、久安、額、乙丸、四十万、八日市、御經塚、野々市ノ十八校教員ハ三十八

年八月ヨリ本縣技師榊原仲ニ講師ヲ囑托シ泉尋常小學校等ニ於テ毎月第二土曜日ニ講習會ヲ開催シ實業教育ヲ研究シツ、アリ

二、第七組合戸板、大野、二塚南、二塚北、二塚中、大野町、粟崎、上金石ノ八校教員ハ三十八年九月ヨリ三ヶ月毎ニ一回本縣技師等ニ講師ヲ囑托シ戸板尋常小學校ニ於テ講習會ヲ開キ實業ニ關スル智識技能ヲ習得シツ、アリ

河北郡實業講習會ノ開設

實業ニ關スル知識技能ヲ修得ニツイテハ或ハ參考書籍誌ノ講讀ニヨリ或ハ實地ノ觀察ニヨリ或ハ教員時々便宜ノ箇所ニ集合シ相互ニ其研究ヲ爲シ或ハ團體ヲ以テ講師ヲ聘シテ講習會ヲ開催スル等一意之レカ修得ニ勉メツ、アリ郡ニ於テモ講習會ヲ開設シ以テ其指導ヲ期シツ、アリ左ニ其重ナルモノヲ掲ク

津幡尋常高等女兒小學校ヲ會場トシ三十八年二月、三月ノ間ニ於テ二日間又小坂尋常高等小學校ヲ會場トシ當時俱利伽羅尋常高等小學校訓導兼校長廣瀬清作ヲ講師トシ郡内教員一般ニ對シ手工科ノ講習ヲナサシメタリ  
八月二十一日ヨリ二十七日ニ至ル壹週日間本郡議事堂ニ於テ本縣立農學校長高鳥容孝ヲ聘シ郡内教員一般ニ對シ農業科ノ講習ヲナサシメタリ

五月ヨリ十月ニ至ル間ニ於テ五日間津幡尋常高等女兒小學校ヲ會場トシ六月ヨリ十月ニ至ル間ニ於テ五日間小坂尋常高等小學校ヲ會場トシ本縣師範學校教諭森谷辰三及全校訓導中村常三ノ二氏ヲ聘シ郡内教員一般ニ對シ手工科ノ講習ヲナサシメタリ

本郡第一、二、三、四部内三十二校教員聯合シ本縣立第一中學校教諭宮本治作ヲ聘シ八月十二日ヨリ十四日ニ至ル三日間植物分類學ノ講習會ヲ開催セリ

羽咋郡實業講話會ノ開設

富來郷教員集會ニテハ羽咋郡蠶業巡回教師及農業巡回教師ヲ聘シテ實業上ノ講話ヲ聽キ又宮崎本縣技師ヲ聘シテ山林ニ關スル講話ヲ聽講シ邑知郷教員ハ日曜ニ於テ門脇本縣技師ヲ聘シ水産ノ講話會ヲ開キテ専ラ研究ヲナシ且又手工科講習トシテ全部ヲ四區ニ分チ押水、邑知、志加、富來ノ各郷教員ヲ集メ本縣開設ノ手工科講習ニ習得シタルモノヲ講師トシテ各公休日ニ於テ各區ニ於テ十日間宛ノ講習ヲ開ケリ

鳳至郡實業講話會ノ開設

數校組合ヲ結ヒ實業家又ハ專門家ヲ招聘シテ實業ニ關スル講話會ヲ開キタル學

校左ノ如シ

輪嶋男兒校	輪嶋女兒校	久手川校	西大野校	谷内校	東大屋校
西大屋校	下黒川校	繩又校	別所谷校	瀧又校	空熊校
三井校	河原田校	熊野校	南志見校	名舟校	東印内校
東山校	粟藏校	寺山校	東校	伏戸校	金藏校
敷戸校	時國校	柳田校	小間生校	鶴川校	當目校
黒川校	字出津校	藤波校	波並校	矢波校	猪平校
鴨川校	會良校	比良校	岩車校	伊久留校	中居校
穴水校	志ヶ浦校	鹿嶋校	下唐川校	宇留地校	内保校
別所校	浦上校	門前校	深田校	櫛比校	諸岡校
黒島校	是清校	大切校	馬場校	馬渡校	劔地校
七浦校	西安校				

第六節

出征又ハ應召軍人並ニ其家族ニ對シ

學校ニ於テ施行シタル事項

一、出征又ハ應召軍人發途ノ際ニハ可成教員及ヒ生徒ハ適當ノケ所迄見送り其行ヲ壯ニセシコト

二、戰病死者ノ遺族及ヒ出征軍人家族ニ對シテハ時々職員ニ於テ訪問セシコト

- 一、戰病死者ノ葬儀及ヒ遺骨出迎等ニハ教員並ニ生徒ノ之ニ會合セシコト
- 一、出征及應召軍人ニ對シテハ時々慰問狀ヲ發シ又ハ新聞紙等ヲ送りシコト
- 一、傷病歸還兵士ニ對シテハ時々慰問狀ヲ發シ或ハ兒童ノ作業品ヲ送りテ病狀ヲ慰メシコト
- 一、出征又ハ應召軍人家族ヨリ送附スル書信ノ代筆ヲナセシコト

### 第七節 郡市施設ノ事項

- 戰時紀念事業ノ設置ニ就テハ頻リニ獎勵ヲ加ヘツ、アツ今各郡市町村ニ於テ之カ計畫ニ着手セルモノ、種類ヲ掲ケレハ左ノ如シ
- 一 寄付金等ヲ以テ學校基本財産ヲ設置シタルモノ
  - 一 寄附金又ハ町村費ヲ以テ學校用書籍器械ヲ購入シタルモノ
  - 一 寄附又ハ町村費ヲ以テ紀念學林ヲ設置シタルモノ
  - 一 植物園ヲ設置シタルモノ
  - 一 實業補習學校ヲ設置シタルモノ
  - 一 寄附金又ハ町村費ヲ以テ紀念文庫又ハ圖書館覽所ヲ設置シタルモノ

### 一 青年子弟夜學會ヲ開設シタルモノ

一 學校職員業務ノ餘暇ヲ以テ教授用器械標本掛圖等ヲ調製シタルモノ

又本縣ニテハ明治十八年以來補習教員ノ一方法トシテ市町村ニ於テ夜學會ナルモノヲ開設シ晝間餘暇ナキ青年子弟ノ爲メニ日用卑近ノ學科ヲ教授シ傍ラ風儀ノ矯正ヲ謀リ來リシカ漸次普及スルニ至リ開設ノヶ所既ニ三百有餘生徒數一万余ニ達シ而シテ其開設期ハ主トシテ冬季農閑ニシテ夜長キ際ニ於テ施行シ中ニハ年内通シテ開設スルモノモアリ生徒トシテハ概シテ十六七歳ヨリ二十歳前後ノモノ最モ多キヲ占メ或ハ町村ニ依リテハ三十歳以下ノモノハ必ス夜學ニ出席スヘキ規約ヲ定メテ實行シツ、アルアリ尙ホ時局以來一層發達ノ傾向ヲ示セリ茲ニ三十八年一月二十一日現在ニ於ケル縣下各郡市別狀況ヲ左表ニ掲ク

郡	町村數	開設場所	生徒數	前年ニ比シ生徒ノ増減	經費	生徒年齡最長最少
江沼郡	一六	四六	一、三二二	增 四〇六	四六九、三六〇	三十三
能美郡	四三	八二	二、一八九	全 六六一、一七〇、〇五三		三十一
石川郡	二二	二九	九二二	全 二九四	二四七、五〇〇	三十五

河北郡	一六	三一	一、〇六一	增	四六一	二三八、一一七	三十三
羽咋郡	二六	三七	一、四三五	減	四	六九二、七七四	三十七
鹿嶋郡	二四	六五	二、二五〇	増	二二	一、一七七、二六〇	三十六
鳳至郡	一六	二六	五一一	全	二〇四	一、五九、二四〇	三十一
珠洲郡	五	一二	三〇二	全	九三	一、二二、二〇〇	三十五
金澤市	一	一	四八	全	三六	三七二、〇〇〇	二十五
計	一六九	三二九	一〇、〇四〇	増	一、五七七	四、六七五、五〇四	三十七

備考 本表中常設ノヶ所十二ヶ所ヲ除キ他ハ冬季農閑ノ時ノミ開設教示スル事

次ニ學校基本財産ハ從來既ニ設置セルモノアリト雖トモ今回ノ時局ニ當リ新ニ  
 之カ蓄積方法ヲ設ケタルモノ多ク而シテ各町村ニ對シ普ク之カ獎勵ヲナシタル  
 ヲ以テ種々ノ方法ヲ以テ蓄積ヲナスニ至リタルカ今之カ種類ノ大概ヲ記ス

- 一、校下毎戸卒業生ヨリ細又ハ草鞋類ヲ醸出セシメ之ヲ賣却シテ其代金ヲ蓄積スルモノ
- 一、校下毎戸ヨリ毎月金若干宛ヲ集メ其金員ヲ増殖スルモノ
- 一、漁業地ニ於テ漁獲アル毎ニ其収入ノ幾分ヲ寄附セシムルモノ

- 一、毎年収獲ノ時期ニ於テ毎戸ヨリ玄米若干宛ヲ集メ之ヲ賣却シテ其代金ヲ積立ツルモノ
  - 一、冠婚葬祭等ノ費用ヲ節約シテ其幾分ヲ寄附セシムルモノ
  - 一、家屋建築地所賣買等ノ場合ニ於テ貧富ノ程度ニ應ジテ醸金セシメ之ヲ蓄積スルモノ
  - 一、舊校舍敷地等ヲ貸付ケ毎年之ヨリ生スル小作米若干ヲ賣却シテ其代金ヲ積立ツルモノ
  - 一、學校創立紀念日等ニ於テ校下有志者ヨリ應分ノ寄附金ヲ求メ之ヲ積立ツルモノ
  - 一、戦捷祝賀會等ノ費用ヲ節シ其金額ヲ寄附セシメ之ヲ蓄積スルモノ
- 今之レヲ各郡ニ分テテ詳述スレハ左ノ如シ

江 沼 郡

一、實業補習學校及各種學校設立ニ關スル計畫狀況左ノ如シ

町 村 名	附 設 小 學 校 名	設 置 學 校 名	備 考
大聖寺町	錦城尋常高等小學校	大聖寺町商工補習學校	認可稟請中
全	京達尋常高等小學校	大聖寺町女子裁縫學校	認可
三 谷 村	三谷尋常小學校	三谷農業補習學校	認可稟請中
西 谷 村	菅谷尋常小學校	菅谷農業補習學校	認可
全	我谷尋常小學校	我谷農業補習學校	全

全	分校	全	全	那	全	作	全	正	勅	全	東	西
	校			谷		見		庄	使		谷	谷
	村			村		村		村	村		口	村
											村	村
打越尋常小學校	分校尋常小學校	瀧ヶ原尋常小學校	菩提尋常小學校	那谷尋常小學校	片山津尋常小學校	作見尋常高等小學校	加茂尋常小學校	七日市尋常小學校	勅使尋常小學校	小坂尋常小學校	塔尾尋常小學校	片谷尋常小學校
打越農業補習學校	分校農業補習學校	瀧ヶ原農業補習學校	菩提農業補習學校	那谷農業補習學校	片山津農業補習學校	作見農業補習學校	加茂農業補習學校	七日市農業補習學校	勅使農業補習學校	小坂農業補習學校	塔尾農業補習學校	片谷農業補習學校
全	全	全	全	全	全	認	全	全	認	全	全	認
						可			可			可

全	全	全	全	南	篠	月	全	全	全	矢	
				郷	原	津				田	
				村	村	村				野	
										村	
山中尋常小學校	長谷田尋常小學校	河南尋常小學校	黑瀬尋常小學校	上河崎尋常小學校	南郷尋常小學校	伊切尋常小學校	柴山尋常小學校	湯上尋常小學校	下粟津尋常小學校	二ツ梨尋常小學校	矢田野尋常小學校
山中工業補習學校	長谷田農業補習學校	農業補習學校 女子裁縫學校	黒瀬農業補習學校	上河崎農業補習學校	南郷農業補習學校	伊切水産補習學校	柴山農業補習學校	湯上農業補習學校	下粟津農業補習學校	二ツ梨農業補習學校	矢田野農業補習學校
全	設置協議中	認可稟請中	全	全	設置協議中	認可稟請中	全	全	全	全	全

右ハ三十八年五月已後ニ於テ其施設ヲ了ヘ若クハ計畫中ニアルモノ、ミニシテ



已前ニ於テ施設セルモノハ茲ニ之ヲ省ク而シテ未タ認可稟請ノ手續ヲ履行スルニ至ラサルモノハ多クハ冬季三ヶ月又ハ四ヶ月間開設ニ係ルモノトス但山中工業補習學校ハ年中開設シ毎週日ヲ定メ夜間ニ教授シ伊切水産補習學校ハ一年中ニ於テ三季節ヲ選ミ毎日夜間教授スルヲ異ナリトナスノミ其經費ハ總テ寄附金及授業料若シクハ村費ヲ以テ支辨セントスルモノナリ

二、紀念事業

(一) 殖林

學校基本財産造成ノ目的

町村名	學校名	字番地	反別	殖樹種類	三十九年度ニ植付ントスル樹數
三谷村	三谷	直下	五反七畝歩	未定	未定
河南村	長谷田		一町歩	黒赤松、桧、杉、落葉松、サツラ	三千本
西谷村	菅谷	菅谷ロノ乙三番ノ四、五	全	杉、桧	四千本
全	風谷	風谷ホノ五番甲	全	桧、赤松	二千本
全	我谷	我谷ホ一番甲二	全	杉、栗、赤松	二千本
全	大内	大内二ノ一番ノ一全リ七番甲	全	杉	五百本

全	片谷	片谷ロノ九番乙ノ一九番乙ノ三合併ニ	全	卅九年ヨリ三ケ年以内ニ杉桧ヲ植ルモノトス	千三百本
全	九谷	九谷十四號ノ九番	全	三十九年ヨリ三ケ年間ニ杉苗ヲ植ルモノトス	千五百本
全	眞砂	眞砂テ一番ノ甲六	一町三畝歩	三十九年ヨリ三ケ年間ニ杉桧ヲ植ルモノトス	千五百本
篠原村	篠原	濱山イノ部十四番地	一町九反一步	黒松	一万本
全	新保	新保ウ百十一番	三反五畝歩	クヌギ	二千五百本

計 總反別 十町八反五畝一步

總樹數 二万八千三百本

但植栽ニ要スル費用ハ總テ各校下ノ寄附金ヲ以テ支辨スルモノトス樹苗ハ縣苗圃ノ下付ヲ受ケタルモノハ現下ニアリテハ費用ヲ要セサルニ依リ金額ヲ掲ケサルモノナリ

(二) 學校樹栽

町村名	學校名	字番地	反別	殖樹種類	樹數
東谷奥村	杉水	芝原山字ロノ一番荒廢田地字ロ三十二番	一反二畝歩	杉、イタヤ楓	八百本 樹出願中
作見村	片山津	出丸山ホノ二十九番地全三十番地	一反歩		全
那谷村	菅堤	片竿十ノ七十外ニ岸池	五畝歩		全

全	瀧ヶ原	コノ十九番地ノ一	一反歩			全
分枝村	打越	コノ十九番地ノ一	一反三畝歩			全
那谷村	那谷	二十ノ二十七番地	五畝歩	ヒノキ	五百本	幼苗下 付齊
矢田野村	矢田野 湯上	下粟津 二ツ梨	三十九乙ノ三、乙ノ 四乙ノ五	一反歩	黒松	六百本 出願中

計 總反別 六反五畝歩

曰下出願及下附ニ係ル總樹數 一千九百本

本郡ニ於テハ學校殖林及學校樹栽法ニ關シ其規程ヲ制定セシメンカ爲ニ左ノ標  
準ヲ示シテ相當規程ヲ設ケシムルモノトス

學校殖林及學校樹栽法規程標準

- 第一條 文部省訓令第七號(明治三十七年八月)石川縣訓令甲第三十五號(明治二十九年十月)ノ趣旨ニ依リ本町村ニ於テ樹栽地ヲ設ケ何々學校兒童ヲシテ樹木播種及栽植ヲナサシムルモノトス
- 第二條 何學校ノ樹栽地ハ何村何字何番地ニ設定ス(反別ハ土地畧帳ニ依レルモノトス)  
(測セルモノトニ別テ記スモノトス)
- 第三條 栽植スヘキ樹木ノ種類「マツ」「スギ」「ケヤキ」「ヒノキ」「クリ」「カヘデ」「キリ」ノ中ヨリ及山植ノ方法ハ學校長學務委員ノ協議ヲ經テ選定スルモノトス(選定ノ樹種山植ノ方法ヲ規定スルモノトス)
- 第四條 播種又ハ栽植ハ毎年何回トシ何月何日ヲ以テ施行スルモノトス

第五條 播種地及床植地ハ何村何字何番地ニ設置スルモノトス(第二條ニ準ス)

第六條 栽植セシ樹木ハ何學校ノ基本財産ニ編入スルモノトス

第七條 町村長及學校長ハ時々樹栽地ヲ監視シ時機ヲ愆タス其手入補植等適當ノ方法ヲ以テ施行スルモノトス

第八條 學校長及教員ハ時々森林ノ効用及紀念林ニ關スル注意スヘキ要項ヲ兒童ニ訓諭スルモノトス

第九條 樹栽地ニハ其方位間數學校名栽植年月日及紀念ノ爲メ栽植シタル由來ヲ記シタル標杭ヲ建ツルモノトス

第十條 樹栽ニ關シテハ町村長之ヲ管理シ其事務ハ學校長ニ於テ之ヲ處理スルモノトス

第十一條 學校ニハ樹栽臺帳ヲ備ヘ地名、地番、地目、反別樹木ノ名稱株數及栽植又ハ補植ノ年月日並ニ其兒童氏名等ヲ登錄スルモノトス

第十二條 樹栽ニ關スル費用ハ寄附金又ハ其學校費等ヲ以テ支辨スルモノトス

第十三條 本樹栽ハ一年若クハ何ケ年繼續經營トシ何年何月栽植ニ着手シ伐採ハ何ケ年繼續トシ何年ヨリ着手シ何年ニ至リテ主伐スルモノトス

但伐採ノ方法ハ學校長及學務委員ノ協議ヲ經テ之ヲ定ムルモノトス

第十四條 本規程ヲ廢止シ又ハ變更セントスルトキハ郡長ノ許可ヲ受クルモノトス

(三) 植 樹

町村名	學校名	地所ノ種別	植樹ノ種類	株數	備考
-----	-----	-------	-------	----	----

大聖寺町	錦城	敷地ノ内	ヒノキ、クロマツ、スギ、ケヤキ	百七十本	縣苗圃ヨリ幼苗下付ヲ受ケタルヲ以テ來春ヲ待チテ植栽セントス
三谷村	三谷	全	杉	百五十本	苗木ハ兒童ニ持チ來ラシメ教員兒童ト共ニ植栽ス
山中村	山中	全	全	百六十本	全
庄村	加茂	全	全	百二十本	全
鹽津村	小鹽辻	全	櫻	四十五本	全
篠原村	伊切	全	梅	五十本	全
橋立村等學校組合	北濱	全	桐	未定	
	黒崎	全	全	全	

橋立村等學校組合内ノ兩校ニ於テハ桐苗植栽ノ時期ヲ得サルヲ以テ明治三十九年四月ヲ待チテ實行セントスルモノナリ其樹苗ハ組合費ニテ購入シ初年ハ組合内各村ヨリ就學兒童全般ニ交付シ翌年ヨリハ尋常科及高等科ニ入學セシ兒童ニ交付シ植栽セシノ適當ニ成木セルノ時伐採販賣シテ其収金ヲ學校基本財産トシテ積立ツルモノトス其計畫ハ既ニ決定ヲ終ヘテ左ノ規程ヲ設ケタリ

橋立村、黒崎村學校組合學校栽培法

第一條 戰時紀念事業トシテ毎年學校組合ヨリ入學スル兒童ニシテ栽培スヘキ土地ヲ有スルモノニ桐樹苗一本ツ、ヲ配付シ之ヲ學樹ト稱シ各自所有ノ土地ニ於テ之ヲ栽培セシム

第二條 學樹栽培上便宜左ノ區域ヲ設ク

- 第一區 橋立 小鹽
- 第二區 深田 宮 高尾 田尻
- 第三區 黒崎 片野

第三條 學樹ハ毎年四月三日、十一月三日ヲ以テ植栽ノ口トス

第四條 學樹ハ適當ノ時期ニ於テ之ヲ伐採販賣シ其收入ヲ學校基本財産ニ編入スヘシ

第五條 各小學校長ハ學校臺帳ヲ整理シ且毎年二回以上生徒ヲ引率シテ受持區ノ學樹ヲ巡視スヘシ

第六條 學樹ノ配付ヲ受ケタル兒童ハ様式ニ準シ受書ヲ差出スヘシ

第七條 配付ヲ受ケタル樹苗ニシテ枯損又ハ風火災盜難等ニ罹リタルハ速ニ其旨學校長ニ申告スヘシ

(受書様式)

一 桐樹苗

本

右戰時紀念事業トシテ學校栽培法ニ依リ配附相成候ニ付自宅庭内(又ハ所有地字何々)ニ植栽致候自今栽培上充分ノ保護ヲ注意相加ヘ可申候仍テ如件

明治年月日

兒童 何

某

學校長宛

附 則

保護者 何

某 印

五十六

實施ノ初年ニ於テハ學校組合現在籍ノ總兒童ニ對シ第一條ヲ適用シテ配付スヘシ

(四) 組合學校園

町村名	學校名	地所ノ種別	反 別	施設ノ方法	備 考
鹽屋村	鹽屋	付屬地	八十二步	本郡訓令ニ基キ其一 部ヨリ施行セシモノ	計畫中
瀬越村	瀬越	借 地	五十步	已下全シ	全
三木村	三木	隣接地	全		全
全	熊坂	借 地	未 定		全
三谷村	三谷	敷 地	五十步		全
福田村	旗陽	全	五十步		施設中
全	上木	全	五十一步		全
河南村	河南	隣接地	五十步		全

全	長谷田	借 地	一畝步		全
山中村	山中	敷 地	七十步		全
東谷奥村	中津原	全	十五步		全
東谷口村	塔尾	借 地	一畝三步		計畫中
全	小坂	隣接地	四十八步		施設中
庄 村	七日市	敷 地	五十步		全
全	加茂	全	三十步		計畫中
作見村	片山津	全	三十步		
篠原村	篠原	隣接地	五十三步		施設中
全	新保	敷 地	五十步		全
鹽津村	小鹽辻	隣接地	六十六步		全
橋立村等 學校組合	黒崎	敷 地	五十步		全

本郡ニ於テ廢ニ學校園設置ニ關シ訓令スル所アリタルヲ以テ漸次其増加ヲ見ン

第十九章 第七節 都市施設ノ事項

五十七

トスル狀況ナリ然レモ目下其協議調ヒ借地ヲナシ或ハ敷地ニ富メル學校ニテハ計畫ヲ立テ若クハ其一部施設中ニ係ルモノヲ舉ケタルモノトス但經驗ナキ事業タルヨリ初メヨリ十分ノ設計ヲ立テ計畫スルモノト其規模ノ大ニシテ遺憾ナキヲ期スルモノトハ少シ

(五) 組合基本財産及積立金

校下父兄ニ學校基本財産造成ノ必要ヲ解説シ冠婚葬祭ニ係ル費用ヲ節約セシメテ其餘剩ヲ寄附セシメ以テ之ヲ積立ツルモノトセリ其積立金ハ僅カニ參拾貳圓餘ニシテ貯蓄銀行ニ預入シテ未タ相當手續ヲ經ス

三木村立熊坂尋常小學校ニテハ共有ノ山林ヲ賣却シ之ヲ金圓ニ代ヘ國庫債券ニ應募シ當時現金額貳百五拾參圓九拾四錢壹厘アリ而シテ其主管者ハ區長並ニ其代理者ヲ以テス

尙ホ同校下毎戸卒業生ヨリ毎年繩一束宛ヲ醸出セシメ之ヲ賣却シテ基本財産ノ増殖ヲ計レリ

西谷村立菅谷尋常小學校ニテハ毎戸毎月金五厘宛ヲ醸出シ之ヲ郵便局ニ預入シ基本財産トナスコト、セリ其金額拾貳圓貳拾八錢五厘ニ達セリ

同村立片谷小學校ニテハ儀式ノ費用ヲ節シ其金額ヲ貯蓄シ基本財産ニ宛テタリ東谷奥村立荒谷小學校ニテハ學校紀念日ニ於テ校下有志ヨリ應分ノ寄附金ヲ求メ之ヲ基本財産ニ積ミ立テ三十八年五月現在金四拾圓ニ達セリ

分校村立分校尋常小學校ニテハ從來行ハル、葬儀等ノ費用ヲ節シ學校基本財産トシテ寄附セシムルコト、ナシ三十八年五月現在金五拾圓ニ達セリ而シテ此金額ハ郵便貯金トシテ利殖ヲ計レリ

蘆屋村立蘆屋小學校ニテハ授業料實収高ノ十分ノ一及卒業生ノ寄附金ヲ以テ積立金トナシ國庫債券ニ應募シ其増殖ヲ計レリ三十八年五月現在金參百參拾參圓六拾八錢七厘ナリ而シテ内貳百五拾圓ハ既ニ國庫債券ニ應募セリ

一、作見村片山津尋常小學校篠原村尋常小學校ニ於テハ校長ノ斡旋ニヨリ校下篤志者ヨリ寄付金ヲ募リ紀念品トシテ價額五拾圓ノ風琴一臺ヲ購求スルノ議ヲ決シ既ニ買収ノ手續ニ及ヘリ

一、大聖寺町京達小學校卒業生同窓會ニ於テハ三十八年八月六日同校ニ於テ卒業生同窓會開設ノ際職員等ノ主唱ニテ全會員七十四人ヨリ金拾壹圓貳拾錢ヲ獻出シテ卷煙壹千本雜誌七拾壹冊ヲ購入シ校長ハ其代表者トシテ金澤豫備

病院ニ在ル傷病將士慰問トシテ寄贈ス

一、山代村山代小學校ニ於テハ時局ニ鑑ミ特ニ左ノ申合規約ヲ設ケ之ヲ實施シ

ス

(一) 毎週壹回研究授業會ヲ起シ及教授訓練ニ關スル打合ヲナス

(二) 毎週三回校務ノ餘暇ヲ以テ約一時間倫理學、心理學、教育學ノ購究ヲナス(三谷村三谷尋常小

學校)

(三) 教授訓練ニ關シ殊更注意シ各教科教授上ニ於ケル要義ノ研究實施ニ努メ兒童訓練上ノ各方面ニ對シテ一致盡力センコトヲ誓約ス

一、橋立村等學校組合北濱小學校ニ於テハ左ノ規約ヲ設ケ之ヲ實行セリ

(一) 軍人ノ忠勇ニ鑑ミ兒童タルノ本分ヲ自覺セシムルノ必要ヲ認メ其風紀ヲ刷新セシメテ決シ實行ス

(二) 風紀訓練ノ一法トシテ教員ハ舉ケテ休憩時間中ノ看護ニ從事ス

(三) 節儉訓練ノ一法トシテ學用品節用ニ注意ヲ努ム

(四) 補習教育ノ一法トシテ常設ノ夜學ヲ開始シ其實行ヲ期セントス

(五) 女子ノ爲メニ補習教育ヲ施ス一法トシテ裁縫專習生ヲ募リ其實行ヲ期セントス

一、山中村山中尋常高等小學校ニ左ノ規約ヲ設ケタリ

(一) 毎月二回研究會ヲ開キ各教科ノ教授要項ヲ講究制定シ教務上ノ統一ヲ期ス

(二) 兒童訓練上ニ關シ左ノ三條ヲ制定シ其精神ノ貫徹ヲ期ス

(1) 身體精神共ニ強壯ニシテ進取ノ氣象ニ富ミ勇氣アル人タラシムルヲ

(2) 勤勉節儉貯蓄ヲ尚ヒ力行ヲ重ンスル人タラシムルヲ

(3) 物件ノ整頓規律ヲ重ンシ公私共ニ秩序アル人タラシムルヲ

一、作見村作見尋常高等小學校ニ於テハ左ノ規約ヲ實施セリ

(一) 兒童ヲシテ節儉ノ美風ヲ獎勵スルト共ニ其儀範ヲ示サンカタメ教員間ニ貯金規約ヲ定メ爾來其實施ニ勉ム

戰後ニ於テ兒童ノ精神上ニ左ノ各項ヲ扶植スルカ爲メ各教科教授訓練上ニ對シ一般ノ工夫ト考慮ヲ要スヘキコトヲ約ス

イ、我國體ノ觀念ヲ明ニシ 皇室ヲ國家ノ本尊トシテ忠君愛國ヲ以テ教育ノ本義トスルコト

ロ、國力ノ發展充實ヲ期スルカタメ縣訓令甲第二號ノ趣旨ニ基キ實業思想ノ養成ニ勉ムルヲ

ハ、堅忍持久ハ凡テノ事業ヲ成効セシムル要素ナレハ最後ノ勝利ヲ得ルニアラサレハ巴マサ

ルノ氣風ヲ鼓舞スルヲ

ニ、戰後ニ於ケル大國民トハ如何行動ヲナスモノナルカ目下我國ノ地位ハ如何ニアルカニ自

覺セシムルヲ

ホ、島國魂性ヲ脱シ海外ニ於ケル拓殖事業ニ從事スルノ必要ヲ知ラシムルヲ

但教授訓練ニ對スル各要項ハ省畧ス

一、各小學校ニ於テ時局ニ關シタル講話會又ハ幻燈會ヲ開設シタル狀況左ノ如

シ

村名	學校名	講話會	幻燈會	備考
瀬越	瀬越	一		士氣ヲ鼓舞シ併テ普通教育ニ對スル注意ヲ喚起ス
三木	熊坂	一		同上
三谷	三谷		三	同上
西谷	我谷	二		同上
空	片谷	三		同上
東谷奥	荒谷	四		同上併テ巡回教師ヲ聘シテ土地ノ狀況ニ適セル實業上ノ講話ヲナス
勅使	勅使	八	一	教育ノ重シムヘキヲ説キ併テ國民ノ將來ニ於ケル覺悟ヲ述ヘ戰況ニ及フ
庄	加茂	二		同上
勸橋	勸橋		九	同上
分校	打越		二	同上
月津	柴山	三		同上
條原	篠原	六		同上

黒崎	黒崎	同上
黒崎	黒崎	同上
黒崎	黒崎	同上

右ハ全町村ニ涉リテ開設セサルヲ憾トスト雖トモ尙今後國民ノ覺悟ハ一層深キヲ要スルモノアルヲ以テ倍其開設ヲ期圖セルモノ少シトセス其既ニ開キタルモノハ多クハ學校職員主唱者トナリ學校ニ於テ父兄ヲ招集シ若クハ寺院ニ於テ一般聽衆ヲ會合セシメ講話ヲナシ或ハ幻燈ニヨリテ映畫ヲ用ヒ説明ヲナシタルモノトス殊ニ感スヘキハ大聖寺町日蓮宗本光寺住職桃井泰温宗壽寺住職町田壽雄ハ二小寺院ノ住職タルニモ拘ハラズ雖ヲ積ミ録ヲ蓄ヘテ稍ク幻燈器械ヲ購入シ戰時ニ於ケル國民ヲ警醒スルニ努メ其足跡殆ント各町村各字ニ及ヒ其熱誠實ニ實スヘク其言說誠ニ人心ヲ感動セシムルモノアリテ大ニ學校職員ノ勞ヲ裨ケタリテ而シテ前表ノ度數ハ兩倍倍ノ加ハリテ講說シタルモノヲ算セサルモノナリ

一、三谷村三谷尋常小學校等ニ於テ特ニ施設シタル事項左ノ如シ

(一) 教授訓練上ニ關シテ  
 毎週一回兒童ヲ一處ニ集合セシメ將來ノ覺悟及其心得ヲ訓諭ス  
 放課後復習會ヲ信シ兒童ヲシテ修育ノ必要ヲ自覺セシム (三谷村三谷尋常小學校)

毎月一回卒業生ヲ招集シテ左ノ事項ニ就キ訓諭ヲ與ヘ以テ學校等ノ關係ヲ親密ニシ補習教育ニ資ス

イ、風俗矯正上ニ就キテ

ロ、修身上ニ就キテ

ハ、實業上ニ就キテ (南郷村南郷尋常小學校)

補習教育ノ一法トシテ卒業生ヲ集メ同窓會ナルモノヲ組織ス

(南郷村上河崎黒瀬各尋常小學校)

(河南村河南尋常小學校南郷ニ全シ)

一、大聖寺町京達小學校就學兒童ノ多數ハ商工業家ノ子女ナレハ一團ノ兒童ヲ率テ同時ニ實業ノ補助ヲナサシムル作業ニ乏シキヲ以テ可成其家庭ニ於テ業務ヲ補助セシメン爲メ常ニ訓誨ヲ怠ラス今尋常第三學年以上ノ兒童ニ就キ其家庭ニ於テ實業ノ補助ニ從事セシタル狀況ヲ左ニ表示ス

機	尋三	尋四	高一	高二	高三	高四	計
職	二	一三	二	一	一	一	一九
補助	七	一四	五	八	九	五	四八
其他	一	一	二	一	一	四	七

一、東谷奥村荒谷小學校ニテハ村内有志者ヨリ金貳拾八圓參拾壹錢ノ寄附ヲ求メ圖書ヲ購入シ學校内ニ閱覽所ヲ設ケ授業時限外夜間ハ午后九時迄自由ニ之ヲ閱覽セシメリ

能美郡

一、本郡ニテハ努メテ教授ノ材料ヲ實業ニ採リ教授ニ要スル實物模型標本等ヲ購入シ又ハ當該職員ニ於テ採取又ハ製作セシモノ少ナカラス而シテ該各種ノ模型標本ノ購入及掛圖ヲ設備セシ小學校左ノ如シ

- 申 校 木津東校 木津西校 今江校 末佐美校 濱佐美校
- 安宅 校 本折校 芦城校 稚松校 園江校 千針校
- 沖 校 若杉校 淺井校 蓮江校 打木校 瀬頭校
- 波佐谷校 金平校 栗津校 上大杉校 下大杉校 赤瀬校
- 大國校 別宮校 阿手校 深瀬校 桑島校 白峯校
- 河合校 原校 鶴川校 上八里校 中海校 長野校
- 高田校 田川校 古河校 江ノ島校 釜屋校 湊野校
- 福江校 久常校 寺井校 山口校 粟生校 宮内校
- 中島校 土室校 國造校

一、害虫驅除ノ爲メ學校職員引率ノ下ニ生徒ヲシテ蠅虫ノ採卵等ヲナサシメ以



テ一ハ勞働ヲ厭ハサルノ習慣ヲ養成シ一ツハ之等ニ關スル知識ヲ得セシメ或ハ獎勵トシテ其採卵ノ多少ニヨリ若干ノ金ヲ與ヘ(此賞金ハ兒童ノ貯金トナサシム)以テ其趣味ヲ起サシメタル小學校左ノ如シ

木津東校 木津西校 打木校 瀬領校 波佐谷校 赤瀬校

西俣校 上大杉校 下大杉校 神子清水校 阿手校 出合校

原校 古河校 田川校 江ノ島校 湊校 國造校

一、生徒各自家庭ニ於テ男兒ニハ藥仕事女子ニハ洗濯ノ手傳ヲナスヘキコトヲ獎勵シ以テ勞働ニ慣ル、ノ風習ヲ養成セシ小學校ハ木津東校ナリ

一、生徒ヲシテ麥刈又ハ雜草拔ノ補助ヲナサシメタル小學校左ノ如シ

木津西校 打木校 瀬領校 波佐谷校 赤瀬校 阿手校

一、農産物ノ種子ヲ生徒ニ分與シ家庭ニ於テ栽培セシメ時々其作物ヲ持テ來ラシメテ品評ヲナシ併セテ栽培法ヲ教示シ實業趣味ノ喚起ヲ計リタル小學校左ノ如シ

未佐美校 金平校 大國校

一、殖林地ニ栽植スヘキ苗木ノ手入法ヲ教科ノ餘暇ニ教授シ生徒ヲシテ實地ニ

從事セシメタル小學校左ノ如シ

金平校 桑嶋校 湊校

一、植物種子ノ撰擇方法ヲ生徒ニ講習セシハ別宮小學校ナリ

一、草木及農産物ノ栽培植物移植ノ方法ヲ實地ニ就テ作主ノ承諾ヲ得生徒ニ從事セシメタル小學校左ノ如シ

出合校 上野校 上吉谷校 桑嶋校 福江校

一、學校ニ樹栽地ヲ設ケ生徒ヲシテ之ニ從事セシメタル小學校左ノ如シ

上大杉校 下大杉校 安宅校 湊校 金平校

一、手工科ハ各尋常小學校及高等併置校ニアリテハ第二學年ニ至ルマテ全部之ヲ加設セリ

一、修業年限三ケ年以上ノ高等小學校ニシテ農業科ヲ加設セシ小學校左ノ如シ

淡井校 粟津校 今江校 山口校 寺井校 金平校

古河校

一、右ノ外商業科ヲモ加設シタル小學校左ノ如シ

芦城校 安宅校

一、實業補習學校ヲ附設シタル小學校左ノ如シ

串校	木津東校	木津西校	末佐美校	蓮江校	上大杉校
下大杉校	古河校	長野校	田川校	宮内校	中島校
土室校	今江校	粟津校	高田校	福江校	山口校
國造校	江ノ島校	砂川校	濱佐美校	本折校	園江校
千針校					

一、女兒ノ爲メ特ニ裁縫學校ヲ設置セシ小學校左ノ如シ

園江校	蓮江校	長野校	田川校
-----	-----	-----	-----

一、學校職員職時紀念作業トシテ各種ノ實物ヲ採取シ標本及ヒ掛圖ノ製作ヲナシタル小學校左ノ如シ

串校	木津東校	木津西校	今江校	末佐美校	濱佐美校
安宅校	本折校	芦城校	稚松校	園江校	千針校
沖校	若杉校	淺井校	蓮江校	打木校	瀬領校
波佐谷校	赤瀬校	粟津校	上大杉校	下大杉校	金平校
大園校	別宮校	阿手校	河合校	深瀬校	桑島校
白峯校	中海校	原校	鶴川校	上八里校	古河校
長野校	高田校	田川校	福江校	江ノ島校	釜屋校
淺校	粟生校	久常校	寺井校	山口校	國造校

宮内校 中島校 土室校 砂川校

一、本郡ニテハ學校園設置標準ヲ制定シ土地ノ情況ニ依リ之カ施設ヲナサシメタリ

設置標準要項

一、園ノ大サ五十坪乃至百坪

一、區別 畑、花壇、植樹、小池、栽植

畑ニハ農作物花壇ニハ花卉類園ノ圃圃又ハ一部ニハ樹木小池ニハ濕草水草ヲ植ユ

一、注意

樹木花卉農作物ノ種類ハ教授細目實施上ニ必要ナルモノヲ選擇シ樹木ハ學校構内全体ニ涉リ適宜栽植シ又藤棚葡萄棚等ヲ設ケ植方排列ノ方法ハ主トシテ應用上ノ分類ニ從フ事

花壇又ハ畑ノ手入ハ教員兒童ニ於テ擔當スル事

一、郡ノ指示ニ基キ學校敷地内ニ於テ面積及ヒ經費ノ許ス限リ植物園ヲ設ケ教授目ノ材料トスヘキ草木等ヲ栽植セシ小學校左ノ如シ

串校	木津東校	木津西校	今江校	末佐美校	牧東校
安宅校	本折校	蘆城校	稚松校	園江校	千針校
若杉校	淺井校	蓮江校	打木校	瀬領校	波佐谷校

- 赤瀬校 粟津校 尾小屋校 上大杉校 下大杉校 金平校
- 大國校 小原校 新保校 別宮校 出合校 河合校
- 上野校 上吉谷校 深瀬校 白峰校 中海校 原校
- 古河校 長野校 高田校 田川校 福江校 釜屋校
- 淡井校 粟生校 寺井校 久常校 宮内校 砂川校
- 吉田校

但シ規模廣キモ五十坪ニ過キス且ツ郡ノ指示シタル模範法ニ依ル能ハス單ニ庭園式ニ經營セルノニ

石川郡

- 一、本郡小學校修業年限三ヶ年以上ノ高等科ニハ八日市尋常小學校ヲ除キ其ノ他ハ殘ラス土地ノ情況ニ依リ農業科或ハ商業科ヲ加設シ又手工科ハ内川尋常小學校ヲ除クノ外悉皆加設セリ
- 一、戰時紀念トシテ町村立小學校ニ實業補習學校ヲ附設シ青年子弟ニ實業ニ關スル智識技能ヲ授クルト同時ニ普通教育ノ補習ヲモナセシ學校ヲ舉クレハ左ノ如シ
- 一、比樂島尋常小學校

- 一、笠間尋常小學校
- 一、一木尋常小學校
- 一、安養寺尋常小學校
- 一、日向尋常小學校
- 一、月橋尋常小學校
- 一、富樫北尋常小學校
- 一、内川尋常小學校
- 一、下辰巳尋常小學校
- 一、郷尋常小學校
- 一、相川尋常高等小學校
- 一、徳光尋常小學校

一、戰時紀念トシテ町村立小學校ニ女子裁縫學校ヲ附設シ女子ニ須要ナル裁縫其他實用ノ智識技能ヲ授ケツ、アル學校左ノ如シ

- 一、日向尋常小學校
- 一、郷尋常小學校
- 一、上金石尋常高等小學校
- 一、從來町村立小學校ニ實業補習學校ヲ附設シアル學校ニシテ戰役紀念トシテ生徒ノ増加ヲ謀リツ、アル學校ヲ舉クレハ左ノ如シ

- 一、柏野尋常小學校
- 一、宮保尋常高等小學校
- 一、八田尋常小學校
- 一、山島尋常小學校
- 一、林尋常小學校
- 一、明島尋常小學校
- 一、額乙丸尋常小學校
- 一、富奥尋常小學校
- 一、野々市尋常高等小學校
- 一、八日市尋常高等小學校
- 一、崎浦尋常小學校
- 一、大野尋常小學校

一、本郡ニ於テ戰時紀念トシテ圖書館又ハ文庫ヲ設置若クハ擴張シタルモノノ左ノ如シ

1、美川尋常高等小學校同窓會ハ明治三十三年美川讀書館ヲ創設シ爾來校下有志者ノ寄附金及寄贈書籍ヲ集メ漸次之カ發達ヲ謀リツ、アリシカ今回戰時紀念トシテ之ヲ同町立ニ移シ益其規模ヲ擴張シタリ

2、松任町青年輩ハ戰時紀念トシテ松任町青年同志會ナル者ヲ組織シ其事業ノ一トシテ圖書館設立ノ計畫ヲナシ同町有志者ヨリ書籍數百部ヲ寄贈シ又町會ニテハ三十八年度ニ於テ金五拾圓ノ補助ヲナシタルヲ以テ必要ノ圖書ヲ購入シ同町公會堂ニ於テ開館シ公衆ノ閱覽ニ供シツ、アリ

3、私立石川郡教育協會ハ數年來本郡ニ適當ノ圖書館ナキヲ概シ之カ設置ヲ企畫セシモ時期未タ到ラス其意ヲ果サ、リシカ今回戰時紀念トシテ圖書館ノ開設ヲ謀リ郡役ノ補助ヲ求メタルニ郡會ハ其舉ヲ贊シ三十八年度ニ於テ特ニ金三百圓ノ交付ヲ決議シ且ツ郡有ノ圖書二百餘部ヲ貸與セリ

4、山島小學校卒業生ノ組織ニ係ル同校同窓會ハ三十八年五月現在ニテ書籍三拾餘冊ヲ有シ一般ノ縱覽ニ供シ居リシモ其冊數僅少ニシテ利用少キカ爲メ村長及ヒ學校長等ハ大ニ之ヲ獎勵シテ圖書ノ増品ヲ謀リ縱覽所ハ同校ノ一部ヲ以テ之ニ充ツルコト、セリ

5、安原小學校卒業生及同在學生ノ組織ニ係ル青雲會ニ於テハ紀念圖書館ヲ設立スルコト、ナシ之カ寄附金ヲ校下有志者ニ需メタルニ三十八年五月マテニ既ニ金貳拾五圓ヲ得尙ホ同年卒業生ノ寄附ニ係ル書籍數十冊ヲ加ヘテ校舍ノ一部ニ圖書室ヲ設ケ公衆ノ縱覽ニ供スルコト、シ同年六月ヨリ開館セリ

6、富奥小學校職員ノ設置ニ係ル圖書室ハ校下有志者ヨリ數十圓ノ寄附金ヲ得數十冊ノ圖書ヲ購

入シ校舍ノ一部ヲ以テ該室ニ充テ一般ノ縦覧ニ供シタリ尙今後村費ヨリ相當ノ補助ヲ求メ規模ヲ擴張スルノ計畫ナリ

7、林尋常小學校ニテハ旅順港陥落紀念トシテ校下有志者ノ寄附金ヲ基礎トシ尙廣ク校下ノ寄附金ヲ得テ紀念文庫ヲ設立スルコト、ナシ校舍ノ一部ヲ以テ該室ニ充テ開設セリ

8、林中小學校同窓會ハ戰時紀念トシテ其付屬圖書館ノ擴張ヲ謀ラントシ旅順陥落ヲ機トシテ各會員ヨリ一名ニ付金拾五錢ヲ徵收シ尙ホ校下有志者ヨリ應分ノ寄附金ヲ得テ圖書ヲ購入シ三十八年ニ至リテハ圖書合セテ五百冊以上ニ達セリ尙ホ爾後國家ニ慶事アル毎ニ如上ノ方法ヲ以テ漸次擴大ヲ謀ルノ計畫ナリ

9、明島小學校同窓會ニテハ戰時紀念トシテ圖書室ヲ設ルコト、ナシ會員及校下有志者ニ寄附金ヲ需メタルニ其金額拾八圓餘ニ達シタリ依テ書籍八十冊ヲ購求シ同校舍ノ一部ヲ以テ圖書室ニ充テ尙ホ同村青年輩ノ設立ニ係ル獎學會ナルモノト合同シ益々擴張ヲ謀ルコト、セリ

10、野々市小學校同窓會ニハ戰時紀念トシテ同校舍内ニ圖書室設置ノ議ヲ決シ校下有志者ニ寄附金ヲ需メタルニ同村吏員ニ於テ大ニ贊同ヲ表シ勸奨ニ努メタルノ結果寄附金殆ント百圓ニ達シ已ニ器具等ノ設備ヲ了シ尙ホ購入書目ノ撰擇及ヒ書籍寄贈ノ勸誘ヲナシ漸次整備ヲ謀リツ

11、鶴來小學校同窓會ノ企畫ニ係ル戰時紀念圖書室ハ同町會ヨリ若干ノ寄附金ヲ得之ニ有志寄附金ヲ合セ金五拾七圓ニ達セシヲ以テ書籍ヲ購入シ尙ホ寄附書籍ヲ合セ二百二十四冊ニ至リタルニ依リ同校附屬建物ノ一部ニ該室ヲ設ケ公衆ノ縦覧ニ供セリ

一、夜學ノ設置ハ年一年ニ増加シ其教授モ逐年實用的ニ進ミ今ヤ其方法ヲ改善シ實業ノ科目ヲ加設シ青年子弟ニ實業ニ關スル智識技能ヲ授クルト同時ニ普通教育ヲ補習セシムル學校ヲ戰時紀念トシテ設置シタルモノト從來設置ノ者ニ戰役紀念トシテ生徒ヲ増加シ科目等ヲ改善シタルモノトヲ區別シテ舉クレ

- ハ左ノ如シ
- 戸水尋常小學校
- 松木尋常小學校
- 四十万尋常小學校
- 蝶屋尋常小學校
- 富樫南尋常小學校
- 吉野谷北尋常小學校
- 二塚北尋常小學校

以上新設ノモノ

吉野谷南尋常小學校

- 南新保尋常小學校
- 竹松尋常小學校
- 福留尋常高等小學校
- 中興尋常小學校
- 湯涌谷尋常小學校河内分教場
- 北間尋常小學校
- 林尋常小學校
- 北安田尋常小學校
- 御經家尋常小學校
- 安原尋常高等小學校

以上從來設置ノモノニシテ戰役紀念トシテ生徒ノ増加ヲ計リタルモノ

- 一、御手洗村相川、徳光、兩尋常小學校ニテハ校下有志者ヨリ學校基本財産ノ寄附ヲ募集シ其増殖ヲ計リ爾來蓄積ノ金員ヲ合計スルニ現金百參拾八圓餘農工銀行株券貳拾壹株時價參百六拾圓餘勸業債券四通時價五拾六圓計五百六拾圓餘ニシテ尙ホ將來益々増殖ノ計畫ナリ
- 一、上金石尋常高等小學校ニテハ紀念事業ノ一トシテ學校基本財産ノ増殖ヲ謀ルカ爲メ校長小原恒貞ハ町長ニ協議スル所アリ三十八年度ヨリ高等科生授業

料ノ一部ヲ年々蓄積センコトヲ町會ニ提議シタルニ町會ハ之ヲ是認シ年額約百圓宛蓄積スルコトヲ可決セリ

- 一、一木小學校ニテハ戰時紀念トシテ基本財産ヲ増殖スルコト、ナシ村費ヨリ金五拾圓ヲ支出シ該財産ニ増加セリ
- 一、大野町小學校ニテハ三十八年卒業生一同ヨリ金拾七圓參錢八厘ヲ戰時紀念ノ爲メ學校ヘ寄附シタルヲ以テ該金ヲ基本財産トナシ利殖ヲ謀ルコト、セリ
- 一、本郡ニ於テ學校職員カ戰時紀念作業トシテ標本掛圖等ノ製作ヲナセシモノ左ノ如シ

- 福留尋常高等小學校
- 樺太地圖、遼東半島地圖、朝鮮地圖、四ヶ國關係地圖 日本朝鮮支那ノ一部  
西比利亞ノ部
- 柏野尋常小學校
- 各種郵便切手掛圖、手工科教授用標本、五十音掛圖、九々掛圖、柏野村地圖
- 蝶屋尋常小學校
- 遼東半島地圖、教授用掛圖、手工標本
- 宮保尋常高等小學校
- 教授用掛圖、手工科標本
- 一木尋常高等小學校

手工科農業科教授用掛圖及同標本

竹松尋常小學校

樺太全島地圖

一軸

手工科教授用掛圖

五枚

織物品掛圖

一枚

北安田尋常小學校

教授用地圖

二枚

教授用掛圖

二枚

手工科標本

七枚

相川尋常小學校

教授用肥料分數成分等表

一組 十一枚

同歷史用地圖

一組 六枚

同樺太滿洲紀念地圖

一組 二枚

同手工科掛圖

一組 六枚

滿艦飾(儀式用)

一組 百枚

笠間尋常小學校

手工科教授用色圖

樺太地圖

八田尋常小學校

永字八法ノ諸法圖

旭村地圖

織物標本掛圖

宮永尋常小學校

發音長短比較及織物標本掛圖

時計盤及羅馬數字表

戰時ニ因ル書方、綴方、圖書ノ兒童成績品集帳

郷尋常小學校

實業ニ關スル教授用掛圖

發音長短比較表

國語科教授用掛圖

中興尋常小學校

修身格言集

假名教授用掛圖

尋常小學校讀本漢字表

算術科教授用各種掛圖

手工科教授用標本

林中尋常高等小學校

戰時ニ關スル兒童ノ教授訓練トナルヘキ標本繪畫並ニ地圖等集覽製作中

修身教授用掛圖

手工科教授用標本

手工科農業科教授用掛圖及同標本

竹松尋常小學校

樺太全島地圖 一軸

手工科教授用掛圖 五枚

織物品掛圖 一枚

北安田尋常小學校

教授用地圖 二枚

教授用掛圖 二枚

手工科標本 七点

相川尋常小學校

教授用肥料分數成分等表 一組 十一枚

同歷史用地圖 一組 六枚

同樺太滿洲紀念地圖 一組 六枚

同手工科掛圖 一組 六枚

滿艦飾(儀式用) 一組 百枚

笠間尋常小學校

手工科教授用色圖

樺太地圖

八田尋常小學校

永字八法ノ諸法圖

旭村地圖  
織物標本掛圖

宮永尋常小學校

發音長短比較及織物標本掛圖

時計盤及羅馬數字表

戰時ニ因メル書方、綴方、圖書ノ兒童成績品集帳

郷尋常小學校

實業ニ關スル教授用掛圖

發音長短比較表

國語科教授用掛圖

中奥尋常小學校

修身格言集

假名教授用掛圖

尋常小學校讀本漢字表

算術科教授用各種掛圖

手工科教授用標本

林中尋常高等小學校

戰時ニ關スル兒童ノ教授訓練トナルヘキ標本繪畫並ニ地圖等集覽製作中

修身教授用掛圖

手工科教授用標本



山島尋常高等小學校

地理歴史用掛圖類

十枚

裁縫用掛圖

五枚

裁縫科用模擬衣服

四枚

修身國語科用掛圖

日向尋常小學校

軍政日本地圖

館細村全圖

石川郡地圖

手工科標本

安養寺尋常小學校

戰爭因ニメル教授用掛圖

林尋常小學校

地理歴史的掛圖

生徒的掛圖

動植物ニシテ實業的ニ關係アル掛圖

手工科標本

明嶋尋常小學校

修身教授用掛圖

月橋尋常小學校

教授用掛圖

白山尋常小學校

世界、日本、縣、郡各種教授用地圖

四十万尋常小學校

唱歌掛圖

額乙丸尋常小學校

唱歌掛圖

日露清韓地圖

四枚

手工科標本

富奥尋常小學校

修身教授用掛圖

時局談ヲ冊子ニ編纂

野々市尋常高等小學校

國語教授用掛圖

手工科標本

八日市尋常高等小學校

軍艦標本

御經塚尋常小學校

戰時因メル教授用掛圖

第十九章 第七節 郡市施設ノ事項

久安尋常小學校

大砲模型

泉尋常小學校

大砲模型

日露戰役ニ關スル旅順口地圖

富樫南尋常小學校

日本各地圖、東京市地圖、鎌倉附近地圖、大坂市地圖、京都市地圖、樺太地圖  
動詞活用表、人体解剖畫、音便表、從音表、濁音表

富樫北尋常小學校

教授用圖畫、鎌倉附近地圖、京都附近地圖、上野公園地圖

野北尋常小學校

簡易ナル計數器

內川尋常小學校

世界地圖、日本地圖、戰局及我帝國位置地圖、加賀地圖、卿土地圖、蒸氣發動機關縱斷面  
書方教授用点画法圖解

高島尋常小學校

教授用日本地理

極東地圖

二塚南尋常小學校

修身教授用掛圖

手工科標本

二塚中尋常小學校

國語科教授用掛圖

大野尋常小學校

仮名抑音、從音等圖

三府鎌倉日本日清韓正直勤務ノ唱歌姿勢言葉對照表

戶板尋常小學校

教授用地圖

修身教授用掛圖

南新保尋常小學校

國語ニ關スル教授用掛圖

日本地圖

戶水尋常小學校

國語ニ關スル教授用掛圖

日本地理

弓取尋常小學校

教授用掛圖、日本地理、清韓地圖、東京地圖、京都地圖、奈良地圖、大坂地圖  
人体解剖人骨姿勢假名從音音便唱歌譜

北間尋常小學校

地圖唱歌掛圖

裁縫掛圖

粟ヶ崎尋常高等小學校

日本地圖、人体解剖圖、虹ノ圖、唱歌圖、假字及音便圖、益虫及害虫圖、手工科標本

修身教授用掛圖

國語教授用掛圖

大野町尋常高等小學校

國語教授用掛圖、戰國地圖

商工業ニ關スル諸外國々勢比較表、手工科標本

松任尋常高等小學校

日本外國地圖、歴史地圖、理科說明用圖、國語教授用圖、博物ノ庶物標本

松任女兒尋常高等小學校

石川郡地圖、外國地圖、日本地圖、戰捷紀念樺太地圖、戰捷紀念聯、尋常科用修身掛圖、

蠶体生理ノ圖、學齡兒童中就學者累年比較表

美川尋常高等小學校

歴史地理掛圖、手工科標本

鶴來尋常高等小學校

大戰役地圖

一、各小學校ニ於テ戰時紀念植林ヲナシタルモノ左ノ如シ

崎浦尋常小學校

植栽地反別 四反三畝十步

樹種 唐松六百本 檜七百本

經費金參拾五圓村費ヨリ支出 植栽及ヒ手入ハ人夫ヲ以テナシ學校職員及生徒之カ補助ヲナス

富樫北尋常小學校

植栽地反別 三畝八步

樹種 黒松三十本 赤松四十本 杉五十本

經費金貳拾圓ニシテ校下有志ノ寄附金ヲ以テシ植栽及手入ハ職員及ヒ生徒之ヲナス

山島尋常高等小學校

植栽地反別 一畝二步

樹種 梅、松、柳各一本 櫻十二本 桑苗三百本

經費金拾圓村費ヨリ支出シ植栽及ヒ手入ハ附設實業補習學校擔當者並ニ學校職員ヲ以テス

安原尋常高等小學校

植栽地反別 校舍周圍空地二十五步

經費金參圓ハ有志者ノ寄附ヲ以テシ植栽及ヒ手入ハ職員並ニ生徒ヲ以テス

林中尋常高等小學校

植栽地反別 六拾步(苗圃仕立)

樹種 杉七十本 檜七十本 唐松七十本 榎七十本 桐五十五本 黒松七本

經費金壹圓五拾錢植栽及手入ハ高等科農業擔任教師指揮ノ下ニ同三、四、學年ノ農業科ヲ修ム

ル生徒ノ實習トシテナサシム

北安田尋常小學校

學校運動場ノ周圍ニ松五十本ヲ植付ケ職員並ニ生徒ニ於テ手入等ヲナス

竹松尋常小學校

學校敷地ノ周圍ニ松三十本ヲ植付ケ手入等ハ北安田校ニ同シ

柏野尋常小學校

植栽地反別 二畝十六歩

樹種 梅四本 櫻二本 楓一本 杉四十本

經費金拾圓ニシテ校下有志者ノ寄附金ヲ以テシ植栽及ヒ手入等ハ職員生徒ヲ以テス

笠間尋常小學校

植栽地反別 十一歩

樹種 杉二十五本 松三本 銀杏五本 桐三本 李三本 梨二本

弓取尋常小學校

學校敷地内ニ櫻二十本ヲ植ヘ經費金貳圓ハ校下有志者ノ寄附金ヲ以テシ植栽及ヒ手入ハ職員

及ヒ生徒之ヲ担当ス

額乙丸尋常小學校

學校敷地ノ周圍ニ松二十本ヲ植付ケ手入等ハ職員生徒ヲ以テス

美川尋常高等小學校

植栽地反別 四反五畝二十七歩

樹種 松 九千五百九十五本

經費金拾壹圓餘町費ヨリ支出シ植栽及ヒ手入ハ高等科男兒生徒及職員ヲ以テス

下辰巳尋常小學校

植栽地反別 一町二反六畝六歩(ニケ年繼續事業)

樹種 松 七千四百六十九本

經費金拾五圓ハ同村出征軍人家族救護費中ヨリ支出シ植栽及ヒ手入ハ出征軍人家族ヲ以テス

駒師尋常小學校

植栽地反別 一反歩(ニケ年繼續事業)

樹種 杉 九百本

經費金五圓ハ同村出征軍人家族救護費ヨリ支出シ植栽及ヒ手入ハ出征軍人家族ヲ以テス

蝶屋尋常小學校

學校敷地ノ周圍ニ杉二百本ヲ植付ケ經費金參圓ハ村費ヨリ支出シ植栽及ヒ手入ハ職員及ヒ生

徒ヲ以テス

野々市尋常高等小學校

植栽地反別 一町歩(ニケ年繼續事業)

樹種 杉、松六千本

經費金拾五圓ハ村費ヨリ支出シ植栽及ヒ手入ハ高等科男生徒ヲ以テシ困難ナル作業ハ人夫ヲ

以テス

戸板尋常小學校

校地ノ周圍ニ松三百本ヲ植附ケ其經費參圓ハ村費ヨリ支出シ植栽及ヒ手入ハ主トシテ職員並

以テス

經費金拾五圓ハ村費ヨリ支出シ植栽及ヒ手入ハ高等科男生徒ヲ以テシ困難ナル作業ハ人夫ヲ

以テス

戸板尋常小學校

校地ノ周圍ニ松三百本ヲ植附ケ其經費參圓ハ村費ヨリ支出シ植栽及ヒ手入ハ主トシテ職員並

ニ生徒ヲ以テス

大野尋常小學校

學校敷地内ニ桐丁五本ヲ植付ケ經費金一圓ハ村費ヨリ支出シ植栽手入ハ生徒ヲシテナサシム

高島尋常小學校

校地ノ周圍ニ杉二十五本ヲ植付ケ其費用一圓二十錢ハ學校生徒ノ寄附金ヲ以テシ植栽及ヒ手入ハ生徒ヲシテナサシム

編留尋常高等小學校

校地ノ周圍ニ杉百七十本ヲ植付ケ費用金貳圓ハ村費ヨリ支出シ植栽及ヒ手入ハ主トシテ高等科ヲ生徒ヲシテ爲サシム

宮永尋常小學校

校地ノ周圍ニ杉二百七十本ヲ植付ケ費用金貳圓五拾錢ハ村費ヨリ支出シ植栽及ヒ手入ハ職員並ニ生徒ヲ以テス

金澤市

一長町小將町兩高等小學校第三四學年ニ商業科ヲ加ヘ野町、新堅町、石引町、材木町、西町、長町、芳齊町、瓢箪町、馬場、上田町各尋常小學校ヘ手工科ヲ加ヘタリ  
一戰時紀念トシテ學校職員ニ於テ着手計畫セシ事業左ノ如シ

- 1 全市小學校職員共同シテ各毎月俸給二百分一ヲ出金シテ之ヲ互助基金トシ互助法ヲ設ケタリ
- 2 全市小學校教員ヨリ組織セル本市ノ教育會ニ於テ來學年ヨリ實科女學校ヲ設立スルノ計畫中

ナリ

3 長町高岡町兩高等小學校ニ於テ軍人ノ肖像畫及戰役紀念繪端書ヲ購入ス

4 小將町高等小學校ニ於テ戰時紀念物蒐集軍人ノ肖像畫及戰役紀念繪端書ノ購入ヲナス

5 野町尋常小學校ニ於テ戰死者寫真蒐集校地内ニ紀念樹植付兒童貯金軍人ノ肖像畫及戰役紀念繪端書購入職員共同戰役ニ關スル書冊購入ヲナス

6 新堅町尋常小學校ニ於テ戰役紀念地圖購入戰時紀念物蒐集校地内ニ紀念樹植付兒童貯金軍人ノ肖像及戰役紀念繪端書購入職員共同戰役ニ關スル書冊購入職員共同戰役ニ關スル書冊購入ヲナス

7 石引町尋常小學校ニ於テ戰死者寫真蒐集戰史編纂軍人ノ肖像畫及戰役紀念繪端書購入職員共同戰役ニ關スル書冊購入ヲナス

8 材木町尋常小學校ニテハ戰役紀念地圖購入戰時紀念物蒐集戰時ニ於ケル教授訓育ノ資料蒐集軍人ノ肖像畫及戰役紀念繪端書購入職員共同戰役ニ關スル書冊購入ヲナス

9 西町尋常小學校ニ於テ校地内ニ紀念樹植付軍人ノ肖像畫及戰役紀念繪端書購入職員共同戰役ニ關スル書冊購入ヲナス

10 長町尋常小學校ニ於テハ戰死者寫真蒐集軍人ノ肖像畫及戰役紀念繪端書購入職員共同戰役ニ關スル書冊購入ヲナス

11 芳齊町上田町兩尋常小學校ニ於テハ戰役紀念地圖購入戰死者寫真蒐集軍人ノ肖像畫及戰役紀念繪端書購入職員共同戰役ニ關スル書冊購入ヲナス

12 瓢箪町尋常小學校ニ於テハ兒童貯金軍人ノ肖像畫及戰役紀念繪端書購入職員共同戰役ニ關スル書冊購入ヲナス

13 馬場尋常小學校ニ於テハ戰時ニ於ケル教授訓育ノ資料蒐集軍人ノ肖像畫及戰役紀念繪端書購入職員共同戰役ニ關スル書冊購入ヲナス

入職員共同職役ニ關スル書冊購入ヲナス

一、時局ニ際シ個人トシテ學校ヘ金圓又ハ物品ヲ寄付セシモノ左表ノ如シ

校名	品目	價格	寄附者人名
馬場尋常小學校	金員	一〇、〇〇〇	笹島イト
新厩町尋常小學校	櫻、梅ノ樹	一二、〇〇〇	中島信次 外百五十三人
全	人体模型外五點	五七、五〇〇	清水兼之
長町高等小學校	扁額二面	四、八〇〇	小川維時
全	杉苗百二十本	三、〇〇〇	中越錠三郎
高岡町高等小學校	金員	一〇、〇〇〇	市川廣助
全		一五、〇〇〇	田中市三郎
瓢箪町尋常小學校	全	一〇、〇〇〇	全人
學校基本財産	全	二五、〇〇〇	久保田全

一、時局ニ際シ個人トシテ教育上施設シタルモノ左ノ如シ

1 秩序ナル幼兒保育ノ普及ヲ計ル爲メ長寛子私立木ノ花幼稚園ヲ長町五番丁ニ創立ス

2 女子ニ必要ナル學術ヲ授ケ淑徳圓滿ナル女子ヲ養成シ併セテ師範學校高等女學校入學者并ニ小學校教員志望者ノ爲メ豫備學科ヲ教授スルノ目的ヲ以テ加藤廣吉下本多町三當丁ニ私立金城女學校ヲ創立ス

河北郡

一、金浦村立下田上尋常高等小學校ニ於テハ實業思想ノ鼓吹ニ資スルノ目的ヲ以テ本年九月ヨリ高等科第一第二學年兒童ニ對シ雜草中未タ其名ヲ知ラサルモノヲ毎日學校ニ持參セシメ一日三種宛其名稱所屬並ニ効用等ヲ簡單ニ說話シ(時々昆虫ヲ加フ)之レヲ記憶セシメテ以テ近キニアル事物ニ於ケル注意力並ニ研究心ヲ喚起スルト同時ニ動植物ニ關スル知識ヲ得セシムルニ努メ又職員ニ於テ害虫膨大圖其他職員並ニ兒童ノ採集ニ係ル植物ノ標本ヲ作り其數百五十種ニ至リ又三十八年八月ヨリ兒童ニ對シ蝗ノ驅除ヲ爲サシメ之ヲ學校ニ持テ來ラシメタルニ其數二万餘ノ多キニ及ヘリ

一、醫王山村立農業補習學校ニ於テハ職員自ラ昆虫植物、紙細工、粘土細工、木通、蔓細工、竹細工、麥稈細工、等ノ實物標本ヲ製作シ收蓄、養鶏、接木、摘茶、益鳥、毒草等ノ圖書並ニ生産物ノ比較表捕虫網其他農具數種ヲ備ヘ以テ教授ノ資料ニ供

セリ三十八年六月十九日ヨリ三日間附近ノ稻田ニ就キ螟虫ノ驅除ヲ行ハシメタルニ十九日ハ出席生徒二十五人ニシテ五百十六葉二十日ハ生徒數二十六人ニシテ三百二十葉二十一日ハ生徒三十一人ニシテ九百三十葉通シテ千七百六十六葉ヲ採取シタルヲ以テ更ニ二十二日ヨリ二十九日ニ至ル八日間業後各自ヲシテ同シク螟虫ノ驅除ヲ行ハシメタルニ其採取千餘ニ及ヘリ又生徒ヲシテ春蠶ノ飼育ヲ試ミシメ或ハ時々戸室山石切塙製紙原料株式會社醫王山村造林共同事業苗圃宇田嶋購買販賣組合事務所木通蠶工業傳習所等へ生徒ヲ引率シ直接ニ間接ニ之レカ思想ノ養成ニ努メ又別ニクヌギ苗圃ヲ設置シ實地ニ之レヲ研究セシメントシ計畫已ニ成リ三十八年十月上旬ニ於テ生徒ヲシテ該種子壹斗ヲ拾ハシメ之レヲ砂土ニ混シ目下學校庭内ニ埋メ置キ來ル三十九年ヲ期シ播種手入ヲナサシメントス

一、小金村立小坂尋常高等小學校ニ於テハ農業掛圖手工ノ標本等ヲ備ヘ特ニ職員兒童相協力シ植物鉢植百個ヲ作り以テ實業ニ關スル教材ニ資シ之レカ思想ノ養成ニ努メ又實地研究ノ一方法トシテ學校樹栽ハ生徒ヲシテ從事セシメ且ツ之ヲ管理セシメテ以テ自治心及勞働好愛ノ心ヲ養ヒ又螟虫ノ採取ヲナサシメ

ントシ三十八年六月十八日學校職員ハ實地ニツキ檢察ヲ爲セシニ校下稻田ニ於テ産卵ノ多キヲ見翌十九日高等科一同へ害虫驅除ノ必要ナルヲ諭示シ螟卵ノ所在採取ノ方法等ヲ丁寧ニ授ケ歸宅後二十塊以上ヲ採取シ向四日間ニ持參スヘキ旨ヲ指示シタルニ多キハ一回ニ百五十塊ヲ持參セシモノアリ四日間ノ採取數通シテ一万一千二百塊ノ多キニ達セリ

一、金津谷尋常高等小學校ニ於テハ本年害虫發生ノ風聞アルヤ應召軍人家族ニ對スル生業ノ補助ニ兼テ實業思想鼓吹ノ目的ヲ以テ高等科兒童ヲシテ螟卵ノ採取苞虫ノ捕殺ヲナサシムルコト前後六回村內全六字ニ亘リ螟卵採取二千葉ニ及ヒ又校地内ニ黒松苗五十株松苗二十株檜苗十株行李柳二十株其他モチヤツデシヒ等ヲ植エ尙別ニ職員生徒相協力シ校舍ニ沿フテ体操場ノ一部ヲ割キ幅約四尺長約十七間ノ畔ヲ作り植物園ヲ設ケ草木ヲ栽培シ實地ニ之ヲ會得セシメツ、アリ

一、矢田尋常小學校ニ於テハ植物解剖掛圖農作場害虫詳圖、通俗益虫正圖等ヲ備ヘ且ツ職員自ラ昆虫類ヲ採取シ乾燥シテ二函ニ分チ十余種五十八点ヲ作り以テ實業ニ關スル教授ノ資料ニ供シ之レカ思想ノ養成ニ勉メ又七月十五日土曜

日チトシ業后第三四年兒童ヲ引率シ螟卵採取ヲ實行セシム同二十二日再ヒ兒童ヲ引率シ螟卵採取ノ結果數十葉ヲ得爾來各兒童ヲシテ下校後家事ノ手傳トシテ任意採取セシメシニ漸次上達シ追日其數量ヲ増シ遂ニ各自競フテ採取シ第一二學年生マテ協力スルニ至リ其結果八月十日迄凡ソ二週日ノ間ニ於テ通計六百粒以上ニ至レリ尙之レニ連帶シテ各自家ニ於ケル誘蛾燈ノ主任タラシメシニ其驅除シ得タル概數三斗已上ニ及ヘリ

一、郡内小學校中森下高等小學校ヲ除クノ外ハ總テ三十八年度ヨリ手工科ヲ加設シ修業年限三ヶ年以上ノ高等小學校ニシテ津幡尋常高等女兒小學校ヲ除ク外ハ昨年度ヨリ悉ク農業科ヲ加設シタリ

一、實業補習學校町村夜學ニ關シテハ大ニ之レカ擴張ヲ企圖シ郡費金三百圓ノ補助ヲ爲スニ決シ之レカ獎勵ニ努メタルニ既ニ附設ノ認可ヲ得タル實業補習學校左ノ如シ

- 湯ノ谷村立町農業補習學校 全 北袋全
- 直江谷村立全 醫王山村立全
- 木越村立全 川筋村立全
- 藥師谷村立全

- 大馬村立全
- 東英村立全
- 金津谷村立全

- 井上村立全
- 金津村立全
- 内灘村立水産補習學校
- 水産補習學校 一

計 農業補習 拾三校  
内醫王山村立農業補習學校ハ明治三十三年ヨリ開校シ卅六年四月現在籍生徒三十六人ナリシモ三十七年四月ニ至リ六名ヲ増シ爾來益々其擴張ヲ企圖シ三十八年十月末ニ至リ六十二人ノ生徒アルニ至レリ内灘村立水産補習學校ハ年中開設ノモノニシテ三十八年五月十五日ヨリ開校シ十月末現在籍人員二十八人アリテ井上村立農業補習學校ハ毎年一、二、三、六、七、八、十二月ノ七ヶ月間開設スルモノニシテ本年六月一日ヨリ開校シ八月末現在籍生徒九十八人アリ其他ハ未タ開校セス尙附設稟請中ノモノ左ノ如シ

- 小金村立農業補習學校 小原谷村立宮野農業補習學校
- 崎田村立同 萩坂村立同
- 高松村立同 花園村立同
- 笠井村立同
- 計七校ニシテ外ニ附設計畫中ノモノ數多アリ

夜學ハ昨年度ニ於テハ郡費ノ補助ヲ廢シタルニモ拘ハラズ其開設拾六ヶ町村



三十一ヶ所生徒千六十一人ノ多キニ及ヒ一昨三十六年度ニ比シ三ヶ町村七ヶ所生徒四百六十一人ヲ増シタルヲ以テ本年度ニ於テモ將ニ來ラントスル冬季農隙ノ時ヲ期シ之レカ開設ヲ企圖シ且ツ實業ノ科目ヲ加設セシメントシ目下致々獎勵中ニシテ醫王山村ノ如キハ來ル十二月一日ヨリ翌年三月末日迄開設シ教授ヲ實用的トシ該村立木通藝工業傳習所教師ヲ聘シテ工業ノ一科ヲ加ヘントシ計畫略成レリ

一、戰時紀念トシテ學校職員ニ於テ着手計畫セル事業左ノ如シ

戰時ニ於テ特ニ養ヒ得タル勤勞貯蓄ノ如キ其習慣ハ永遠ニ之レヲ持續セシメ以テ訓練上ニ於ケル紀念タラシメント期シ或ハ實物標本圖書ノ製作或ハ郷土戰誌、校下史談等ノ名ヲ以テ出征應召軍人ノ事績并ニ其遺家族ニ於ケル篤行美談其他校下ノ人民ニシテ美譽奇特ノ行爲アル者等ヲ輯録シ以テ永遠訓育ノ上ニ資セントシ或ハ出征軍人ノ寫真ヲ集メ扁額又ハ軸トナシ之レヲ校内ニ掲ケントシ或ハ出征軍人ヨリ信書ヲ蒐集シ以テ永久ノ紀念トナサントスルカ如キハ郡内各學校悉ク着手計畫中ニシテ尙下田上小學校ニ於テハ戰勝實地教授研究會ト名ケ三週毎ニ一回宛各職員交互敎鞭ヲ執リ其批評ヲ爲ス等已ニ實施シタルコト二回小坂小學校ハ村出身軍人名簿ヲ作り其經歷小傳ヲ記シ印刷ニ附シタル冊子ヲ村民ニ頒カタントシ目下材料ヲ蒐集シツ、アリ醫

王山大浦兩小學校ハ教授研究會ヲ中條小學校ハ實地授業研究會ヲ組織シ毎月一回之ヲ開會ス相互ニ討議研究シ津幡小學校ハ戰勝ノ光榮ヲ將來ニ持續センニハ實業思想ノ振作發達ニ期待スヘキモノ多ク隨テ之レカ材料ノ選擇ニ排列ニ將タ方法ニ研究スヘキモノ尠カラストシ職員ハ實業科研究會ナルモノヲ設ケ毎月一回以上合同シテ講究ヲ重スルノ計畫ヲナシ本郡第四部内各學校ハ滿洲及樺太ニ於ケル我軍ノ進路ヲ明カニセル大地圖並ニ本郡大地圖ヲ調製スルノ計畫ヲナシ矢田小學校ハ校下風紀ノ振作ヲ期シ青年團ヲ笠井小學校ハ溫舊敎會ヲ各々組織セントシ本郡第一部各學校ニ於テハ作文並ニ書方ヲ増進スルノ目的ヲ以テ兒童成績交換法ナル者ヲ設ケ毎月一回各校尋常第三學年以上ノ書方若クハ綴方成績品ヲ作り之レヲ部内各校へ回送スルコト、シ目下確實ニ實施シ川尻尋常小學校ハ雜誌類ヲ蒐集シ小圖書室ヲ設置シタルモ規模大ナラス目下有志ニ説キ寄付金勸誘中尙明年度ヲ期シ學校園ヲ設クルノ計畫ヲナシ小坂小學校同窓會ハ有志ノ寄付金ヲ募リ小圖書室ヲ設立セント企畫中ナリ

一、各小學校ニ於ケル戰時紀念植林ノ實況左ノ如シ

醫王山尋常小學校ニ於テハ村費ヲ以テ桐苗ヲ購入シ本年度入學兒童四十六名ニ對シ一本宛ヲ交付シ校長ハ其主旨ト培養方法ヲ懇示シ兒童各自ノ宅地内便宜ノ箇所ニ植栽セシム又「クヌキ」苗圃設置ノ計畫ヲナシ來ル三十九年ヲ期シ播種セントシ既ニ農業補習學校生徒ヲシテ該種子一斗

ヲ拾ハシメ之ヲ學校庭内ニ埋メ置キタリ

其方法ニ關シテハ三十九年度ニ於テ二十五坪ノ地ニ農業補習學校生徒ヲシテ播種手入ヲナサシメ(此費用借地料金)六拾六錢六厘(六拾六錢六厘)四十年度ニ於テハ移植ヲナサス發生セル畑地ニ培養シ(此費用借地料金)六拾六錢六厘(六拾六錢六厘)四十一年度ニ於テ生苗二千七百六十五本ヲ得ルノ見込ニシテ之レヲ七十七坪ノ畑地ニ床替ヲナシ翌年山出ニセントス(此費用借地料)貳圓五錢四厘(貳圓五錢四厘)經費ハ總計參圓三拾八錢六厘ニテ村費ヨリ支出ス山出ノ期ニ至リテハ別ニ山地ヲ借ラス際王山共有地ノ幾分ヲ學校ニ寄付セシメ永ク櫟林ヲシテ學校基本財産トナサントスルニアリ

小金村立小金尋常高等小學校ハ村費ヲ以テ敷地内ニ桐苗八十本櫻二十本ヲ植栽セリ尙字御所ニ於テ紀念植林ヲナサントシ全村立夕日寺尋常校ハ校地ノ風景整理ノタメ且用材ヲ他日ニ得ントシ昨年開戦已來大勝アル毎ニ各生徒ヲシテ校地ノ周圍ニ松、杉、櫻等ノ樹木ヲ植ヘシメシニ校下ノ父兄往々此ノ舉ヲ贊シ自ラ樹苗ヲ持テ來リ植付ケルモノアルニ至レリト云フ又本年村費ヲ以テ同校敷地内ニ桐苗七十本ヲ植ヘ尙同校職員ハ戰時紀念トシテ植付ケナシ他日學校基本財産ヲ増殖スルノ目的ヲ以テ東奔西走之レカ施設ニ盡力シ遂ニ校下ノ河原榮吉所有畑地百餘歩ヲ無料十五ケ年間借入ル、ニトシ協議決定シ三十九年早春ヲ待チ着々實行ヲ期セントス  
小原谷村立土子原小學校ハ昨年三月戰時紀念トシテ職員ニ於テ校下ノ有志ニ謀リ學校敷地内西

北部ニ松杉等ノ苗ヲ植付ケ本年ニ於テモ之レカ補植ヲナシ來リシカ其規模ノ大ナラサルヲ慨シ一紀念園ヲ設置セントシ以來校下ノ有志ニ協議シ苦辛盡策遂ニ其贊同ヲ得ルニ至リ學校附近ノ地二百有餘歩ヲ以テ柿園ヲ設クルニ決シ目下實地ノ調査ヲナシツ、アリ

大場村ハ戰時紀念トシテ三十八年四月同村立小學校々地ノ一隅ニ松樹六十本ヲ植ヘシカ今回平和克復ノ紀念トシテ更ニ松樹二十本ヲ植ヘ兒童ヲシテ栽培ノ勞ニ服セシム  
能瀬尋常小學校ニテハ時局ヲ機トシ學校基本財産ノ増殖ヲ計リ紀念植林ヲ設置セントシ熱心ニ之レカ勸誘ニ努メツ、アリシカ其結果村内加茂、舟橋、谷内、領家ノ四字ニハ貳百步宛、字能瀬ニハ四百步ノ地ヲ各々學校ニ寄附シ總計千二百步ノ山地ニ松、杉、栗等ノ樹木ヲ植ヘ旅順、遼陽、奉天撫順、開原ノ名稱ヲ附シタリ

朝日小學校ハ校地ノ周圍ニ松苗九十七本ヲ植ヘタリ  
金津谷村ハ同村立小學校敷地内ニ黒松五十本杉二十本檜十本行李柳二十本ヲ植栽セリ尙三十八年ヨリ向三ケ年ヲ期シ一大紀念林ヲ設置セントシ既ニ縣樹苗圃ヨリ松苗千百本檜苗千二百本ノ下附ヲ受ケタリ  
高松村ニハ三十七年五月全村立小學校樹栽地ニ松苗一万五千ヲ植ヘケルモ約三分ノ一ノ枯損ヲ生シタルヲ以テ更ニ松二百九十本檜二百八十本ヲ植栽セリ

内灘村ハ壹反歩ノ地ニ黒松千本ヲ植栽シ毎月二回職員兒童業后其手入ヲナシ居レリ  
上平小學校ニハ校地ノ一隅ヲ區畫シ紀念花園ヲ設置シ讀本中直接教授ニ資スヘキ草木ヲ植エタ  
リ

萩坂尋常小學校ニハ運動場ノ一部巾一間長十間ヲ割キ職員生徒共同シテ梅桃櫻松桐銀杏等ノ樹  
木ヲ植ヘタリ

金津谷小學校ニハ校舍ニ沿フテ体操場ノ一部ニ巾約四尺長約十七間ノ畦ヲ作り草木ヲ植栽シ紀  
念植物園ヲ設置セリ

笠野小學校ハ校地ノ一部五十坪ヲ割キ兒童ヲシテ任意ニ植物園ヲ作ラシメタリ

外日角小學校ニハ校地内ニ巾五間長サ七間ノ學園ヲ作り体操場ノ四隅ニ藤棚、葡萄棚ヲ設ケ日  
蓋ヲナサントシ目下計畫中

一、郡内小學校教員ニ於テ國債應募並ニ貯金規約ヲ定メタルコト左ノ如シ  
俸給年額十分ノ一以上ノ應募ヲナスコト

五拾圓債券一枚ノ應募ヲナシ得サルモノハ數人共同シテナスコト

前項共同應募ノ不便ナル者ハ各月郵便貯金ノ方法ニ依リ月俸十分ノ一以上ヲ貯金スルコト但シ  
月俸三十圓以下ニシテ止ムヲ得サル事情アルモノハ特ニ百分ノ五以上トナスコトヲ得

貯金ハ毎月俸支拂ノ日ニ於テ取纏メ通帳ハ校長ニ於テ保管スルコト但シ各自ニ於テ保管スルモ  
ノハ毎月一回以上校長之ヲ檢閲スルモノトス

貯金ハ日露事件ノ終局ニ至ル迄拂戻サ、ルコト但シ休職退職ノ際ハ此限ニアラス

羽 咋 郡

一、各小學校ニ於テ戰時紀念植林ヲナシタルモノ左ノ如シ

八野尋常小學校

植栽地ハ學校地ノ一部ヲ充用ス

櫻樹五十本

蚊龍樹二本

ポプラス十一本

公孫樹二本

松樹二本

中莊尋常小學校

植栽地ハ學校地ノ周圍ヲ用ユ

鴨脚樹三十三本

檜五十本

羅漢樹二十本

末森尋常小學校

植栽地ハ學校地ノ后方空地ヲ以テス

松樹百本

末森高等小學校

植栽地ハ校地ノ一部ヲ以テス

松杉樹十本

針山尋常小學校

植栽地ハ校地ノ周圍ヲ以テス  
松、杉、楡百本

中邑知尋常小學校

植栽地ハ校地ノ周圍ヲ以テス

櫻樹等五十餘種(苗木ハ床植ニテ翌年春季植栽スルモノ員數不明)

羽咋高等小學校

植栽地ハ校地ノ周圍ヲ以テス

各種樹三百二十九本

一ノ宮尋常小學校

植栽地反別 壹畝貳拾貳步

梅樹四本 櫻樹九本

中甘田尋常小學校

樹植地ハ校地内雨天体操場ノ前側ヲ以テス

櫻樹五十本

善誘尋常小學校

植栽地ハ校地内ヲ以テス

松、椎、青桐四十本

百浦尋常小學校

樹栽地ハ校地ノ周圍ヲ以テス

松、杉、樹貳百五十本

西浦尋常小學校

樹栽地ハ校地内ヲ以テス

六拾餘種樹四百本

以上ノ各經費ハ總テ有志者ノ寄附金又ハ生徒職員及ヒ役場吏員ノ酬金ヲ以テセリ而シテ樹栽及ヒ

手入方法等ハ各職員ノ注意指導ニ依リ生徒之ニ從事ス

堀松尋常小學校

樹栽地ハ別ニ之ヲ設ケ其反別貳町壹反三畝十七步

黒松、楡、杉、櫟二万九千五百九十六本

經費ハ三拾八年度ニ於テ金貳拾圓村稅ヨリ支出セリ

土田尋常高等小學校

樹栽地反別 百八十四步

松、杉、楡等經費ハ組合費ヨリ金二十五圓ヲ支出セリ

上熊野尋常小學校

樹苗地反別 四反五畝二十二步

杉樹二千八百本

經費ハ校費中ヨリ金貳圓ヲ支出セリ

加茂尋常小學校

植栽地反別 二百十步

樹種楡八百四十本植栽及手入主トシテ男兒生徒ヲ以テナサシム

高濱尋常小學校

植栽地反別 一町步(五ヶ年繼續)

樹種 桑苗二千四百六十八本(一ヶ年中植栽スヘキ數)

經費ハ毎年町費ヲ以テ支出シ植栽及手入方法ハ町會ノ決議ニ依ル

豊後名尋常小學校

樹栽地反別 三反十步

樹種 黒松二千七十本

植栽及手入ハ校下全体ニ賦役シ其人夫ヲ以テ植栽ス

福浦尋常小學校

樹栽地反別 一町一反四畝二十四步

樹種 黒松八千九百六十一本(三ヶ年繼續事業)

經費金六圓七十六錢ハ村費ヨリ支出ス植栽及手入ハ學校兒童及人夫ヲ以テス

堀松尋常小學校

堀松村ニハ同村立堀松尋常小學校樹栽地設置ニ關シ豫テ其必要ヲ感シ三十七年以來戰時ヲ機

トシ之カ計畫ヲナシ學務委員會ノ協議ヲ經テ熱心有志ヲ勸誘シテ土地ヲ寄附セシメ日露戰役

紀念學林地ト命名シ三十八年三月二十八日之カ寄附式ヲ舉行セリ其反別二町一反三畝十七步

ニシテ五ヶ年繼續事業トナシ而シテ樹種及造林方法ハ之ヲ同郡林業巡回教師ニ請囑セリ

一、河合谷村河台谷尋常高等小學校ニ於テハ同校下ハ山間ニアル農家ナルヲ以

テ何レノ教科目ヲ教授スルニモ其教材ヲ農業ニ採リ之ニ要スル實物摸型標本

圖書等經費ノ許ス限り之ヲ備ヘ實業思想ノ養成ヲ計リ夏季ノ休業又ハ教授ノ

餘暇ヲ以テ兒童ヲ引率シ農作物ノ栽培樹苗ノ播種移植及養蠶飼育ヲ實見セシ

メ又兒童ヲシテ害虫ノ驅除麥奴ノ拔取桑葉ノ摘取等應分ノ家業ニ從事セシメ

タリ

尋常科ニ於テハ三十八年四月ヨリ手工科高等科第三、四學年ニ於テハ三十七年

四月ヨリ農業科ヲ加設セリ

實業補習學校ハ施設セサルモ夜學ハ學校長ノ監督指揮ニ依リ冬期間之ヲ開設

シ尋常科第三、四學年ノ程度ヲ以テ修身、農業、算術ノ三科目ヲ毎週十二時間宛

教授セリ

一、南大海村外一ヶ村學校組合八野尋常小學校ニテハ各教科目ヲ實業ニ聯絡教授

シ實業思想ノ養成ニ努メツ、アリ生徒ノ幾分ハ實業ノ重スヘキヲ了解シタリ

又三十八年五月ヨリ手工科ヲ加設シ居ルモ日淺キヲ以テ充分ナル成績ヲ見ル

能ハサリキ

實業補習學校ノ設置ナキモ三十七年二月實業補習學會ヲ組織シ農家繁忙ノ季

節ヲ除キ一週ニ二回午後ヨリ實業ノ教授ヲナシツ、アリ其成績良好ナリ

一、同組合北川尻尋常高等小學校ニテハ校下各字ニ於テ螟虫發生シタルヲ以テ授

業後又ハ日曜日及ヒ夏季休業中上級生ニ之カ驅除ヲ獎勵シ其他實業ノ補助ヲナサシム

尋常科及高等科第一、二學年ニ手工科ヲ加設セリ

夜學ハ冬季ニ開設セシカ三十六年ヨリ農業ノ一科ヲ加ヘ實業思想ノ養成ニ努メタリ

一、同組合紺屋町尋常小學校ニテハ三十八年五月以來手工科ヲ加設セリ

夜學ハ冬季ニ於テ開設シ實業ノ科目ヲ加ヘタリ

一、中莊村中莊尋常小學校ニ於テハ何レノ教科目ヲ授クルニモ努メテ材料ヲ實業方面ニ採リ之ニ要スル實物模型標本圖畫等ハ漸次完備ヲ計リツ、アリ夏季休業又ハ授業ノ餘暇ヲ以テ生徒ニ草取等實業ノ補助ヲ爲サシムルニ生徒モ之ヲ厭忌スルノ風ナシ

三十八年四月ヨリ手工科ヲ加設セリ

夜學ニハ三十八年ヨリ農業科ヲ加ヘタリ

一、北莊村北莊尋常小學校ニテハ教授上材料ヲ實業ニ採リ實業思想ノ養成ニ努メタリ

手工科ハ加設實施セリ

一、末森村末森尋常高等小學校ニ於テハ實物模型等ハ可及的材料ヲ實業方面ニ採リ以テ實業思想ノ養成ニ努メタリ且ツ兒童ニ對シ實業ノ補助ヲ獎勵セリ  
夜學ハ三十八年ヨリ一層改善發達ニ努メタリ

一、柏崎村柏崎尋常小學校ニテハ兒童ニ害虫驅除及農業ノ補助ヲナスコトヲ獎勵セ

一、樋川村樋川尋常高等小學校ニテハ兒童各自家庭ニアリテ家業ノ補助ヲ獎勵シ尋常科ニハ手工科ヲ高等科第三、四學年ニハ農業科ヲ三十八年五月ヨリ加設シタリ

夜學ヲ改善シテ實業補習學校トスル計畫ヲナセリ

一、志雄村志雄尋常高等小學校ニテハ夜學ハ子浦青年會ノ事業トシテ毎年冬季ニ開設セシヲ三十八年ヨリ改善シ農業科ヲモ加設シタリ

一、北森雄村針山、散田兩尋常小學校ニテハ手工科ヲ加設シ教材ヲ實業ニ採リ夜學ハ各字毎ニ開設シ尙ホ農業科ヲモ加ヘタリ又向瀬、所司原兩尋常小學校モ同様ノ施設ヲナセリ

- 一、南邑知村南邑知尋常高等小學校ニテハ尋常科及ヒ高等科第一、二學年ニ手工科ヲ同第三、四學年ニ農業科ヲ加設セリ
- 一、北邑知村菅池、飯山、神子原各尋常小學校ニテハ各教科目教授ノ際ハ教材ヲ實業ニ採リ實物模型標本圖画等ヲ示シ尙ホ教授ノ餘暇ニハ兒童ヲシテ實業ノ補助ヲナサシメ螟虫驅除ノ如キハ大ニ利益ヲ得タリ夜學ハ大凡校下各字ニ於テ冬季間之ヲ開設シ専ラ實用的ニ教授ヲナセリ
- 一、北邑知高等小學校ニテハ農家多忙ノ時又ハ害虫發生ノ場合ニハ兒童ヲシテ驅除ノ補助ヲナサシムル等實業教育ニ力ヲ濫キタリ
- 高等科第三、四學年ニハ農業科ヲ加設シタリ
- 一、中邑知村中邑知尋常小學校ニテハ手工科ヲ加設シ教材ヲ實業ニ採リ冬季間ハ夜學ヲ開設シ實業教育ノ發達ニ努メタリ
- 一、若部村若部尋常小學校モ又中邑知尋常小學校ニ同シ
- 一、富永村富永尋常小學校ニテハ各學科教授ノ際注意スヘキ事項ヲ調査シ實業ニ關スル材料ヲ集メ兒童ニ教授シ實業思想ノ養成ニ力メタリ
- 手工科ハ三十八年度ノ初メヨリ加設セリ

夜學ニハ農業科ヲ加ヘ實業教育ヲ主トセリ

- 一、粟ノ保村粟ノ保尋常小學校ニテハ各教科目ヲ教授スルニ當リ其教材ヲ實業ニ採リ尙ホ公休日又ハ教授ノ餘暇ヲ利用シテ實業ノ補助ヲナサシメタリ
- 手工科ハ三十八年ヨリ設ケタリ
- 實業補習學校ハ羽咋町等ノ組合ヲ以テ設置セリ夜學ハ數年前ヨリ農業科ヲ加ヘ實施セリ

一、羽咋町外一ヶ村學校組合羽咋尋常小學校ニテハ實物模型標本圖書ヲ設備シ手工科ヲ加設セリ

夜學ハ羽咋壯年講話會ニ於テ開設シ毎年當校職員之レカ教授ヲナシ主トシテ實業思想ノ養成ニ努メタリ

- 一、羽咋町外五ヶ村學校組合羽咋高等小學校ニテハ理科細目中實業思想養成ノ項ヲ挿入シ國語教授中ニ於テ實物模型等ヲ示シテ實業ノ養成ヲ計レリ
- 男一、二學年ニハ手工科三、四學年ニハ農業科ヲ加設セリ
- 同組合連合ニテ實業補習學校ヲ組織セリ

一、越路野村柳田、千路兩尋常小學校ニテハ各教科目中實業ニ關スル事項ヲ調査シ

之ヲ教授細目中ニ殊記シ實業思想ノ養成ニ資セリ  
手工科ハ三十八年ニ於ケル學年ノ始ヨリ開設セリ

夜學ハ毎年冬季ニ開設シ柳田ハ農業科千路ハ水産科ヲ加ヘ實業的教授ヲナセリ

一、一ノ宮村一ノ宮尋常小學校ニテハ教授用諸材料ハナルヘク之ヲ實業方面ニ採リ尙ホ休日ノ如キハ力メテ家業ノ補助ヲナスヘク獎勵ヲナセリ

手工科ハ三十八年ノ學年ノ始メヨリ設ケタリ  
夜學ハ更ニ農業科ヲ加ヘ冬季間開設セリ

二、上甘田村上甘田尋常小學校ニテハ各教科目中實業ニ關スル事項ヲ調査教授シ尙ホ兒童ニ家庭ニ於ケル實業ノ補助ヲ獎勵セリ

手工科ハ三十八年四月ヨリ開設セリ  
夜學ハ校下各字冬季間ニ開設シ農業科ヲ加ヘ教授セリ

一、中甘田村中甘田尋常小學校ニテハ教材ヲ調査シ標本繪画ヲ備ヘ實業思想ノ養成ヲ努メ公休日又ハ授業後ニ於テ各自家業ノ補助ニ從事スヘキコトヲ獎勵セリ

手工科ハ三十八年五月ヨリ開設セリ

夜學ハ農業科ヲ加ヘ冬季間各字毎ニ開設セリ

一、下甘田村善誘、知切兩尋常小學校ニテハ各科ノ教授ハ可成其材料ヲ實業ニ採ルノ方針ヲ定メ兒童ヲシテ公休日及教授ノ餘暇ニハ家庭實業ノ補助ニ從事セシム

三十八年四月ヨリ手工科ヲ開設セリ

夜學ハ冬季間各字毎ニ開設シ主トシテ實業的教育ヲ施セリ

一、加茂村加茂尋常小學校ニテハ兒童ニ對シ朝夕家業ノ補助ヲ獎勵シ其行爲顯著ナル者アルトキハ全級兒童ニ發表シテ模範ヲ示セリ

三十八年四月ヨリ手工科ヲ開設シタリ

夜學ハ毎年冬季間開設シ特ニ農業科ヲ加ヘ實業思想ノ養成ニ努メタリ

一、高濱町高濱尋常小學校ニテハ各教科目ノ教材ヲ實業方面ニ採リ公休日教授ノ餘暇ニハ實業ノ補助ニ從事セシメタリ

三十八年四月ヨリ手工科ヲ開設シタリ

一、高濱町外六ヶ村學校組合高濱高等小學校ニテハ一、二學年ニハ手工科ヲ三、四



學年ニハ農業科ヲ加設セリ

實業補習學校ハ常組合ニテ設立セリ

一、志加浦村町、百浦兩尋常小學校ニテハ各教科目中實業ニ連絡スル材料ヲ調査シ教授細目中ニ記入シ教授ニ當リ實物標本模型ヲ示シ教授ヲナシ專ラ實業思想ノ養成ニ努メタリ

手工科ハ三十八年ノ學年初メヨリ加設セリ

一、堀松村堀松尋常小學校ニテハ三十八年學年初メヨリ手工科ヲ加設シ又夜學ハ農業科ヲ加ヘ實業的教授ヲナセリ

一、東土田、西土田兩村組合土田尋常高等小學校ニテハ各教科目中ヨリ實業的材料ヲ調査シ以テ教授シ休日又ハ教授ノ餘暇ヲ以テ實業ノ補助ニ從事スヘキヲ力メタリ尋常科ニハ手工科高等三、四學年ニハ農業科ヲ加設シ夜學ハ每年冬季間開設セリ

一、上熊野村上熊野尋常小學校ニテハ手工科ハ三十八年學年初ヨリ加設シ夜學ハ每年冬季間開設セリ

一、熊野村豊後名、草木兩尋常小學校ニテハ手工科ヲ加設シ夜學ハ校下字中山ニ於

テ各期間開設セリ

一、福浦村福浦尋常小學校ニテハ手工科ヲ加設教授セリ

一、富來村富來尋常小學校ニテハ手工科ヲ加設教授シ螟虫發生ノ際ニハ生徒ヲシテ公休日又ハ教授ノ餘暇ヲ以テ卵塊ヲ採集セシメタリ

一、富來村外七ヶ村學校組合富來高等小學校ニテハ一、二學年ニ手工科ヲ設ケ三、四學年ニ農業科ヲ加設シタリ

害虫驅除補助ハ尋常科ト同様施行セリ

一、稗造村江添、入釜兩尋常小學校ニテハ各教科中實業ニ關聯スル事項ヲ調査教授シ公休日又ハ教授ノ餘暇ニハ分ニ應シテ家事ノ助力ヲナサシメ居レリ手工科ハ三十八年ノ學年初メヨリ加設シ校下字貝田ノ夜學ハ農業ノ講話ヲ加ヘ實用的改善ヲ計レリ

一、鉦打村鉦打尋常高等小學校ニテハ各教科目中實業ニ適スル事項ヲ調査シ實業思想ノ養成ニ努メタリ

尋常科及ヒ高等一、二學年ニ手工科ヲ高等第三、四學年ニ農業科ヲ加設セリ夜學ハ每年冬季間之ヲ開設シ農業科ヲ加ヘ教授セリ

學校長ハ學校附近ニ於テ畑地ヲ借入レ自ラ耕耘ニ從事シ蔬菜栽培ヲ研究シ適宜ノ時期ニ於テ其試作ノ狀況ヲ兒童ニ講話シ又種子ヲ東京地方ヨリ取り寄セ高等第三、四學年生ニ頒與シ實驗栽培セシメ時々其狀況ヲ報セシメ以テ大ニ實業思想ノ養成ニ努力セリ

一、東増穂村東増穂尋常小學校ニテハ各教科目教授ノ際ハ實業上ノ教授ヲナシ尙ホ休日等ニ於テハ兒童ニ家庭實業ノ補助ヲナスヘキ旨ヲ獎勵セリ

一、西増穂村酒見、大福寺兩尋常小學校ニテハ各教科目教授ニ當リテハ教材ヲ實業方面ニ採リ又手工科ハ三十八年四月ヨリ加設シ夜學ハ農業科ヲ加ヘ冬期間之ヲ開設セリ

一、西海村西海尋常小學校ニテハ各教科目ヲ教授スルニハ可成材料ヲ實業ニ求メ之ニ要スル實物模型標本圖書等ノ蒐集ニ努メタリ

手工科ハ三十八年ノ學年初メヨリ加設シ夜學ハ三十八年度ヨリ改善シ水産農業ノ二科ヲ増加教授セリ

一、西浦村西浦尋常小學校ニテハ各教科教授ノ際實業ニ關聯スル事項ハ必ス材料

ヲ實業ニ採リ教授セリ

手工科ハ三十八年學年始メヨリ加設シ實業補習學校ハ從來ノ夜學ヲ改善シテ設置セリ

戰時紀念文庫ヲ設立シタルモノ左ノ如シ

一、北川尻尋常高等小學校ノ一部ニ紀念文庫ヲ設立シ教授ノ妨害トナラサル限リ

一、校下父兄ハ校長ノ許可ヲ得テ隨時閱覽スルコトヲ得セシメタリ

經費ノ支出ハ各教員毎月々俸二百分ノ一宛ヲ釀出シ尙ホ校下父兄有志ヨリノ寄附金ヲ以テセリ

一、中邑知尋常小學校ニ於テモ有志者ノ釀金ヲ以テ紀念文庫ノ設置ヲ計畫セリ

一、高濱高等小學校ニテハ父兄ヨリ寄附セシ金拾圓ヲ基礎トシテ文庫ヲ設立スルコト、ナシ書籍四十八冊ヲ購求シタリ

一、羽咋高等小學校ニテハ卒業生及ヒ職員ノ寄附金ヲ以テ兒童ニ適切ナル書籍五十冊ヲ購求シ學校内ノ一室ヲ縱覽所ニ充テ高等科第三、四學年ノ兒童ハ終業後約一時間卒業ノ男女生ハ終業後一時間ノ間ニ於テ職員監督ノ下ニ於テ隨意閱覽セシメタリ

一、基本財産ヲ蓄積シタル學校左ノ如シ

若部尋常小學校

蓄積方法 村内有志者ノ寄附金ヲ以テス  
現在金高 二十五圓(三十八年五月現在)

上甘田尋常小學校

蓄積方法 村ノ收支決算殘金及ヒ臨時收入及ヒ村費ヨリ若干金ヲ支出ス  
現在金高 二十六圓四十三錢二厘

鹿島郡

實業補習學校ノ設立ヲナシタルモノ左ノ如シ

一、餘喜村ニテハ從來開設セル夜學ヲ改善シ農業補習學校トセリ

一、鹿島路尋常小學校附設トシテ實業補習學校ヲ設置シ村會ノ決議ヲ以テ教員ノ手當并ニ雜費ヲ支出スルコト、セリ

一、金丸村ニテ數年來ノ開設ニ係ル夜學ヲ農業補習學校ニ改善スルコト、シ三十八年度ニ於テ村會ノ決議ヲ以テ金六拾圓ノ支出ヲナシ尋常小學校ニ附設セリ

一、御祖村ニテハ農業補習學校設立經費トシテ三十八年度ニ於テ村會ノ決議ヲ以テ金四拾四圓五拾錢ノ支出ヲナセリ

一、久江村ニテハ從來開設ノ青年夜學會ヲ農業補習學校ニ改善セリ

一、右ノ外補習學校設立認可ヲ稟申セシハ左ノ如シ

越路村、南大香村、崎山村、石崎村、相馬村、

豐田村、中島村、

戰時紀念文庫ヲ設置セルモノ左ノ如シ

一、鳥屋村ニハ文庫設置ノ爲メ既ニ金數十圓ノ寄贈ヲ受ケ尙ホ書籍等ノ寄附ヲ勸誘シ居レリ

一、矢田郷村小學校内ニ文庫ヲ設置シ三十八年現在圖書七十七部冊數三百五十八冊ヲ購入シ閱覽日時ハ毎日午前八時ヨリ午後五時迄トシ年中開館セリ經費ハ主トシテ村内有志者ノ寄附金ヲ以テセリ

夜學ノ設置ヲ爲シタル狀況左ノ如シ

一、豊川村字河崎區ハ從來女子教育ノ最モ振ハサリシ所ナリシカ開戦以來同區出征軍人ニ對シ往復ノ通信ヲナスニ當リ妻女ノ無筆ナルカ爲メ常ニ他人ニ代書

ヲ依頼シ遺憾ナカラ意中ノ細事迄モ通信スル能ハサルヲ悔ヒ夫レヨリ子女ノ夜學ヲ開設セシコトヲ申出テタルヲ以テ直チニ區内有志會合シ女子夜學會ノ事ニ決定シ三十八年二月二十一日ヲ以テ開設シタリ當時生徒三十三人アリテ内五十四歳ノ者一人四十八歳ノモノ一人三十歳前後ノ者四人アリ何レモ既婚者ニシテ目ニ一丁字ヲ解セサルノモナラス未タ針ヲサヘ手ニシタル事ナキ者ニシテ先ツ最初仮名ヲ教授シ衣服ノ縫ヒ方ヲ教ヘツ、アリシヲ漸次進歩シ益々興味ヲ起シ其熱心實ニ賞スヘキ程ナリト茲ニ夜學會會則ノ要領ヲ記ス

一、毎年十一月一日ヨリ翌年三月三十一日迄毎夜開會シ四月一日ヨリ十月三十日迄ハ毎月十日二十日三十日(同地農家休業日)ノ午後一時ヨリ開設スル事

一、一年通シテ出席セル者ヲ本科生トナシ農家ノ休業日ノミニ出席スル者ヲ別科生トナス

一、學科目ハ修身、國語、珠算、裁縫、作法トス

一、本科生ハ年齢十歳以上十五歳以下別科生ハ十歳以上トス

戰時紀念學校基本財産ヲ増殖シタルモノ左ノ如シ

一、七尾町ニテハ校下有志者相謀リ旅順陥落ニ當リ祝勝會等ノ資費ヲ節シテ各自醜金ヲナシ總額金千參百餘圓ヲ紀念ノ爲メ同町立小學校ニ寄附シ學校基本財産トシ爾后戰勝ノ機會アル毎ニ更ラニ寄附金ヲ募リ漸次増殖ヲ計ルコト、セ

リ

- 一、御祖村ニテハ戰役紀念トシテ同町立小學校ニ基本財産ヲ作ルコト、シ金貳百圓ヲ募集セリ
- 一、鳥屋村ニテハ同町立小學校職員並ニ生徒ノ寄附金ヲ以テ第一回國庫債券額面五拾圓ヲ應募シ之ヲ學校基本財産トナシ尙ホ前記ノ方法ヲ以テ第四回發行ノ國債額面貳拾五圓ヲ應募セリ
- 一、高階村ニテハ同町立小學校高等科生徒ノ授業料ヲ以テ學校基本財産トナシ三十八年五月ニ於テ既ニ百貳拾餘圓ニ達シ國庫債券ニ應募セリ
- 一、豊川村ニテハ同村小學校齋校舎地八畝十五歩ヲ卸付ケ小作米一石二斗ヲ以テ學校基本財産ヲ作り其他村費過剩金ヲ之ニ編入シ三十八年五月現在金貳拾六圓餘ニ達シ郵便貯金トシテ利殖ヲ計レリ
- 一、中島村立小學校ニテハ既ニ壹百圓ノ基本財産ヲ有シ今回戰役ニ際シ紀念トシテ増殖ヲ計ルコト、ナシ其方法ハ婚姻、出産、家屋ノ建築、地所ノ賣買等ニ際シ相當ノ寄附ヲ需メ尙ホ村稅ヨリ若干ノ支出ヲナスコト、セリ
- 一、熊本村立小學校ニテハ學校ニ於ケル祝日等儀式ニ要スル費用ヲ節シ基本財産

ノ基礎ヲ作リ金五圓ヲ節シ以テ郵便貯金トナセリ  
一、本郡ニ於テハ左ノ如ク學林設置準則ヲ定メテ各町村ニ示シ之カ實施ヲ獎勵セリ

學林設置準則

學林ハ日露戰役ノ紀念トシテ設ケ學校經濟ノ基礎ヲ作ルニアル事  
學林ハ學校附屬地又ハ町村ニ於テ購買セル山林原野若クハ町村區ノ共有地ヲ以テ之ニ充ツル事

植樹ノ種類ハ町村長ニ於テ學校長學務委員及林業上ノ智識經驗ヲ有スル實業家又ハ郡ノ林業巡回教師ノ意見ヲ聞キ之ヲ選定スル事

樹栽日ハ町村長ニ於テ學校長ノ意見ヲ聞キ祝日大祭日若クハ其ノ學校ニ緣故アル日ノ中適當ナル季節ヲ選ミ之ヲ定ムル事

學校長教員ハ樹栽日ノ前後ニ於テ適宜樹木ノ性質栽培ノ方法及森林ノ効用等ヲ兒童ニ示ス事

本郡ニ於ケル紀念殖林ノ實況左ノ如シ

一、金丸尋常小學校ニテハ三十七年ニ於テ官有地壹反貳畝貳拾四步ヲ金參拾圓ニ

テ拂下ヲ受ケ三十八年春季ニ至リ開墾ヲ了ヘテ桑苗ヲ植栽シテ紀念林トナセリ

一、鳥屋村尋常高等小學校ニテハ校下有志者及卒業生ノ寄附金ヲ以テ桐苗ヲ購入シ之ヲ新入學生徒ニ配與シ各自ニ植栽セシメ成木ノ後之ヲ賣却シ學校基本財

産トナスコト、セリ

一、江泊尋常高等小學校ニテハ植栽地反別四百步ヲ設ケ樹種ハ桧落葉松ヲ擇ヒ桧

二百本落葉松四百本ヲ植付ケ之カ費用ハ有志者ノ寄附金ヲ以テセリ

一、庵原尋常小學校ニテハ植栽地トシテ六十四坪ヲ設置シ桐及杉苗百本ヲ植付ケ之カ手入ハ主トシテ年長生徒ヲシテ從事セシメ費用ヲ要スル時ハ村費ヲ以テ支辨セリ

一、中島尋常高等小學校ニテハ植栽地反別壹町步ヲ設ケ三十八年度ニ於テ杉五百本ヲ植付ケ經費ハ村稅ヨリ支出セリ

一、向田尋常小學校ニテハ校下字鳥別所ニ於テ參畝拾步ノ地ヲ撰定シ杉苗三百三拾九本ヲ植栽シ經費ハ同區費ヲ以テ支出シ夫役ハ必要ニ應シ各戸順次出役シ植栽手入等單簡ナル業務ハ生徒ヲシテ從役セシメタリ

實業思想養成ノ爲メ何レノ教科目ヲ問ハスカメテ材料ヲ實業ニ採リ休日ニハ生徒ヲシテ實業ノ補助ニ從事セシメ稻ノ植付害虫ノ驅除并ニ稻刈ノ助手ヲナサシメタリ其校名左ノ如シ

- 久手川校 下黒川校 三井校 河原田校 南志見校 東山校
- 粟藏校 金藏校 敷戸校 五郎左衛門分校 藤ノ瀬校 甲校
- 曾良校 鹿波校 比良校 中井校 穴水校 門前校
- 楠比校

手工科ノ加設ハ尋常科各學年ニハ一週一時間高等科一、二學年ニハ二時間三四學年ニハ三時間ノ教授ヲナセリ左ニ其校名ヲ掲ク

- 輪島尋常高等小學校 久手川尋常小學校 西大野尋常小學校 谷内尋常小學校
- 東大屋尋常小學校 西大屋尋常小學校 下黒川尋常小學校 繩文尋常小學校
- 別所谷尋常小學校 瀧又尋常小學校 空熊尋常小學校 三井尋常高等小學校
- 河原田尋常小學校 熊野尋常小學校 南志見尋常高等小學校 名舟尋常小學校
- 東印内尋常小學校 東山尋常小學校 栗藏尋常高等小學校 寺山尋常小學校
- 東尋常小學校 伏戸尋常小學校 金藏尋常小學校 敷戸尋常小學校
- 時國尋常小學校 柳田尋常高等小學校 小間生尋常小學校 鴉川尋常小學校

- 當日尋常小學校 黒川尋常小學校 上町尋常小學校 久田尋常小學校
- 五郎左衛門尋常小學校 藤ノ瀬尋常小學校 鶴町尋常小學校 中齊尋常小學校
- 宇出津尋常高等小學校 藤波尋常小學校 波並尋常小學校 矢波尋常小學校
- 鴉川尋常高等小學校 猪手尋常小學校 瑞穂尋常小學校 宮地尋常小學校
- 古君尋常小學校 沖波尋常小學校 甲尋常小學校 曾良尋常小學校
- 鹿波尋常小學校 比良尋常小學校 岩車尋常小學校 伊八留尋常小學校
- 中居尋常小學校 穴水尋常高等小學校 志ヶ浦尋常小學校 鹿島尋常小學校
- 下唐川尋常小學校 宇留地尋常小學校 内保尋常小學校 別所尋常小學校
- 浦上尋常小學校 門前尋常小學校 深田尋常小學校 楠比高等小學校
- 諸岡尋常小學校 黒島尋常小學校 是清尋常小學校 大切尋常小學校
- 馬場尋常小學校 馬渡尋常小學校 劔地尋常小學校 劔地高等小學校
- 七浦尋常高等小學校 西保尋常小學校 合鹿尋常小學校

實業補習學校及ヒ夜學ヲ設置セシ校名左ノ如シ

- 輪島男兒尋常高等小學校 西大野尋常小學校 谷内尋常小學校
- 東大屋尋常小學校 繩又尋常小學校 別所谷尋常小學校
- 瀧又尋常小學校 空熊尋常小學校 三井尋常高等小學校
- 河原田尋常小學校 南志見尋常高等小學校 名舟尋常小學校
- 栗藏尋常高等小學校 寺山尋常小學校 東尋常高等小學校
- 伏戸尋常高等小學校 金藏尋常小學校 敷戸尋常小學校

- 時國尋常小學校 柳田尋常高等小學校 小間生尋常小學校
- 上町尋常小學校 久田尋常小學校 五郎左衛門尋常小學校
- 藤瀬尋常小學校 宇出津尋常高等小學校 比良尋常小學校
- 岩車尋常小學校 伊久留尋常小學校 穴水尋常高等小學校
- 内保尋常小學校 浦上尋常小學校 門前尋常小學校
- 深田尋常小學校 七浦尋常高等小學校 合鹿尋常小學校

本郡ニ於ケル學校紀念事業ノ實況左ノ如シ

一、輪嶋男女兒尋常高等小學校ニテハ日本國內物産蒐集ノ爲メ校下ヨリ寄附ノ物件數百点ヲ集メタリ

- 一、西大野尋常小學校ニテハ紀念學林ヲ設置セリ
- 一、谷内尋常小學校ニテハ學林三反三畝十歩ヲ設置セリ
- 一、三井尋常高等小學校ニテハ學林五町歩ヲ設置シ第一回樹栽ヲナセリ
- 一、名舟尋常小學校ニテハ學林一町歩ヲ設置セリ
- 一、敷戸尋常小學校ニテハ淡水魚發殖事業ヲ設置セリ
- 一、時國尋常小學校ニテハ敷戸校ニ等シク淡水魚發殖事業ヲ計畫セリ
- 一、藤瀬、鶴町兩尋常小學校ニテハ學林三反一畝歩ヲ設ケ樹栽セリ

- 一、中齊尋常小學校ニテハ學林二反歩ヲ設ケ樹栽セリ
- 一、藤波尋常小學校ニテハ學林一町歩ヲ設ケ樹栽セリ
- 一、鶴川尋常高等小學校ニテハ學林一町四反一畝二十歩ヲ設ケ樹栽セリ
- 一、沖波尋常小學校ニテハ學林五反歩ノ設置ヲ設計セリ
- 一、鹿波尋常小學校ニテハ學林六畝二十歩ヲ設置セリ
- 一、中居尋常高等小學校ニテハ學林四町二反二畝十歩ヲ設置セリ
- 一、穴水尋常高等小學校ニテハ學林一町六反八畝歩ヲ設置シ樹栽ヲナセリ
- 一、鹿嶋尋常小學校ニテハ學林貳畝十歩ヲ設置セリ
- 一、内保尋常小學校ニテハ學林二反三畝三歩ヲ設置セリ
- 一、門前尋常小學校ニテハ學林四反八畝七歩ヲ設置シ尙増設ノ計畫中ナリ
- 一、深田尋常小學校ニテハ學林一反三畝十歩ヲ設置シ樹栽セリ
- 一、櫛比高等小學校ニテハ學林九反三畝十歩ヲ設置シ樹栽セリ
- 一、諸岡尋常小學校ニテハ學林一反一畝二十九歩ヲ設置セリ
- 一、黒島尋常小學校ニテハ學林一反歩ヲ設置セリ
- 一、馬渡尋常小學校ニテハ學林六畝歩ヲ設置シ樹栽ヲナセリ

一、西保尋常小學校ニテハ學林三反歩ヲ設置セリ  
 右ノ外學林計畫中ノモノ貳拾貳校アリ何レモ卅八年度中ニハ着手ノ豫定ナリ  
 本郡各小學校基本財産蓄積ノ大体ハ村稅歲出剩餘金並ニ兒童ヨリ恤兵金トシテ  
 献納セントスルモノヲ轉シテ國庫債券ニ應募セシメ以テ學校基本金トセシモノ  
 、類ニシテ三十八年五月現在ニ於ケル各學校金額左ノ如シ

校名	金額	校名	金額
劍地尋常小學校	一一八、六五〇	劍地高等小學校	五四、〇〇〇
門前尋常小學校	五〇、〇〇〇	輪島男兒尋常高等小學校	六二、五三〇
輪島女兒尋常高等小學校	一一〇、二四七	南志見尋常高等小學校	五、〇〇〇
名舟尋常小學校	五、〇〇〇	東印内尋常小學校	五、〇〇〇
東山尋常小學校	五、〇〇〇	穴水尋常高等小學校	二五、〇〇〇
伊久留尋常小學校	一〇、〇〇〇	計十一校	四五〇、四二七

以上基本金ノ保管ハ國庫債券又ハ郵便貯金トナシ町村長之ヲ管理ス  
 本郡學校職員ノ戰時紀念作業トシテ製作セルモノ左ノ如シ

八野尋常小學校

手工科標本 學園ノ設置

紺谷町尋常小學校

手工科標本

中莊尋常小學校

裁縫用掛圖 十六枚

末森尋常高等小學校

新領地ヲ加ヘタル日本地圖

樋川尋常小學校

實業教育標本 村地圖 村教育史

志雄尋常高等小學校

手工科標本 尋常第二學年用修身掛圖

羽咋尋常高等小學校

教授用地圖及ヒ裁縫用圖 學校植物園ノ設置

善誘尋常小學校



粘土製日本、朝鮮、清國、露西亞ノ模型地圖

知切尋常小學校

東洋全局地圖 但我軍ノ占領セシ都會及ヒ之ニ參加セシ部隊名記入ノモノ

高濱尋常小學校

裁縫掛圖 鳥類剝製 數十点

百浦尋常小學校

村内出征軍人ノ寫真額 (各傳記入)

土田尋常高等小學校

日本並ニ外國地圖

大福寺尋常小學校

地圖及ヒ教授用掛圖 鑲物標本

戰時紀念トシテ文庫ヲ擴張又ハ設置シタルモノ左ノ如シ

一、備比村立高等小學校卒業生同窓會ノ設立ニ係ル同志文庫ハ數年前ノ創設ナルカ今回ノ時局ニ際シ之ヲ擴張スルヲトナシ同校敷地ニ續ケル民有地ヲ借受ケ四間四面ノ圖書庫ヲ建立シ長サ二間半巾九尺ノ庇ヲ附設シ閱覽所ニ充テタリ

經費ハ全校下有志者ノ寄附金ヲ以テ充テ三十八年五月現在基本金外參拾圓ニ

シテ其利子ヲ以テ借地料トナスノ計畫ナリ

所有圖書五百部委託圖書二百部ニシテ毎土曜、日曜兩日ニ限り晝間何人ニテモ

無料縱覽セシム

饒石文庫ハ私立財團法人組織ニシテ中橋和之ヲ設立セリ同文庫ハ劔地村控

劔地ノ百四十一番地宅地二百五十二坪倉庫(拾五坪)一棟田地三反九畝並其

他圖書參考品等價格千三百二十八圓六十錢ヲ寄附シ設立セリ

三十八年五月現在ノ圖書數ハ和漢洋書籍二千八十五冊百八帳參考品三十四点

ナリ

珠洲郡

本郡學校職員戰時紀念ノ作業ハ左ノ如シ

- 一、正院尋常高等小學校ニテハ學地内ニ學校園ヲ設ケ教科書中ノ植物ヲ栽培セリ
- 一、直尋常小學校職員ハ校舍ノ周圍ニ杉苗二百二十本ヲ植栽セリ
- 一、東若山尋常小學校職員ハ農事教育上必要ナル各種ノ統計表及比較圖ヲ調製セリ

- 一、大坊尋常小學校職員ハ校庭内へ櫻五本梅二本梨一本ヲ植栽セリ
  - 一、上黒丸尋常小學校職員ハ校庭内へ櫻樹七本ヲ植栽セリ
  - 一、飯田尋常高等小學校職員ハ校舍ノ附近ニ農業實習地及花草園ヲ設ケ野菜穀物類ヲ植栽セリ
  - 一、松波尋常高等小學校職員ハ校舍ノ周圍ニ杉苗百本ヲ植付ケ校下出征軍人及戰死者ノ寫眞ヲ蒐集シ後世ノ紀念トナセリ
  - 一、直脇尋常小學校職員ハ戰時紀念文庫ヲ校内ニ設ケタリ
  - 一、上戸尋常小學校職員ハ校庭内ニ學校園ヲ設ケ果樹花卉ヲ植栽セリ
  - 一、賴島尋常小學校職員ハ校庭内ニ學校園ヲ設ケ果樹花卉ヲ植栽セリ
- 戰時紀念事業トシテ珠洲郡小水村ニ於テ山林一町三反二畝十二歩ノ地ヲ無報酬ニテ向五十年(得地上權)借受コトヲキメシメ六千本ヲ植付學校紀念林ヲ新設シ正院村ニ於テハ同村共有山林五丁歩ニ學校植林ヲ造ルコトニ決議セリ
- 各町村各小學校ニ於テハ實物模型圖画ヲ備ヘ以テ兒童ニ於テ實業思想ノ養成ニ資シ且小學校一般ニ手工科ヲ加設實行セリ又農事林業ノ實業教師ヲ聘シ數々講習會ヲ開キ教員自ガテ實業ニ必須ナル智識技能ヲ修養シ尙一面ニ於テ兒童ニ

實業思想ヲ直覺的ニ注入セシメテ爲メ授業後兒童ヲ附近ノ稻田へ引率シ害蟲ノ所在ヲ覺ラシメ及之ヲ驅除セシメテ以テ簡易ナル採卵法ヲ實習セシメタリ

三崎、松波、宮崎ノ三ヶ村ヲ除ク外ノ町村ニ於テハ何レモ實業補習學校費ヲ議決シ既ニ開校セシモノ十四校認可稟請中ノモノ十三校ナリ且町村一般ニ戰後經營ヲ大本ニ實業思想ノ發展ニアリテ自覺シ能ク訓令ノ趣旨ヲ悟了セシメタリ

本郡ニテハ各町村立小學校ニ於テ實物模型圖畫ヲ備ヘ以テ兒童ニ實業思想ノ養成ニ資スルト共ニ宗般各學校ニハ手工科ヲ加設教授セリ

本郡ニ於テ戰時紀念植林ヲ考セシモノ左ノ如シ

飯田尋常高等小學校 植栽地反別

壹町壹反七畝二十八歩	櫟	四千三百二十八本
二種	杉	千四百二十一本
	唐松	千三百八十二本
	赤松	千七百本

本植林地ニ素々郡有植栽摸範林トシテ飯田町共有地ナリシガ今回時局紀念トシテ該町へ返附シ上學校植林トナセシナリ

賴島尋常高等小學校

植栽地反別 壹町步

樹種 黑松三千本

植栽及ヒ手入ハ學校兒童ヲシテ從事セシム本殖林地ニ素ト那有線範林ヲシテ

ノナリ 三崎尋常小學校

植栽地反別 六反六畝貳拾步

樹種 杉、檜、ヒバ、松 合計六百本

樺原尋常小學校

植栽地反別 貳畝步

樹種 杉 百貳拾本

植栽及ヒ手入ハ學校兒童ヲシテ從事セシム

馬渡尋常小學校

植栽地反別 壹反七畝貳拾五步

樹種 杉 貳百本 檜 參百本 唐松 百本

植栽及ヒ手入ハ學校兒童ヲシテ從事セシム

戰時紀念學校基本財産蓄積ノ計画ヲナセシモノ左ノ如シ

一、鶴島尋常小學校ニテハ校下ハ農業ヲ主トスル所ナルヲ以テ農作物ノ收穫ニ際

シ幾分ノ寄附ヲナシ之ヲ賣却シテ積立ヲナシ基本金ヲ作ルコト、セリ

二、蛸島尋常高等小學校ニテハ村教育費ノ剩餘金及ヒ篤志者ノ寄附金品卒業生ノ

謝恩金其他漁業家ニシテ一時ニ巨額ノ漁獲物ノアリシ時寄附ヲ求メ以テ基本

金トナシ其金額ハ郵便貯金トシテ村長之ヲ保管スルコト、セリ

一、黒峯村尋常小學校ニテハ卒業生及有志者ノ寄附金并ニ村内冠婚葬祭ノ際ニ於

ケル寄附金等ヲ以テ學校基本財産ヲ作成スルコト、ナシ其金額ハ郵便貯金又

ハ銀行預入ニ付スルコト、ナセリ

### 第八節 教育ニ關スル美談

江沼郡 菰屋村

吉田 重次郎

右ハ菰屋村ニ於ケル唯一ノ素封家ニシテ常ニ教育上ニ對シ盡力スル所多シ三十  
八年四月其父ヲ亡ヒシトキ自ラ謂ラク國家有事ノ秋ニ當リテハ無用ノ費ヲ節シ

夫有用ノ資ニ充テサルヘカラストナシ慈父ノ終リテ送ルニ當リテ子トシテ其情  
ニ忍ビサル所ナルモ社會ヲシテ其慶ニ依ラシムルコトヲ得ハ亦慰ムルコトアル  
ヘシトシ乃チ葬儀ノ諸費ヲ節約シテ金五拾圓ヲ得以テ之ヲ同村小學校ノ基本財  
産トシテ寄贈シタリ同地方ニ於テ名譽アリ資産アル同人カ卒先此美舉ヲナセシ  
爲メ漸次之ニ倣フノ風アリテ教育上好影響ヲ與ヘタリ

江沼郡三木村字熊坂チノ三十四番地

熊本初次郎

右ハ本郡三木尋常小學校訓導兼校長タリシカ其未タ兵籍ニ身ヲ置キシヲ以テ日  
露交戦ノ事アルヤ三十七年四月十七日第九師團騎兵第九聯隊ニ召サレ三十八年  
二月出征スルヤ生還ノ期シ難キヲ決意シ其嘗テ節シ得タル金券ト修養ニ資シタ  
ル書籍トヲ全村二小學校ニ寄附シ一ハ以テ紀念トシ一ハ以テ永ク同校就學兒童  
ヲシテ其利ヲ稟ケシメンコトヲ望メリ今其品類ヲ左ニ掲ク

日本勸業債券 價額拾八圓五拾錢

師範學科講義錄 代價拾五圓

漆器標本 二個 代價壹圓

右三木尋常小學校

- 農業經濟 作物汎論 作物各論 土壤論
- 肥料論 農産製造 園藝論 山林學
- 養蠶學 畜産學 製糸學 害虫益虫
- 植物生理 植物病理 農業統計學 農業氣象學

此見積價額拾五圓

右熊坂尋常小學校

江沼郡瀬越村二十三ノ百二十八番地寄附

大野順末

右ハ元本郡庄村字加茂ノ産ナリシカ出テ、瀬越村大野九平ノ養子トナリ長スル  
ニ及ヒテ中學ノ科程ヲ卒業シ一年志願兵トナリ三等主計ニ任セラレ豫備役仰付  
ラレタル後商業上ノ關係アリシカ爲メ北海道ニ本籍ヲ移シテ専ラ商業ニ從事セ  
シカ客年日露交戦ノ事アルヤ第七師團ニ召サレ本年一月戰爭寫真帳各貳冊ヲ瀬  
越、加茂兩尋常小學校ニ寄贈シテ永ク紀念トナサシム同人ノ妻ハ亦篤志ノ人ナリ  
嘗テ常ニ愛用セル金製ノ指輪ヲ以テ金圓ニ代ヘ海陸ノ恤兵費ノ方ヘ献納ス以テ  
夫妻ノ奉公心ニ富メルノ一端ヲ察スルニ足ル(寫真帳一冊ノ代價一圓宛トス)

江沼郡庄村字庄

多年本村助役トシテ教育上ニ盡瘁シ同村ノ教育ヲシテ其面目ヲ一新セシメタルノ故ヲ以テ褒賞ヲ賜リタルコトアリシ其後倍努メテ倦マズニ教育上有利ト認ムルコトハ之ヲ興サスンハ止マサルノ決心ヲ有セリ字七日市小學校下ノ青年夜學ハ從來萎靡振ハス一時中絶ノ姿ナリシカ客年時局發展ニ際シテ青年ヲシテ風儀ヲ矯正シ學術ヲ研磨セシムルノ動機ハ此時ニアリトシ勸誘獎勵シテ遂ニ之ヲ開設セシムルニ至ラシメ常ニ生徒就業ノ模様ヲ巡視シテ注意ヲ與ヘシカハ生徒數ハ四十人ノ多キニ達シ其成績ノ見ルヘキモノアリタリ又七日市小學校ニ附設セル圖書閱覽所ノ設立ニ關シテハ間接ニ援護ヲ加ヘ略其緒ニ就クニ至レリ

江沼郡庄村字庄

北市宇三郎

右ハ常ニ弟妹ヲ率テ農業ニ從事スルノ餘暇ヲ以テ學術ノ修養ニ勤メ日モ亦足ラサルノ狀アリ村里ヲ以テ青年ノ好摸範トス全村助役ノ夜學開設ヲ鼓吹スルヤ東奔西走シテ同志ヲ糾合シ風俗ノ改善學術ノ研究ヲ目的トスルノ一團體ヲ組織シ先其方法トシテ夜學ヲ開キ圖書閱覽所ヲ設クルノ議ヲ決シ三十七年十二月ソ

ヲ實行スルニ至レリ圖書閱覽所ハ未タ微々タルヲ免レスト雖厄端緒ヲコ、ニ發スルヲ得タルヲ以テ今後繼續シテ擴張スルニ至ラハ其成績ヲ見ルノ日蓋シ遠キニアラサルヘシ

江沼郡分校村分校リ十九番地

立野 駒吉

右ハ軍籍ニ身ヲ置ケルノ故ヲ以テ客年五月歩兵第七聯隊ノ充員召集ニ應ジ六月出征ノ途ニ上リ旅順方面ノ戰闘ニ參加シ服務中敵彈ニ觸レ大ニ負傷シ後送セラレテ金澤豫備病院ニアリシカ本年六月 皇后陛下ヨリノ恩賜品襯衣及金圓ノ配與ヲ受ケ感激措ク能ハス襯衣ハ永ク捧持シテ餘光ヲ拜スヘクモ金圓ハ空シク浪費シ去ルニ忍ヒス宜シク郷里ノ兒童ヲシテ此恩波ニ分チ浴セシメ以テ忠君愛國ノ恩氣ヲ觸マサンニハト乃チ人身生理圖五幅ニ代ヘ之ヲ分校小學校ニ寄贈シタリ

江沼郡月津村字柴山

田中 傳九郎

右全村學務委員トシテ全區長トシテ常ニ地方教育ノコトニ盡力シ其功勞少カラサルモノアリ柴山尋常小學校ノ屋外体操場ハ狹隘ニシテ其一隅ニ傾斜ノ地アリ

以テ使用ノ便ヲ缺クテ感シ區民ニ諭シテ百三十人ノ夫役ヲ課シ自ラ督勵シテ其  
工ヲ竣ハラシメ又校舍後ナル自己所有ノ畑百六十歩ヲ無料貸與シテ學校園ノ一  
部ヲ設ケシメ且同園ニ植栽スヘキ果樹ヲ贈リテ其事業ヲ裨クル等教育ニ對シテ  
盡力セシ行爲少カラス

河北郡小金村字長屋

河原榮吉

右ハ區長及村會議員タリ幸ニ心ヲ教育上ニ留メ人ニ接スルヤ必ス教育ノ忽ニス  
ヘカラサルヲ説キ大ニ就學ノ勸誘ヲナシ又村會ニ臨ムヤ特ニ教育施設上ニ力ヲ  
致シ又學校職員ニ於テ戰時紀念トシテ植林ノ設置ヲ企圖シ畑地百餘歩ヲ十五ケ  
年間貸與ヲ請フヤ唯々之ヲ諾シ尙ホ必要アラヘ其求ニ應セント答ヘタリト抑モ  
農家ハ土地ヲ愛措スルノ心極メテ深ク尺寸ノ地ト雖厓相爭フテ容易ニ讓ラサル  
ニ氏ヤ百餘歩ノ地ヲ長年月ノ間而カモ無料貸與ヲ諾スルカ如キ是レ尙モ心ヲ教  
育ニ用ユルノ深キニアラスンハ何ソ斯ノ如キヲ得ン

河北郡小原谷村字土子原

浦上仁三郎

同郡同村字土子原

前田庄太郎

浦上ハ區長學務委員ニシテ前田ハ村會議員及學務委員タリ共ニ心ヲ教育上ニ留  
メ土子原小學校標本模型ノ設備ニ盡力シ校下ノ字松根、土子原、曲子原、堀切ノ四字  
ヲ奔走シ金拾圓ノ寄付ヲ爲サシメ又同校長ヨリ紀念園ノ設置ヲ談スルヤ直ニ  
贊成シ斡旋盡力ノ結果遂ニ貳百餘歩ノ柿園ヲ設クルニ至レリト

下田上尋常高等小學校長 津田三郎

日露釁端起リシ以來全校兒童代表者數名ヲ率ヒテ業後金澤豫備病院ニ到リ傷病  
兵士ヲ慰問スルコト數回且同校附近ノ地ハ從來高等小學校設置ノ必要アルモ一  
般人民ノ向學心ニ乏シキタメ其設置ヲ見ルニ至ラサルヲ憂フルコト數年ナリシ  
カ今回ノ時局ヲ機トシ紀念トシテ從來ノ尋常小學校補習科ヲ引直シテ二ケ年ノ  
高等小學校ヲ併置セントシ教育談話會或ハ幻燈會ヲ開キ父兄ノ向學心ヲ喚起シ  
百方盡力ノ結果遂ニ村會ノ決議ヲ得テ其素志ヲ遂スルニ至レリ又本年初夏ニ當  
リ螟卵及蝗ノ驅除ヲ高級生ニ諭シタルニ數日ノ後採集蝗積テ堆ヲナスニ至リレ  
リ其他小坂尋常高等小學校ト共ニ夏期講習會ヲ開催シ教授訓練ノ改良進步ヲ計  
リテ單ニ在勤校ノミナラス附近學校ノ上進ヲ促シツ、アリ

大西重弘

河北郡小坂尋常高等小學校長ニシテ日露戰端起リ宣戰ノ詔勅下ルヤ事体ノ容易ナラスシテ是ヨリ將ニ來ラントスル報道ハ永ク後來ノ歴史トシテ傳フヘキノミナラス現在職員及兒童カ記憶ニ易カラシメントテ生徒控所ニ横長キ白紙ヲ高ク掲ケ一戰闘一大捷ノ公報等至ル毎ニ逐次之ヲ記入繼續スルヲ以テ自然戰爭歴史トナリ又師團司令部ノ所在表或ハ海戰々艦陣形圖其他統計表等ヲ輪換控所ニ掲示シ或ハ初夏螟虫ノ稻葉ニ孵卵セシ者ヲ高級生ニ示シテ數日間採卵センコヲ兒童ニ諭シタルヲ以テ驅除稻葉積テ壹万二千二百葉ノ多キニ達シ或ハ戰時紀念トシテ特ニ標本購入ヲ村長ニ計リ百余圓ノ支出ヲ村會ニテ決議スルノ美果ヲ得或ハ桐苗八十本ヲ學校敷地内ニ植エ更ニ校地外ニ於テ紀念學林ヲ設置セント計畫シ或ハ實業補習學校ノ設置ニ盡力シ村會ノ決議ヲ得テ現ニ稟請手續ヲナシ或ハ二三友僚ト共ニ本縣第一中學校教諭ヲ聘シ同校内ニ於テ夏季休業中三日間植物講習會ヲ開キ郡内多數教員ノ贊同ヲ得出席員八十名ニ達ス全講習中講師ノ採蒐指示セシ草木ハ之ヲ盆栽トシ積テ百余鉢ニ達シ現ニ生徒控所ノ四周ニ列置培養シテ知ラス識ラス兒童ニ其名稱形狀等ヲ教ヘ又時々兒童ニ軍人慰問ノ書狀ヲ作ラシメ戰地ニ發送シ或ハ學童貯金ヲ獎勵シ其他教授訓練ノ研究ニ意ヲ注キ校下教

育ノ爲メ昨年以來數回教育談話會幻燈會獎勵會ヲ開催シ父兄母姉ノ向學心ヲ喚起シ風俗ノ振肅ニ務ムル等其功績見ルヘキモノアリ

山本 敬 虔

河北郡川尻尋常小學校長ニシテ日露干戈ヲ交ユルニ當リ奮勵努力能ク時局ヲ利用シテ直接ニ間接ニ教育ノ効果ヲ完フセントシ教授ニ訓練ニ其他施設事業ニ苦辛畫策屢々父兄懇話會ヲ開催シ學校ト家庭ノ連絡ヲ謀リ以テ教育内容ノ發達ニ留意シ或ハ休業日ヲ期シ通俗談話會ヲ開催シ開戰ノ理由戰爭ノ經過及其狀況忠勇ノ美談國民ノ覺悟等ニ關シ講話説明ヲ與ヘ忠君愛國ノ志操ヲ鼓舞シ勤儉博愛ノ美德ヲ獎勵シ以テ一般智能ノ啓發ヲ努メ特ニ戰後ノ經營トシテ小學校ニ實業補習學校ヲ附設シ日夜東奔西走生徒ノ入學ヲ勸誘シ卅八年六月一日ヨリ開校シテ毎日夜間二時間ノ教授ヲ爲シ以テ實業ニ關スル智識技能ヲ授クルト同時ニ普通教育ノ補習ヲナサシム校下一般大ニ其熱心ニ感シ二十七八歳以下ノ青年輩陸續入學ヲ申出現今生徒數九十八人ノ多キニ及ヒ遂ニ郡内ニ冠タルニ至レリ又別途稍々智識ノ高尚ナル者十二名ヲ一團トシ青年夜學會ヲ組織シ補助教員一名ヲ置キ之レカ教養ニ力ヲ致シ其他校舍内ニ簡易圖書一覽室ヲ設ケ自ラ所藏ノ雜誌

類ヲ寄付シ一面校下ノ有志ニ説キ諸雜誌ノ寄贈若クハ貸與ヲ請ヒ蒐集シテ以テ一般青年輩ノ修養ニ供シ大ニ校下ノ風紀ヲ振肅シ父兄ノ尊信淺カラサリキ要スルニ教育ノ神聖ナルヲ重ンシ晝夜其職務ニ盡瘁シ功績見ルヘキモノアルノミナラス獻身のノ舉動實ニ嘉スヘキモノアリ

羽咋郡堀松村字堀松

- 山林反別一畝一步 向 永 美 秀
- 山林反別一反八畝十步 加 茂 野 喜 平
- 山林反別二反七畝廿七步 小 堀 文 太 郎
- 山林反別五反六畝廿七步 國 田 武 信
- 山林反別六反三畝十一歩 加 茂 野 他 作
- 山林反別一反六畝歩 古 屋 六 松

右者羽咋郡堀松尋常小學校戰時紀念植林地トシテ各頭書ノ地所ヲ寄附セリ

羽咋郡熊野村字豊後名

- 山林反別三反拾歩 植 村 利 隆
- 右者羽咋郡豊後名尋常小學校戰時紀念植林地トシテ頭書ノ地所ヲ寄附シタリ
- 山林反別三反三畝拾歩 大 家 彦 松

羽咋郡上熊野村字小室

同 郡同 村字直海

山林反別一反二畝二拾歩

小 寺 彌 助

右者羽咋郡上熊野尋常小學校戰時紀念植林地トシテ各頭書ノ地所ヲ寄附シタリ

羽咋郡志雄高等小學校 佐々木 楳

右者志雄小學校醫ナリシカ同校兒童ニシテ眼病「トラホーム」患者ノ多キヲ慨シ奮ツテ其治療ヲ引受ケ無料ニテ毎日治療ヲナシ其効果最モ多カリキ

鳳至郡輪嶋町 柳 本 長 平

右者輪嶋小學校學林地トシテ山林反別一反二十歩ヲ寄附シ該學校ノ計畫ヲシテ容易ナラシメタリ

鳳至郡輪嶋町尋常高等小學校 職員一同

右者該校基本財産トテ金拾四圓ヲ寄附セリ

同 郡鶴巢村 龜 井 恭 平

右者鳳ニ植林事業ニ熱心ニシテ同氏所有地所ヲ學校ヘ永代無償ニテ貸與シ學林設置計畫ヲシテ容易ナラシメタリ

同 郡大屋村 森 房 麿

右者神職ニシテ生計餘裕ナキニモ係ラス戰捷紀念トシテ日本人名辭典一部ヲ同



村小學校へ寄附セリ

同 郡南志見村長 大 間 忠 作

右者同村立小學校へ基本財産トシテ金拾圓ヲ寄附セリ

同 郡岩倉村 時 國 甫 太 郎

右者同村小學校淡水養魚場トシテ自己所有ノ溜池ヲ無料貸附セリ

同 郡櫛比村 星 野 友 次 郎

右者門前小學校參考書籍トシテ日露戰爭實記全部ヲ寄附シ修身教授材料ニ資セリ

### 第九節 時局ノ教育上ニ及ホシタル影響

一、修身教授ニ於ケル好材料ヲ得タルコト

一、外國地理學修得上ノ興味ヲ深クシ隨テ其觀念ヲ鞏固ニスルト共ニ世界的思想ヲ發展セシコト

一、勤儉貯蓄獨立自治ノ美風ヲ發揚セシコト

一、忠君愛國奉公等精神上ニ活教訓ヲ與ヘタルコト

一、父兄生徒一般ニ教育ノ忽ニスヘカラサルヲ想ヒ修學ノ必要ヲ自覺セシメタ

ルコト

一、体育ノ必要及衛生志想ヲ發揮セシコト

一、海事思想ヲ發揚シ及ヒ海外移住ノ希望ヲ發揚セシコト

一、兵役、納税ノ義務ヲ尊重スルノ美風ヲ發揚セシコト

一、實業補習學校等設置獎勵ノ氣運ヲ促スニ於テ最モ便宜ヲ得タルコト

一、時局ニ關スル書籍雜誌類ヲ愛讀スルノ傾キヲ生セシコト

一、國富ヲ増進シ實業ヲ重ンスルノ志想ヲ養成セシコト

一、女子ノ國家的事業ニ傾注スルノ氣風ヲ喚起セシコト

一、軍人ニ對シ尊敬心ヲ起シ兵制ノ如何ヲ研究スルノ念ヲ増進セシコト

一、時局發展ニ伴ヒ經費節減ノ結果校舍改築又ハ建増ノ中止教授用參考品標本類

ノ購入繰延ヘ等ハ幾分教育ノ發達ニ障害ヲ與ヘタルコト

一、父兄ノ應召者多キ爲メ生業ヲ勤勉スルノ必要上兒童ニ子守ヲナサシムル者増

加スルニ至ルコト

一、父兄應召ノ爲メ兒童ヲシテ生業ヲ補助セシムルノ止ムヲ得サルニ至リ爲メニ

高等小學校ヲ修業スルモノ少ナク就中女兒ニ此ノ種ノ者最モ多カリシコト

## 第二十章 戰時衛生

### 第一節 當局ノ警告

傳染病カ人ノ生命ニ對スル勁敵タルハ言フ迄モナク其惧ルヘキコトハ實ニ戰爭ノ悲惨ナルニ優ルモノアリ曾テ日清戰爭ノ當時臺灣ニ於ケル疫癘ノ爲メ生シタル死亡者ハ其期間戰爭ニ比シテ極メテ短日月ニ拘ラス其數戰死者ノ數倍ニ達シタルハ今尙記憶ニ新タナル處而シテ國家事アルニ際シテハ内外往復ノ頻繁ニヨリ傳染病ヲ誘發スルノ例ハ古來決シテ稀ナリトセス是ヲ以テ當局者ハ戰爭ノ開始ト共ニ深ク衛生ニ留意シ諸種ノ施設ヲ爲セリ

村上知事ハ明治三十七年四月二十七日付訓令乙第七號ヲ以テ左ノ如ク郡市役所各警察署ヘ達セリ

時局ニ對シ防疫上ノ施設ニ關シテハ爰ニ指示セシニ依リ夫々相當ノ措置相成タルコト、認メラル、モ今ヤ時方ニ溫暖ノ季節ニ際シ金澤市三名ノ赤痢患者ヲ發生シ又江沼郡及鳳至郡ニ數名ノ腸窒扶斯患者ヲ發生シタルノミナラス猶蔓延ノ

兆有之ニ付此際銳意病毒ノ豫防撲滅ヲ圖ルニ非レハ縣民ノ生産力ヲ衰頽セシムルノミナラス惹テ軍隊衛生上ニ影響ヲ及ホスコトアルニ於テハ危害ノ及フ處實ニ測ル可カラサルニ至ル處アルニ依リ市町村ヲシテ一層清潔ノ持續ニ努メシメ水質不良ナル地ニハ必要ノ施設ヲ獎勵シ尙有病地ニ於テハ勿論該地方ト交通アル地ニ於テハ戸口調査ヲ勵行シ其ノ病種ニ應シテ相當豫防法ヲ講セシムル等防疫上遺憾ナカラムコトヲ期スヘシ

## 第二節 大日本私立衛生會石川支會發會式

大日本私立衛生會石川支會ノ發會式ハ直接ニ軍國衛生施設ニ關係ナキカ如クナルモ其實時局ニ於ル民心ノ激勵之レカ活動ヲ促シ從來未タ會テ其組織ヲ完フセス縣ノ表面ニ何等ノ反響モナキ本縣衛生會ヲシテ規律アリ秩序アル団体タラシメ以テ中央ニ於ケル大日本私立衛生會ト聯絡ヲ見ルニ至リシハ實ニ本縣衛生界ノ爲メニ慶スヘキ現象ノミナラス軍國衛生施設トシテ録スヘキモノナリ抑モ本支會ハ最初金澤、羽咋、鹿島、ニ於ケル一部有志カ其設立ヲ企圖シタルモ當時未タ衛生思想ノ普及セサルカタメ地方人士ノ注意ヲ喚起スルニ至ラス入會者

ノ數モ極メテ尠ク微々タル一集合ニ過キサリシカ超テ明治三十三年ニ至リ時ノ當路者ハ熱心其擴張ヲ計リ縣下各郡市ニ向テ會員ヲ募集シタルト一方世運ノ進歩ハ地方人士ニ衛生思想ヲ惹起セシメタルトニ因リ入會者甚タ多ク爾來漸次其數ヲ増加シ優ニ縣民的団体トシテ實地ノ活動ヲ期シ得ラル、ニ至レリ時恰モ時局ハ衛生施設ヲ促カスノ急ヲ告クルヲ以テ明治三十七年七月二十七日ヲシテ支會ノ發會式ヲ舉ケ併テ其第壹回總會ヲ開催スルニ至レリ請フ左ニ當日ノ光影ヲ記サン

之レヨリ先キ大日本私立衛生會々頭伯耆土方久元カ金澤市ニ開催スヘキ同會第二十二次總會ニ臨席スルカ爲メ來縣ストノ報アルニ接シ本縣支會理事者ハ之ヲ機トシ支會ノ發會式及第一回總會開催ノ議ヲ決シ準備全ク成リテ同月之レヲ舉行シタリ會場ハ本縣會議事堂ヲ以テ之レニ充テ同日午前九時樂奏聲裡發會式舉行ノ事ヲ報セラル、ヤ村上支會長登壇左ノ如ク開會ノ趣旨ヲ述ヘタリ

本日茲ニ大日本私立衛生會支會發會式及第一回總會ヲ舉行スルニ當リ土方會頭其他諸士ノ臨場ヲ辱フセシハ深ク謝スル處尙ホ各會員ノ多數出席ヲ見タルハ満足ノ至リ也扱テ當支會ハ最初金澤及羽咋、鹿島郡ノ有志者ヲ以テ組織シ

甚々微々タル者ナリシモ三十三年是レガ擴張ヲ謀リ全縣一致ノ行動ヲ執ラン  
 コト、シ各方面ニ囑シテ其會員募集ニ勉メタル結果爾來日ニ月ニ隆運ニ赴キ  
 今ヤ二万有餘ノ會員ヲ有スルニ至レリ是レ一ニ地方有志ノ熱心ニ據ル者ニシ  
 テ最モ多トスル處ナリ依テ昨年末ヨリ本會ニ對シ交渉ヲ試ミ石川縣支會規則  
 ノ編製ニ勉メ本年ニ至リ是レカ完成ヲ告ケタリ不肖其會長ノ任ニ當リシモ素  
 ト是カ器ニアラサレハ充分各員ノ誘導ヲ受ケ以テ其任務ニ盡スアラン以上ハ  
 只タ既往歴史ノ一斑ヲ述ヘタルニ過キサカ尙ホ今後一層本會ノ爲メニ盡力  
 アランコトヲ切望ノ至リニ堪ヘス云々

村上支會長府ヲ降ルヤ本會頭伯爵土方久元ハ悠々壇上ニ起テ左ノ祝辭ヲ朗讀セ  
 衛生ノ道ハ個人幸福ノ淵源ニシテ社會安寧ノ根底ナリ苟モ邦家公衆ヲシテ圓  
 滿ナル發達ヲ遂ケシメント欲セハ斯道ノ普及ヲ期待セサルヘカラス大日本私  
 立衛生會設立ノ趣旨蓋シ亦之ニ外ナラサルナリ  
 今茲ニ本會カ第二十二次總會ヲ金澤ノ地ニ開設スルヤ石川縣支會亦其總會ヲ  
 舉行セラルル回顧スレハ明治十一年久元

聖駕ニ扈從シテ此地ヲ過キシヨリ爰ニ二十有六年今ヤ再ヒ邦家有益ノ事業ノ  
 爲メ愛スヘキ尾山ノ下ニ來リ而シテ此盛會ニ列ス誠ニ欣喜ニ堪ヘサルナリ  
 抑モ加越能ハ前田侯百萬提封ノ地金澤ハ北陸雄鎮ノ都森林普ク州域ニ亘リテ  
 空氣爽鮮河川近ク海洋ニ走リテ水質清冽之レヲ天與ノ健康地ト謂フモ不可ナ  
 ラス然レモ近時交通ノ煩劇ト百工ノ競走トハ此秀麗ノ山河ヲシテ公衆健康ノ  
 害因ニ接觸セシム是レ人文開明ノ進路ニ於テ免ルヘカラサルノ難關ナリ茲ニ  
 其弊ヲ捨テ其利ヲ収ムルハ獨リ之レヲ衛生ノ振興ニ待タサルヘカラス而シテ  
 其責一ニ諸君ノ雙肩ニ懸レリ加之今日國難前ニ横ハル防疫保健ニ關スル吾人  
 ノ任尙一層ノ重ヲ加フルモノト云フヘシ幸ニ此盛會ニ陪スルノ光榮ヲ謝シ聊  
 カ所思ヲ陳シテ祝詞ニ代フ

伯爵ノ祝辭終リテ並河福井警部長ハ坂本同縣知事代理トシテ一篇ノ祝辭ヲ朗讀  
 シ次テ佐々木幹事ハ白上宮城縣警部長其他ノ祝電ヲ朗讀セリ

茲ニ於テ支會幹事長永田幸太郎ハ石川縣支會成立ノ經過ヲ報告セリ其要旨左ノ  
 如シ

當支會ハ明治三十三年三月創メテ其計畫ヲ樹テ爾來會員募集ニ着手シ本年四

月十九日本會ノ承認ヲ得タリ現今會員數二万五千七百八十一名ニシテ基金二  
 方千四百有餘圓ニ達セリ茲ニ去ル五月評議員會ノ決議ヲ經テ產婆講習所ヲ設  
 立シ二十四名ノ生徒ヲ講習シツ、アリ猶將來衛生談話會ヲ開催シ其他衛生上  
 各種ノ施設ヲ爲シ以テ斯道ノ發達ヲ謀リ本會ノ目的ヲ達セムコトヲ期セリ  
 以上ノ創立以來ノ概況ニシテ收支決算ハ幹事ヲシテ之ヲ報告セシメ、同諸  
 則テ幹事佐々木警部ハ會計上ノ決算報告ヲナセリ左ノ如シ

收支決算報告

自三十三年六月(創設)至三十七年三月三十一日

取入

一金參萬千參百貳拾五圓九拾七錢九厘

内譯

一金貳萬九千四百拾七圓拾八錢

一金四百七拾五圓五拾錢

一金千四百參拾貳圓拾五錢九厘

一金壹圓拾四錢

支山出

一金九千八百七拾八圓拾錢

二万五千七百八十一人入會金

寄附金

預金

利息

渡料

内譯  
 一金貳千八百八拾參圓貳拾貳錢  
 一金四千八百九拾參圓壹錢  
 本以一金五百貳圓壹錢貳厘  
 一金四百八拾五圓六錢五厘  
 一金百拾壹圓貳拾貳錢  
 一金百八拾貳圓參厘  
 一金貳百九拾六圓五拾七錢  
 一金五百貳拾圓五拾錢  
 一金四圓五拾錢  
 引  
 一金貳萬千四百四拾七圓八拾七錢九厘  
 之レニテ發會式及ヒ總會ハ終リヲ告ケタル日ハ土方會頭ト共ニ出席シタル  
 同會ノ評議員栗本庸勝、全醫學博士大澤謙二、全鳥居春洋、審査員柴山五郎作等知  
 名諸士(内務省技師)ノ講話アリテ閉會ヲ告ケ後チ兼六公園内ニ懇親宴會ノ開催

### 第三節 ペスト警戒

戦時ニ於ケル衛生ノ状況ハ幸ヒ上下ノ戒心ニ依リテ良好ノ経過ヲナシ其第一年ニ在リテハ更ニ憂フヘキノ現象モナクシテ戦局ノ進歩ト共ニ發展セリ超テ其第二年四月十日突如トシテ一ノ悲報ハ來レリ即チ廣嶋豫備病院第六分院ニ於テベスト患者一名發生シ直チニ死亡シタル事之レナリ而シテ本縣金澤豫備病院ニ収容シタル傷病兵士中ニハ該患者ト後送ノ船ヲ共ニシタル者多數アルヲ以テ或ハ其病毒ハ既ニ業ニ金澤豫備病院内ニ潜伏シツ、アルニアラサルヤ亦知ルヘカラサルニ由リ本縣知事ハ此報ニ接スルヤ直チニ左ノ諭告ヲ發シタリ

石川縣告諭第七號

明治三十八年四月十四日

本月十日廣嶋豫備病院第六分院ニ於テ「ペスト」患者一名發生シ直ニ死亡セリ該患者ハ清國安東縣ヲ發シ内地ニ還送サレタル者ニシテ之ト同船シタル者多數金澤豫備病院ニ後送サレタルニ依リ病毒各所ニ散佚シ居ルノ虞レアルニ付キ此際豫防方法ヲ忽ニスルトキハ何時發生シテ如何ナル慘狀ヲ呈スルヤモ保シ難シ抑

モ該病ノ初期ハ數時間或ハ數日間倦怠沈鬱腰痛頭痛煩渴食思欠損等ノ前驅症ヲ伴フコアリ或ハ全ク之ヲ欠キ俄然發病シ腺腫癰或ハ肺炎等其發現セムトスル局部ニ刺痛灼熱ノ如キ感アリ或ハ鈍痛ヲ起シ惡寒若クハ戰慄ヲ以テ体温上昇シ或ハ局部症狀ノ未タ現ハレサル前ニ於テ數時間又ハ數日間發熱スルモノアリ又初期ニ於テ毎常眩暈アリ或ハ此症狀増悪シテ酩酊ノ狀トカシ甚シキハ昏醉ニ陥リ四肢ノ運動遲緩スルモノアリ惡心嘔吐ハ屢眩暈ト伴ヒ又心機衰弱シテ虛脱ニ頻スルモノ少カラス大要如斯症狀ヲ呈スル最モ恐ルヘキ劇性ノ傳染病ニシテ患者ヨリ直接傳染シ鼠族又ハ病毒ニ汚染セラレタル物件等ノ媒介ニ依リ傳染ス而シテ其ノ病毒ハ多クハ創傷(毫モ意ニ介セサル程ノ搔傷又ハ蚤ノ刺傷ノ如キ極細微ナル創面ヨリ傳染ス)ヨリ侵入シ又ハ鼻口或ハ眼ヨリ病毒ニ汚染サレタル塵芥又ハ食物ニ依リ老幼男女ノ別ナク侵スモノナリ該病毒ハ鼠族感染スルトキハ忽チニ同族間ニ傳播シ容易ニ其ノ病毒ヲ根絶スルコト能ハス從テテ危險最モ甚キニ付鼠族ノ驅除ヲ極力努ムヘキハ勿論衛生組合規約ノ事項ヲ勵行シ其ノ他左記各項ヲ遵守シ該病ニ侵サレサル様各自深ク自衛スヘシ

一、「ペスト」病ノ疑アル家ハ勿論熱性病アル患者ト可成交通セサルコト

- 一、「ペスト」病ハ初メ寒胃様ナルヲ以テ總テ發熱頭痛疲勞等身体ニ違和アレハ速ニ醫師ノ治療ヲ受クルコト
- 一、手背足趾等ハ微傷ヲ受ケ易ク且外物ニ接觸スル機會多キニ付常ニ創傷ヲ蒙ラサル様注意シ殊ニ跣足ハ危險多キヲ以テ常ニ足袋等ヲ用ユヘシ若シ身体ニ微傷ヲ蒙リタル場合ト雖モ必ラス醫師ノ治療ヲ受ケ病毒侵入ノ途ヲ斷ツ
- 一、鼠族ハ常ニ庖厨、流石場、食物貯藏所等ニ好シテ出入スルヲ以テ之等ノ箇所ニ對シテハ特ニ鼠族ノ驅除ニ勉ムルト共ニ鼠族ノ出入セサル様相當設備ヲナスコト
- 一、蟻鼠ヲ發見シタル場合ハ明治三十六年一月石川縣令第四號ニ依リ警察官ニ届出ヲ要ス其取扱方ハ同月石川縣告示第十四號ニ依ルヘキコト
- 一、身体ハ時々沐浴ヲナシ清潔ヲ保ツコト
- 一、家屋内ハ能ク掃除ヲナシ日光ノ射入及空氣ノ流通ヲ能クシ乾燥セシムルコト
- 一、浴室流石便所下水溝芥溜等不潔ノ箇所ハ常ニ掃除ヲナシ清潔ヲ持續スルコト但シ下水溝ハ停滯セサル様注意スルコト
- 一、衣服襪衣臥具等ハ時々日光ニ曝露乾燥シ其ノ汚レタルモノハ洗濯スルコト

一、飲食物ハ熱灸又熱蒸シタルモノヲ用ユル事

一、飲食用器具ハ煮沸水ヲ以テ洗濯スル事

然レモ幸ヒニ豫備病院内一名ノ類似患者ヲモ見スシテ事ノ杞憂ニ終リシハ國家ノ爲メ慶スヘキノ經過ナリシ

既ニシテ廣嶋ニ發シタル「ペスト」ハ遂ニ各地ニ傳播シ飛報ノ至ルモノ曰ク兵庫縣ニ一名アリ東京府ニ十數名アリ夫ヨリ廣島縣、香川縣等相尋テ發生シ今ヤ其病毒全國ニ彌蔓センカノ虞アルニ當リ本縣ノ如キハ未タ幸ヒニシテ其兆ヲ見スト雖モ無形ノ勁敵ハ何レノ日縣下ヲ襲來センモ計リ難キヲ以テ防疫ノ施設ハ一層ノ嚴格ヲ要シ先ツ縣當局ハ之レニ對シ左ノ訓令ヲ發シタリ

石川縣訓令乙第四號 明治三十八年六月十二日

郡 役 所  
市 役 所  
町 村 役 場

「ペスト」病ハ昨年十二月以來兵庫縣ニ一名東京府ニ十數名廣島縣ニ一名内地ニ於テ絶ヘス發生シ而シテ香川縣綾歌郡王越村ニ於テモ客月來該疑似患者二十名

發生シ本月十日ニ至リ眞性ト決定シタル旨其筋ヨリ通報アリタルニ付本縣下ニ於テモ何時侵襲ノ害ヲ被ムルモ保シ難シ依テ本年四月石川縣訓令甲第七號時局ニ對スル防疫上ニ關スル訓令及ヒ石川縣告諭第七號「ペスト」豫防ニ關スル告諭ノ各事項ヲ勵行セシムルハ勿論就中該事項中鼠族ノ驅除清潔方法ノ持續及跣足ヲナサシメサルコトハ該病豫防上最モ必要ナルヲ以テ之カ實行ニ付テハ一層督勵ヲ加ヘ尙右有病地方ヨリ來ル者ニ對シテハ特ニ該病發生ノ有無ニ注意スル等防疫上遺算ナキヲ期スヘシ

#### 第四節 各種流行病豫防上ノ訓令

時局ノ衛生上見ルベキハ獨リ「ペスト」ノ發生ノミナラス滿韓及ヒ海外各地ニハ諸種ノ流行病蔓延ノ兆アリ而シテ交通ノ頻繁ハ遂ニ其病毒ヲ誘引スルノ媒介トナレリ「ペスト」ハ既ニ東京ノ一隅ヲ襲ヒ痘瘡及ヒ流行性腦脊髄膜炎等各地ニ發生シ本縣下ニ於テモ亦腸窒扶斯、赤痢病ノ類各所ニ散發ノ兆アリシヲ以テ病毒ハ未ダ猖獗ナラサルニ當リテ豫メ防衛ヲ必要トスルノミナラス時恰モ春暖ノ候ニ向ヒ病毒之レヨリ愈々勞ヲ得ントスルノ虞アルヲ以テ村上知事ハ左ノ訓令ヲ發

シテ縣民ノ注意ヲ促シタリ

石川縣訓令甲第七號

明治三十八年四月廿九日

郡 役 所  
市 役 所  
町 村 役 場

時局ニ對スル防疫上ノ施設ニ關シテハ昨年來屢指示セシヲ以テ相當措置シアリコト、信スルモ滿韓其他海外有病地方トノ交通ニ因リ既ニ客冬以來痘瘡及流行性腦脊髄膜炎各地ニ萌發シ「ペスト」ノ病毒ハ東京其他ニ船舶ヲシテ本月廣島市ニ於テモ該患者ノ發生アリ加之時季漸ク暖ヲ加フルニ從ヒ虎列刺等劇性病毒ノ侵襲スルコトナキヲ保シ難ク又本年管内ニ於ケル腸窒扶斯ハ初發以來四名ノ患者ニシテ昨年ニ比シ幸ニ約三分ノ一ノ數ヲ減シ居ルモ赤痢病ハ初發以來三名ノ患者ヲ出シ昨年ニ比シ一名ヲ増シタルノ實況ニ付此際嚴重ナル豫防方法ヲ實行スルニアラサレハ如何ナル慘害ヲ蒙ルヤモ計リ難シ殊ニ軍國多事ノ秋ナルヲ以テ一層ノ注意ヲナシ國民ノ健康ヲ保持シ生産力ノ増進ヲ圖リ且軍隊へ病毒ヲ輸入セサル様努メサルヘカラス依テ左記事項ヲ勵行シ豫防ノ實効ヲ期スヘシ



- 一、家屋及邸地ハ日々掃除ヲナシ清潔ノ持續ニ努メ殊ニ庖厨浴室流石便所下水溝芥溜等ハ一層掃除ヲ嚴重ニシテ尚下水溝ハ疎通ヲ佳良ナラシムルコト
- 二、井戸ニシテ側及其ノ周邊ノ破損セルモノハ速ニ改修ヲ施シ且覆蓋及唧筒ノ設ケナキモノハナルヘク速ニ設備スヘキコト但シ共同用井戸ニ在リテハ覆蓋及唧筒ノ設備ハ此ノ際必ラス之ヲ實行セシムルコト
- 三、流石便所下水溝ニシテ破損セルモノハ速ニ修繕ヲ加フヘキコト
- 四、軍隊所在地陸軍轉地療養所俘虜収容地並其ノ附近其他市街地ニ在リテハ一層清潔法ノ持續ヲ要スルニ付毎月一回以上大掃除ヲ施行スルコト但シ施行期日ヲ定メ施行ノ際ハ當該吏員ヲシテ之ヲ監督セシムルコト
- 五、肺炎肺膜炎腦膜炎流行性腦脊髄膜炎出血(卒中)脚氣衝心心臟麻痺麻拉里亞流行性感胃腸窒扶斯丹毒流行性耳下腺炎梅毒淋巴腺腫急姓胃腸炎下痢病及其他病名不詳ノ病死者アリタルキハ埋葬認可前ニ死者ノ住所氏名病名並發病及死亡ノ年月日ヲ警察官署又ハ巡查部長派出所若ハ巡查駐在所ニ通報シ其ノ回答ヲ待テ處置スルコト
- 前項以外ノ病死者ナルキハ埋葬認可後直ニ其死者ノ住所氏名病名並發病及死

- 亡ノ年月日ヲ警察官署又ハ巡查部長派出所若クハ巡查駐在所ニ通報スルコト
- 六、傳染病ニ疑ハシキ患者發生ノ聞ヘアルトキハ直ニ市町村醫ヲシテ檢診セシムルコト
- 七、下痢患者發生シタルトキハ便所ヲ生石灰末又ハ石灰乳ヲ以テ消毒シ且患者用便器ヲ別ニ設ケ上圖ノ都度生石灰末又石灰乳ヲ以テ消毒セシムルコト
- 八、明治三十八年石川縣告諭第七號「ベスト」豫防ニ關スル事項ハ獨「ベスト」ニ對スル豫防トナルノミナラス一般傳染病ニ對スル豫防トシテモ欲クヘカラサルモノナルニ付嚴重ニ之ヲ實行セシムルコト
- 九、明治三十七年石川縣訓令甲第三十四號ニ基キ衛生談話會ヲ開催シ傳染病ノ豫防方法ハ勿論一般衛生上注意スヘキ事項ヲ談話セシメ以テ個人衛生思想ノ發達ヲ努ムルコト

### 第五節 金澤市ノ防疫施設

當時金澤市ハ軍國ニ於ケル北陸ノ中心トナリ豫備病院ノ設ケアリ應召兵士ノ來集セルアリテ市内ハ頗ル雜沓シ内外往復ノ頻繁ナル何時惡疫ノ襲ヒ來ランモ保

シ難シ隨テ防疫事務ハ時局ニ於テ最モ急務ヲ告ケタレハ渡瀨市長ハ本縣知事ノ訓令ニ則リ先ツ市内各戸ノ鼠族ヲ驅除セントシテ三十八年六月ヲ以テ左ノ訓令ヲ發セリ

「ベスト」病ハ昨年十二月以來内地ニ於テ絶ヘス發生シ目下東京府及香川縣ニ數十名ノ患者發生シタルニ付豫防上其筋訓令ノ趣注意ニ依リ左記各項ヲ組合内洩ナク周知セシメ防疫上遺算ナキ様期スヘシ

- 一、本縣訓令第三號及ヒ本年六月訓令第五號ニ依リ捕鼠ヲ勵行スル事
- 二、本市告示第二十二號ニ依リ清潔法持續ノ爲メ掃除ヲ勵行スル事
- 三、本年五月訓令第八號ニ依リ豫防事項ヲ勵行スル事
- 四、各自跣足ヲナサ、ル事
- 五、有病地ヨリ來ル者ニ對シテハ該病發生ノ有無ニ注意スル事

又從來傳染病豫防規則ニ據リ春秋二季ニ施行シタル毎戸大掃除ハ毎月之レヲ施行セシメントシ其日割及ヒ掃除ノ方法ヲ左ノ如ク告示セリ

時局ニ際シ一層交通頻繁トナリ時季漸ク暖ヲ加フルニ從ヒ傳染病毒ノ侵襲スルコトナキヲ保シ難キヲ以テ本縣知事ヨリ防疫上施設ニ關シ訓令ノ次第モア

ルニ付清潔法持續ノ爲メ左ノ方法ニ依リ各自大掃除ヲ施行スヘシ

- 自七日至九日 第一區 自十日至十二日 第二區
- 自十三日至十四日 第三區 自十五日至十七日 第四區
- 自十八日至二十日 第五區 自二十一日至二十三日 第六區
- 自二十四日至二十六日 第七區

右ト同時ニ左ノ注意事項ヲ示セリ

掃除定日ニハ家屋内外殊ニ庖厨、浴室、流石、便所、下水溝芥溜等嚴重ニ掃除ヲ行ヒ下水溝ハ其疏通ヲ佳良ナラシムルコト井戸ニシテ其周邊ノ破損セシ者ハ速ニ改修シ且覆蓋及唧筒ノ設ケナキモノハ此際可成速ニ設備ヲ要スル事  
流石、便所、下水溝ニシテ破損セルモノハ速ニ修繕ヲ加フル事

## 第二十一章 義勇艦隊義金募集

### 第一節 帝國海事協會ノ活動

日露戦役ヨリ得タル實驗ト教訓トカ帝國社會ノ有ニル方面ニ有益ノ賜ヲ貽シタルノ事例ハ枚舉ニ遑アラスト雖モ就中其事ノ最モ崇高ニシテ最モ雄壯ナル蓋シ帝國義勇艦隊建設ノ右ニ出ルハナシ

夫レ吾帝國ハ四面環ラスニ海ヲ以テシ南ハ太平洋ト接シテ米ノ屬領ト相望ミ北ハ宗谷海峡ヲ隔テテ露領ト相對ス而シテ南端臺灣ト北端樺太トノ沿岸線長サ實ニ千里敵國耿々タル間ニ在リテ毅然獨立ヲ保持スル國防ノ要務ハ力ヲ海軍ノ充實ニ注カサルヘカラサル事ハ猶泰西ニ於ケル英ノ經綸ト其機ヲ一ニスヘキカ故ニ帝國カ東洋ニ覇ヲ爭フニ當リ海軍擴張ハ孜孜トシテ計畫サレ明治三十七年即チ日露戦役開始ノ當時ニハ吾艦隊ノ勢力二十三万噸ヲ數フルニ至レリ然モ實戰ノ結果ハ尙艦船ノ不足ヲ告ケ海軍ノ作戰陸軍部隊ノ輸送等ニ於テ國民ヲシテ搔痒ノ感ヲ禁セサラシメサリキ

勢ヒ斯ノ如シ乃チ帝國海軍協會ハ奮然自ラ起チ帝國ノ艦船ヲ補充スルノ經營策トシテ義勇艦隊建設ノ偉業ヲ計畫セリ蓋シ義勇艦隊ノ目的ハ平時ニ在リテハ通商上ノ航運ニ從ヒ戰時ニ當リテハ直チニ武裝シテ海軍ノ別働隊トナリ戰鬪ニ從フニアリ其目的ノ高尙ニシテ雄大ナルコト斯ノ如シ而シテ泰西ノ諸國概チ已ニ之レカ設備ヲナセリ現ニ露國ハ這回ノ戰役ニ當リテ已ニ早ク其國義勇艦隊ノ活動見ルヘキモノアラントス獨リ我國未タ之レカ企畫ナキハ實ニ海防上ノ欠点トスヘシ帝國海軍協會カ戰時艦船ノ足ラサルヲ見テ其建設ヲ企圖スルモノ豈偶然ナラスヤ

則チ海軍協會ハ明治三十七年八月二十九日ヲ以テ之レニ關スル委員會ヲ開キ創設ノ趣意書及ヒ綱領ヲ編成シテ世ニ發表スルニ至レリ全日有柄川總裁宮殿下ハ畏クモ斯舉ヲ贊セラレ創設委員ニ左記ノ令旨ヲ下シ賜ヒヌ

### 御 令 旨

海軍力ノ扶殖ヲ圖リ併テ航海業ノ促進ヲ努メンカ爲メ帝國義勇艦隊ヲ建設スルハ刻下ノ時局ニ鑑ミ最モ緊要ノ事業ナリトス創設委員諸子克ク意ヲ茲ニ致シ同心戮力本會ノ企畫ヲシテ成功セシメンコトヲ期セヨ

左ハ則チ委員會ノ決議シタル趣旨書及要綱ナリ斯テ中央ニ於ケル創設機關ハ整備シタリト雖モ這ハ固ト國民一致ノ力ニ待タスシハ成功シ得ヘカラサルヲ以テ委員ハ其年十二月地方委員部ノ規定ヲ制定シタリ

### 帝國義勇艦隊建設ノ趣旨

海國タル我日本ノ富強ハ主トシテ海事ノ振興ニ須タサル可カラス我政府夙ニ見ル所アリ年々巨資ヲ投シテ海事獎勵ニ努メタル結果造船及航海ノ事業ハ年一年ニ進歩ノ状態ニアリト雖モ海事ノ範圍タル廣且ツ大ナリ苟モ海事ニ關スル凡百ノ事物一之レヲ振興シ相須ツテ完全ナル發達ヲナサント欲セハ舉國ノ民人奮ツテ其經營ニ任セサルヘカラス

是ニ於テカ吾人ハ公共團體ニ我海事ニ必要ニシテ官民相應シテ海事全体ヲ振興スルノ一大急務ナルヲ思ヒ同志相謀ツテ帝國海軍協會ヲ組織シ擡ツテ海國民ノ本分ヲ盡サンコトヲ期シタルハ實ニ明治三十二年十一月ニアリキ爾來五閱年國家ノ爲メ孜孜企畫スル所アリシカ時勢ノ進運ハ自カラ吾人ヲシテ一大飛躍ヲ試ムルノ機運ニ乘セシメ日露ノ事アルニ及ヒテ倍々船舶ノ不足ヲ感シ本年二月總會ニ於テ戰時補助船舶(義勇艦隊)製造ニ努ムヘキ事ヲ決議セリ爾來各國ノ制度